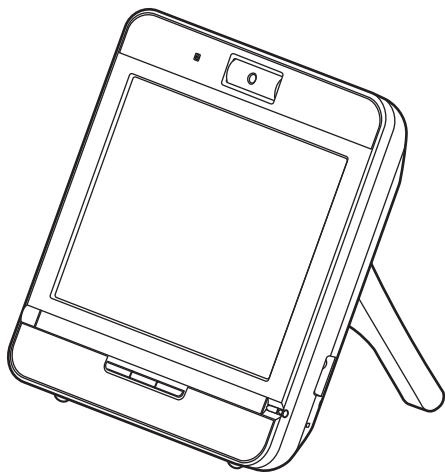


フレッツフォン VP2000

取扱説明書

このたびは、フレッツフォン VP2000 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。






- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手元においてお使いください。



安全にお使いいただくために 必ずお読みください

このたびは、フレッツフォン VP2000をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。本書の表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準にもとづくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本商品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本商品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。本商品は、輸出貿易管理令別表第1-9（7）項に定める輸出規制品に該当いたしますので、日本国外へ持ち出す際には日本国政府の輸出許可等必要な手続きをお取りください。許可手続きなどにあたり特別な資料が必要な場合は、お買い上げの販売店またはお近くの当社のサービス取扱所にご相談ください。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be use in any other country.
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い上げになった販売店で求めください。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報は、別に紙に書き写すなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因によって、メモリに保存されている登録したデータなどが消失することがあります。重要なデータなどは、別に紙に書き写すなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本書の内容、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観は、予告なしに変更することがあります。
- 本商品は、マイクロソフト社の特定の知的所有権によって保護されているテクノロジーを搭載しています。本テクノロジーは、マイクロソフト社または認可されたマイクロソフト子会社からのライセンスなしでの使用および配布は、禁止されています。
- 本商品はAdobe Systems Incorporatedが開発したAdobe® Flash® playerテクノロジーを搭載しています。
Adobe、FlashはAdobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
This Product contains Adobe® Flash® player software under license from Adobe Systems Incorporated, Copyright© 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved. Adobe and Flash are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
Copyright© 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved.
- 本商品を分解したり改造したりすることは禁じられています。
本商品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Internet Explorer®は、米国Microsoft® Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本文中に記載の会社名、商品名およびロゴはそれぞれの会社の商標、または登録商標です。

本商品を廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。データの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品の設定をお買い上げのときの状態に戻し、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。お買い上げのときの状態に戻す方法は、「本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化）」(P.108)をご覧ください。
- 本商品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、最寄りの自治体にお問い合わせください。

警告

- 万が一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源コードを電源コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- めれた手で本商品の操作やACアダプタのコード及び電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 万が一、本商品を落としたり、本商品が破損した場合、または内部に異物や水などが入った場合は、ACアダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に、金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万が一、異物が入った場合は、本商品の電源コードを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のカバーは外さないでください。内部には電圧が高い部分があり、感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 本商品を次のような環境に置かないでください。
 - ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備、ボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所
 - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
 - ・ 湿気の多い場所や水、油、薬品などのかかる恐れがある場所
 - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
 - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ACアダプタのコード及び電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを乗せたり加熱したりすると、コードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。ACアダプタのコード及び電源コードが傷んだら、電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 付属のACアダプタのコード及び電源コードは、本商品専用です。他の商品に接続したり、使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタの電源コードのプラグを電源コンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。プラグの歯に金属などが触れると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタのコード及び電源コードは、必ず付属のものを使用し、それ以外のは絶対にお使いにならないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタのコード及び電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源コードを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 本商品から異常音がしたり、本商品やACアダプタなどが熱くなっている状態のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源コードを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- 本商品の画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源コードを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- ACアダプタは、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動するときは、ACアダプタの電源コードを電源コンセントから抜き、LANケーブルなど本商品に接続されているケーブル類をすべて外してから移動させてください。コードやケーブルが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタにものを乗せたり布をかけたりしないでください。ケースや電源コードの被膜が熱により溶けて、火災、感電の原因となることがあります。
- 通電中の本商品やACアダプタに、長時間触れないでください。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
- 液晶画面が破損し、液晶が漏れ出した場合は、液晶を吸い込んだり飲んだりしないでください。万が一口に入った場合は、すぐに吐き出し、うがいをしすすみやかに医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、ただちに水でよく洗浄して、すすみやかに医師に相談してください。また、液晶画面が破損している場合は手を触れないでください。けがの原因となることがあります。
- 差し込み口が2つ以上ある電源コンセントに他の電気製品のACアダプタなどを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品やACアダプタのコード及び電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被膜が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源コードを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本商品から周囲の壁などまでは、10cm以上離して設置してください。また、次のような使いかたはしないでください。
 - ・じゅうたんや布団の上に置く
 - ・テーブルクロスなどをかける
 - ・本棚、タンスの中、押入れの中など風通しの悪い場所に置く
- 本商品をお手入れするときは、電源コードを電源コンセントから抜いて行ってください。火災、感電の原因となることがあります。
- 電源コードを電源コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電や断線の原因となることがあります。
- ACアダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、ACアダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃してください。ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

注意

- 本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動、衝撃の多い場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品に乗ったり、強い荷重を加えたりしないでください。壊れてけがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 液晶画面に触れるときは付属のタッチペンを使用してください。
- 液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたりしないでください。画面にムラが出たり、破損したり、液晶画面の故障の原因になります。
- タッチペンは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。けがなどの原因となります。もし、飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
- タッチペンで目を突いたりしないようにしてください。失明や目に障害を与える原因となります。

- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず本商品のACアダプタを電源コンセントから抜いてください。
- スタンド操作時に過度の力を加えないでください。また、本体スタンド部だけを持って持ち運びをしないでください。
- スタンド折り畳み時は、指をはさまないように注意してください。
- 画面角度はスタンドにて調整可能ですが、十分な角度がないと本体が倒れ故障する可能性があります。




STOP お願い

- 次のようなときに、電源オフをしたり、ACアダプタや電源コードを抜いたりしないでください。故障の原因となることがあります。
 - ・ 画面に「電源を抜かないでください。」と表示されているとき
 - ・ 本商品の起動中
 - ・ システムのアップデート中
- 本商品の電源を切るときは、必ず電源オフをしてから電源コードを抜いてください。電源オフをしないで電源コードを抜くと、本商品が起動しなくなる場合があります。電源オフ操作については、「本商品の電源オフと再起動の方法」(P.39)をご覧ください。
- 本商品の電源を入れたときや再起動したときには、起動が完了するまでに、約1～4分かかります。起動が完了するまでの時間は、接続しているネットワークの状態によって異なります。
- 電源を再度入れるときは、電源を切ってから30秒以上経ってから行ってください。電源を切ったあとすぐに電源を入れたり、電源コードの抜き差しや電源ボタンの操作を連続して行ったりすると、起動や電源オフが正しくできない場合があります。
- 通話中に本商品のタッチペン収納部にタッチペンを出し入れすると、相手側に大きな音が送信される場合があります。ご注意ください。
- 起動中は、USB機器を抜き差ししないでください。
- USBポートにセットしたUSBフラッシュメモリが、データ書き込み中や読み込み中などでアクセスランプを点滅させている場合は、抜き差しを行わないでください。データ破損や故障する可能性があります。
- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは薄い中性洗剤を付けてよくしぼった布で汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 液晶画面の汚れをふき取るときは、市販のクリーニングクロスで軽くふいでください。
- 本商品のカメラのレンズにほこりなどがたまったときには、柔らかいブラシやハケなどで掃除してください。
- 本商品のカメラで直射日光を撮影すると、カメラが壊れる可能性があります。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品を電気製品、AV・OA機器など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください(電子レンジ、スピーカ、テレビ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理機器など)。
 - ・ 磁気や電気の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音などが大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所(温泉地)や、塩分の多いところ(海岸)などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
- 本商品をご使用中、本体やACアダプタに触れるとあたたかく感じるがありますが、故障ではありません。安心してご使用ください。
- 本商品のプラスチック部品の一部が、光の具合によっては傷に見える場合があります。これはプラスチック部品の製造過程で生じるもので、構造上および機能上は問題ありません。
- タッチペンは、画面を操作するとき以外に使用しないでください。誤った使いかたをして、タッチペンを破損しないようにご注意ください。

各マニュアルの読みかた

本商品のマニュアルは、下記のように構成されています。

最初に「取扱説明書」をお読みのうえ、「設定ガイド」をご覧くださいながら本商品の初期設定を完了させてください。インターネットを利用したり、電話をかけたり、受けたりする手順は「操作ガイド」をご覧ください。各機能の操作方法を簡潔に記載しています。

 <p>取扱説明書</p>	<p>本商品をご利用になる前に必ずお読みください。 初期設定や本商品で利用できる機能の詳しい内容について記載しています。</p>
 <p>設定ガイド</p>	<p>本商品を使用するには初期設定が必要です。 「設定ガイド」をご覧くださいながら、初期設定を進めてください。</p>
 <p>操作ガイド</p>	<p>「操作ガイド」では、本商品で利用できる機能の操作方法を記載しています。 本商品で電話をかけたり、受けたりするときや、インターネットの情報検索、メールの送受信をする際の操作が簡潔に説明されています。 各機能の詳しい説明については、「取扱説明書」をお読みください。</p>

本書の読みかた

本書で使われている表記には、次のようなルールがあります。

表 記	説 明	記載例
本商品	ご使用のフレッツフォン VP2000のことです。	本商品には、ホームページ閲覧機能が搭載されています。
[] ボタン	画面上のボタンやアイコンはその文字を表記します。	[画像] ボタンにタッチします。 [OK] ボタンにタッチします。
→	連続した操作は→で表記します。	[画像] → [メモリカード] の順にボタンにタッチします。
「 」	画面上の選択項目や入力欄は、「 」と表記します。	「氏名」欄に入力します。 着信設定画面の「受話通話音量」を調節します。
[] キー	キーボードのキーは[]キーと表記します。	[全角かな] キーにタッチします。
(P.)	他のページに詳しい説明がある場合は(P.)と表記します。	詳しくは、「本商品の電源オフと再起動の方法」(P.39)をご覧ください。

※本文中の画面やイラストは、実際と多少異なることがあります。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください.....	2
ご使用にあたってのお願い.....	3
各マニュアルの読みかた.....	7
本書の読みかた.....	7
目次.....	8
セットを確認してください.....	10

■ ご使用の前に..... 11

特長.....	12
各部の名前.....	14
接続します.....	16
初期設定をします.....	26
初期設定を始める前に.....	26
本商品でインターネット接続をするための設定をします.....	27
本商品でテレビ電話をするための設定をします.....	29
本商品のホーム画面に表示するワンタッチボタンを設定します.....	31
基本操作について.....	32
タッチペンの使いかた.....	32
本体ボタンの使いかた.....	34
画面について（ホーム画面の場合）.....	35
画面について（電話画面の場合）.....	36
本商品の電源オフと再起動の方法.....	39
文字の入力のしかた.....	40

■ 機能操作編..... 45

ホーム画面を活用する.....	46
ホームページを表示します.....	46
予定を入力します.....	47
イメージウィンドウの表示を変更します.....	49
他の画面を表示します.....	50
電話をかけます.....	51
IPテレビ電話サービスをご利用になる際のご注意.....	51
電話画面について.....	54
電話番号を入力して電話をかけます.....	56
発信履歴から電話をかけます.....	62
着信履歴から電話をかけます.....	63
短縮ボタンから電話をかけます.....	64
ハンドセット（オプション）を使って電話をかけます.....	66

電話を受けます	67
電話を受けます	68
ハンドセット（オプション）を使って電話を受けます	70
電話帳を利用します	71
電話帳に登録します	71
電話帳を検索します	73
電話帳を編集します	74
その他の機能について	75
ホームページを見ます	75
メールを送受信します	77
ひかり電話の便利な機能を利用します	77
留守番電話を利用します	78
メモ帳でメモを作成します	79
ファイル機能で画像や動画を見ます	80
テンプレートで用意されたテレビ電話画面を選択することができます	83
本商品の設定変更をするには	101
本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化）	108
本商品のシステムをアップデートするには	109

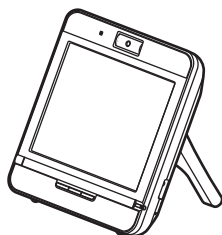
付 録	111
制限事項	112
西日本エリアでご利用のお客さまの接続・設定	113
本商品でインターネット接続をするための設定をします	117
本商品でテレビ電話をするための設定をします	118
本商品のホーム画面に表示するワンタッチボタンを設定します	120
仕 様	122
故障かなと思ったら	123
こんなときは	128
エラーメッセージ一覧	129
索 引	143
保守サービスのご案内	145

セットを確認してください

本商品のパッケージの中には、以下のものが同梱されています。不足するものがないかご確認ください。

本体

- フレッツフォン VP2000 (1台)



付属品

- ACアダプタ (1個)



- 電源コード (1本)



- フレッツフォン VP2000
取扱説明書 (本書)



- 設定ガイド
- 操作ガイド

- LANケーブル (1本)



- タッチペン (1本)

※お買い上げ時は、本体のタッチペン収納部に取付けられています。



- ケーブルカバー (1個)



- 保証書 (1枚)



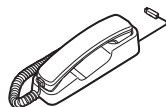
- アップデートのお願い (1枚)
- お客様へのお願い (1枚)

お知らせ

- 不足するものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

ワンポイント

- ・ オプション品 (別売) として、ハンドセットをご用意しています。



ご使用の前に

特 長

各部の名前

接続します

初期設定をします

基本操作について

文字の入力のしかた

特長

本商品は、フレッツ 光ネクストやBフレッツ、フレッツ・ADSLなどのブロードバンド回線を利用して、動画、音声の双方向通信を行います。パソコンがなくてもインターネットやメール、テレビ電話を実現する、ブロードバンド通信端末です。

● 本商品は、次のような使いかたができます。

- ・ インターネットに接続して、ワンタッチで天気やニュースを見たり路線や株価を調べる情報端末として使用する。
- ・ メール送受信を行うメール端末として使用する。
- ・ IPテレビ電話サービスを利用して、本商品どうしはもちろんのこと、フレッツフォンシリーズや、フレッツフォンシリーズに対応したソフトフォン、FOMA[®]とのテレビ電話や、一般の電話機との音声通話を行うIPテレビ電話として使用する。

● 本商品では、次のIPテレビ電話サービスを利用できます。

・ ひかり電話の電話サービス

NTT東日本にひかり電話の申し込みをします。現在お使いの電話番号がそのまま使えるIP電話サービスです。緊急通報（110番、118番、119番）への発信もできます。

なお、「ひかり電話」のテレビ電話を利用するには、発信・着信ユーザともに、「テレビ電話」のサービスの申し込みが必要です。詳細については、「ひかり電話」のホームページをご確認ください。

<http://flets.com/hikaridenwa/index.html>

・ プロバイダが提供する「050」番号を利用したIPテレビ電話サービス

ご利用のプロバイダにIPテレビ電話サービスの申し込みをします。「050」で始まるIP電話、加入電話、携帯電話およびPHSへも電話をかけられます。SIP（IPv4対応）と呼ばれる接続方式に対応したIPテレビ電話サービスです。

・ NTT東日本が提供するFLET'S.Netナンバーを利用したIPテレビ電話サービス

NTT東日本にFLET'S.Netナンバーの申し込みをします。本サービスの利用者どうし、またはNTT西日本が提供する「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能の利用者とテレビ電話ができます。SIP（IPv6対応）と呼ばれる接続方式に対応したIPテレビ電話サービスです。

初期設定時に利用するIPテレビ電話サービスを選択すると、選択したIPテレビ電話サービスに合わせた本商品の設定ができます。また、本商品のご利用中に、利用するIPテレビ電話サービスを変更することもできます。

初期設定について詳しくは、「初期設定をします」（P.26）をご覧ください。



ご利用途中での設定変更については、「本商品の設定変更をするには」（P.101）をご覧ください。

- ハンドフリー機能を利用して、なめらかな映像、クリアな音声でハンドセットなしの通話ができます。
- タッチパネルのボタンに触れるだけで操作することができます。
- ホームページを閲覧することができます（ホームページによっては、本商品では正しく表示できない場合があります）。
- おすすめのホームページやお気に入りのURLを登録してワンタッチで閲覧することができます。
- プロバイダを利用したメールの送受信ができます。
- 映像をテレビやモニタなどに表示することができます。
- 市販のビデオカメラなどを接続できます。ビデオカメラで撮影した映像や音声を、本商品を経由して通話相手に送信することができます。
- オプションのハンドセットで通話することができます。

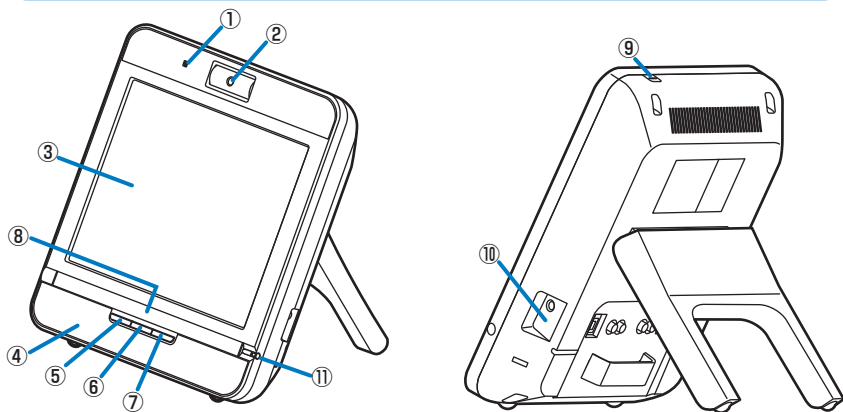
お知らせ

- 本商品はもちろんフレッツフォンシリーズ、およびフレッツフォンシリーズに対応したソフトフォン、FOMA[®]に電話をかけた場合は、テレビ電話ができます。ただし、ご利用のサービスによっては音声のみの通話となります。
 - フレッツフォンに対応していないIP電話、加入電話、FOMA[®]以外の携帯電話、PHSにかけた場合は、音声のみの通話となります。
- 本商品でIPテレビ電話サービスを利用するには、サービス契約および登録設定が必要です。NTT東日本、IP電話接続事業者、またはプロバイダなどから案内される『ご利用の手引き』などを必ずご覧のうえ、サービス契約および登録設定を行ってからお使いください。
- 起動時の操作により、本商品の記憶内容を初期状態に戻すことができます。詳しくは、「本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化）」（P.108）をご覧ください。

ワンポイント

- ・ IP電話とは、インターネットを利用した電話サービスです。音声データをIPネットワーク上でやり取りするためのVoIP（Voice over IP）技術を利用して、音声データとIPデータを変換し、回線効率や柔軟性の高いIPネットワークを利用して電話サービスを行います。
- ・ 画面右上に  が表示されると、システムのアップデート（更新）ができます。本商品のシステムをアップデートすることで、機能の追加や改善などができます。 が表示されたらアップデートを行い、システムを常に最新の状態にしてお使いください。アップデートの方法については、「本商品のシステムをアップデートするには」（P.109）をご覧ください。
- ・ 画面右下に表示される「ヘルプ」ボタンにタッチすると、操作中の機能についてのヘルプ（操作説明）を見ることができます。本書に記載されていない詳しい情報も記載されています。使いかたがわからないときは「ヘルプ」ボタンにタッチしてみてください。ヘルプの使用法について詳しくは、「ヘルプの使いかた」（P.38）をご覧ください。

各部の名前



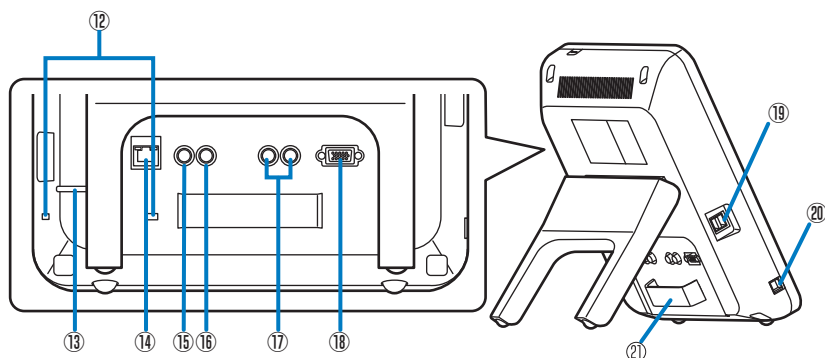
項目	説明
①マイク	音声を入力します。
②カメラ	自分や周囲の映像を撮影します。
③液晶ディスプレイ (タッチパネル)	テレビ電話の映像やホームページなどを表示します。付属のタッチペンで画面上のボタンやアイコンを操作します。
④スピーカ	音声を出力します。
⑤メニューボタン	各画面でメインメニューの表示と非表示を切り替えます。ホーム画面表示中の場合、画面上のボタンの表示/非表示を切り替えます。
⑥ホームボタン	ホーム画面を表示します。ホーム画面表示中の場合、イメージウィンドウが初期表示に戻ります。
⑦機能ボタン	拡張機能用ボタンです。テレビ電話画面変更機能により、電話画面を表示する設定ができます。
⑧電源/ステータスランプ	電源 : 本商品の電源が入っているときに緑色に点灯します。 ステータス : システムのアップデート中に内部メモリへ情報を書き込んでいるときは橙色に速く点滅します。留守番電話を設定しているときは橙色に点灯します。留守番電話を設定していて留守録メッセージが記録されているときや新着メールがあるときには橙色にゆっくり点滅します。
⑨電源ボタン	本商品の電源をオン/オフします。
⑩電源コネクタ	付属のACアダプタを接続します。
⑪タッチペン収納部	タッチペンを紛失しないように収納します。

お知らせ

- カメラの映像は、周囲の環境や背景により、自動的に色合いの調整を行っています。そのため、実物とカメラ映像とでは、色合いが多少異なって見える場合があります。
- USBポートは2つありますが、USBポートにUSBフラッシュメモリを2つセットしても、1つしか認識されません。
- 本商品の負荷により、ステータスランプの点滅間隔が長くなる場合があります。

ワンポイント

- ・ 接続可能な周辺機器は、フレッツフォンのホームページ (Flet's Phone HOME) をご覧ください。フレッツフォンのホームページは、ホーム画面より [設定] → [Flet's Phone HOME] の順にボタンにタッチして表示します。



項目	説明
⑫盗難防止用ロック穴 (セキュリティロック)	市販のセキュリティーケーブルなどを接続することによって盗難防止をするための穴です。 セキュリティーケーブルの種類によっては、接続できない場合がありますので、下記のサイズに適合したセキュリティーケーブルをご購入ください。 ロック穴サイズ：高さ3.6mm×幅7.8mm×筐体厚み3.5mm
⑬ACアダプタのコード 固定部	ACアダプタのコードを固定するための溝です。
⑭LANポート	LANケーブルで回線終端装置 (ONU)、ADSLモデム、ルータ、ハブなどと接続します。 LANポート上部のランプの意味は次のとおりです。 ・LINKランプ (橙色)：LANのリンクが確立しているときに橙色に点灯します。 ・DATAランプ (緑色)：LANのデータが送受信されているときに緑色に点灯します。
⑮音声入力端子 (白) (RCAピンジャック)	ビデオカメラなどの音声出力端子とつながります。
⑯映像入力端子 (黄) (RCAピンジャック)	ビデオカメラなどの映像出力端子とつながります。
⑰音声出力端子 (右：赤、左：白) (RCAピンジャック)	テレビやAV機器などの音声入力端子とつながります。
⑱映像出力端子 (アナログRGB： ミニD-sub15ピン)	1024×768 (垂直同期周波数：60Hz) の解像度に対応しているテレビやパソコン用モニターなどのアナログRGB入力端子に接続します。
⑲USBポート	市販のUSBフラッシュメモリやUSBマウス、USBキーボードを接続します。
⑳ハンドセット接続ポート	オプションのハンドセットを接続します。
㉑ケーブルカバー	ケーブル類を保持します。

お知らせ

- 本商品の電源を入れた直後に、音声出力端子にノイズが出力されることがあります。音声出力端子に接続しているテレビやAV機器などの音量を下げてください。
- 音声出力端子にテレビやAV機器などを接続した場合、本商品で各機器の音量を調節することはできません。

接続します

■ 接続、設定の流れ

本商品を使えるようにするには、次の手順で接続、設定を行います。

本商品を接続する機器やご利用になるサービスによって、接続のしかた、設定内容が異なります。使用環境に合わせた接続、設定を行ってください。

必要なものを準備します (P.17)

接続、設定に必要な環境や機器を準備します。ご利用になるサービスによって異なります。



設置場所を確認します (P.18)

本商品の設置場所を確認します。「安全にお使いいただくために必ずお読みください」(P.2) もご覧ください。



接続します (P.20)

本商品を接続します。ご利用になる機器によって接続のしかたが異なります。ここでは、「回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムに接続する場合」と「ルータに接続する場合」の2つの接続方法を説明します。



初期設定をします (P.26)

本商品を使えるようにするための初期設定を行います。初期設定は、本商品に内蔵されている「設定ガイド」で行います。ご利用になるサービスによって初期設定の方法が異なります。ここでは「プロバイダに接続してインターネットとIPテレビ電話サービスを利用する場合」の初期設定を説明します。

■ 必要なものを準備します

接続するために必要な環境や機器について確認します。

IPテレビ電話サービスを利用する場合、IPテレビ電話サービスのご確認、ご契約はお済みですか。

- 本商品でIPテレビ電話サービスを利用するには、サービス契約および登録設定が必要です。NTT東日本、IP電話接続事業者、またはプロバイダなどから案内される「ご利用の手引き」などを必ずご覧のうえ、サービス契約および登録設定を行ってからお使いください。
- ご利用中もしくはご利用予定のIPテレビ電話サービスが本商品に対応しているか、事前にご確認ください。
- IPテレビ電話サービスの内容は、サービスの契約内容によって異なります。サービス提供条件、料金体系、お申し込み方法、サービス対象電話（発信できる電話番号）などについて、サービス提供元に事前にご確認ください。
- 契約が完了しても、工事が完了するまでではご利用できません。

接続に必要な機器はそろっていますか。回線接続や設定はできていますか。

本商品の他に、接続する環境に応じて次のような機器が必要です。

- ADSLモデム（フレッツ・ADSLの場合）
ご利用になる接続回線やサービスに対応したADSLモデムが必要です。
- 回線終端装置（フレッツ 光ネクストおよびBフレッツの場合）
ご利用になる接続回線やサービスに対応した回線終端装置（ONU）が必要です。
- ルータまたはスイッチングハブ
フレッツ・ADSL、フレッツ 光ネクストまたはBフレッツをご利用の場合、本商品の他にパソコンなどを使ってインターネット接続をするには、ルータまたはスイッチングハブが必要です。ルータはご利用になるサービスに対応しているものをご利用ください。

また、回線終端装置（ONU）、ADSLモデムが正しく接続されているか、確認しておいてください。

お知らせ

- 本商品を接続する前に、ルータ機能付きADSLモデム、ルータでインターネットに接続できるように、各機器の設定を行っておいてください。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

設定に必要な情報は準備されていますか。

本商品の初期設定をするときに、次の情報が必要です。

プロバイダを利用する場合

プロバイダとのご契約時に、次のような情報が提供されます。契約書などで確認してください。不明の場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

- ・ ユーザID（プロバイダによって、ユーザ名など呼びかたが異なる場合があります）
- ・ パスワード
- ・ DNSサーバのIPアドレス（プロバイダなどから指定された場合）



ワンポイント

- ・ DNSサーバのIPアドレスとは、インターネット上でのコンピュータの名前に当たるドメイン名を、住所に当たるIPアドレスと呼ばれる4つの数字の列に変換するコンピュータの識別番号です。

■ 設置場所を確認します

必要な環境や機器について確認したら、「安全にお使いいただくために必ずお読みください」(P.2) をご覧のうえ、本商品の設置場所を確認してください。

設置に適さない場所

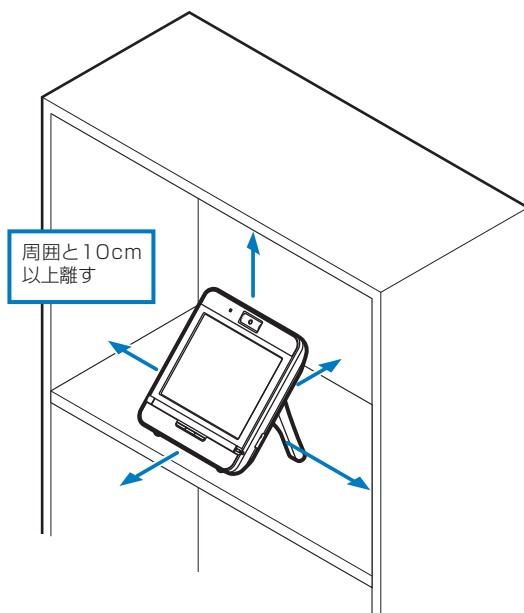
- ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備、ボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- ・ 湿気の多い場所や水、油、薬品などのかかる恐れがある場所
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所
- ・ 発熱する機器の上
- ・ 明るすぎる、または暗すぎる場所
- ・ 騒がしい場所
- ・ 落下の恐れがある場所
- ・ 風通しの悪い場所

お知らせ

- 本商品は、室内での使用を前提としています。
- 適度に明るい室内に設置してください。明るすぎる場所では、カメラの映像が白っぽくなり画面が見にくくなる場合があります。
- 夜間や昼間でも薄暗い部屋の中では、カメラ映像が不鮮明になることがあります。なるべく明るい部屋でご使用ください。
- 本商品と接続されるケーブル類につまずかないような場所に設置してください。

設置のしかた

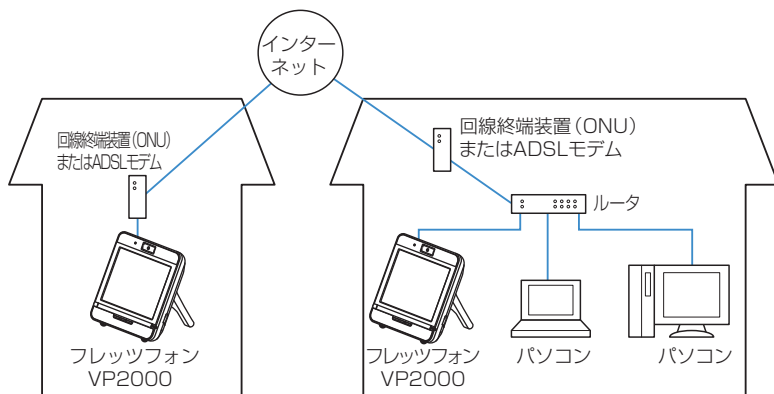
本体上部および前後左右から周囲の壁などまでは、10cm以上離して設置してください。



■ 接続します

ご家庭での接続例

- ・ 本商品のみをインターネットに接続する場合は、本商品を回線終端装置（ONU）またはADSLモデムに接続します。本商品の他にパソコンなどをインターネットに接続する場合は、ルータを使用します。
- ・ 本商品の利用方法によっては、本商品と接続する各機器（ルータやADSLモデム）の設定変更が必要な場合があります。各機器の取扱説明書をご覧のうえ、接続、設定を行ってください。



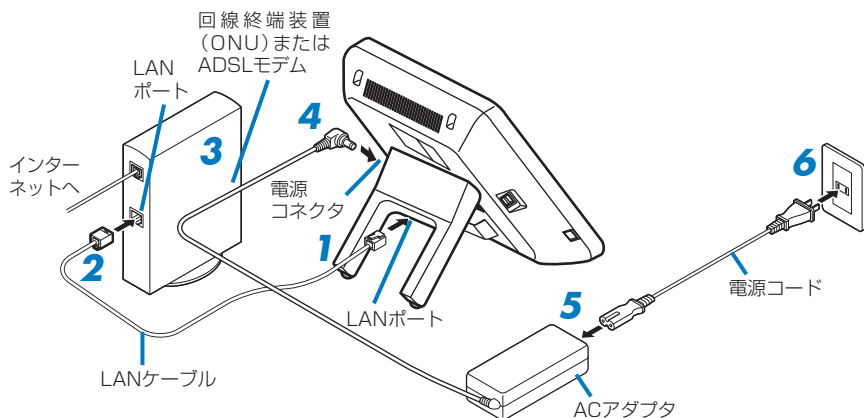
■ 本商品を回線終端装置 (ONU)、ADSLモデムまたはルータに接続します

設置場所が決まったら、本商品を回線終端装置 (ONU)、ADSLモデムまたはルータに接続し、ACアダプタを接続します。

お知らせ

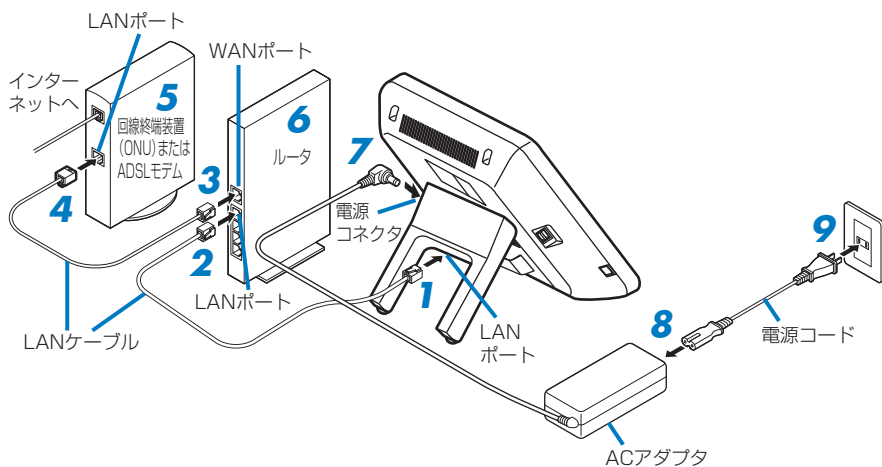
- 回線終端装置 (ONU)、ADSLモデムまたはルータの回線接続が正しく設定されているか確認してください。ADSLモデムおよびルータの接続や設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源ボタンを押したあと、しばらく経っても電源ランプが緑色に点灯しない場合は、もう一度電源ボタンを押してみてください。電源ランプが緑色に点灯しているにもかかわらず、何も表示されないときは、本商品のACアダプタを抜いて、30秒以上経ってからACアダプタを接続してください。
- 本商品の電源を切るときは、必ず電源ボタンを押して電源オフをしてください。電源オフをしないで電源コードを抜くと、本商品が起動しなくなる場合があります。電源オフ操作については、「本商品の電源オフと再起動の方法」(P.39)をご覧ください。
- 電源を再度入れるときは、電源を切ってから30秒以上経ってから行ってください。電源を切ったあとすぐに電源を入れたり、電源コードの抜き差しや電源ボタンの操作を連続して行ったりすると、起動や電源オフが正しくできない場合があります。
- 本商品をルータに接続する場合は、本商品の電源を入れる前に、ルータの電源が入っていることを確認してください。
- ルータなどの設定を変更したり再起動したときは、本商品を再起動してください。再起動の方法は「本商品の電源オフと再起動の方法」(P.39)をご覧ください。

回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムに接続する場合



- 1** 付属のLANケーブルのコネクタを本体背面のLANポートに接続する
- 2** 付属のLANケーブルのもう一方のコネクタを、回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムのLANポートに接続する
- 3** 回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムの電源を入れる
- 4** ACアダプタのコネクタを本体側面の電源コネクタに接続する
- 5** ACアダプタに電源コードを接続する
電源コードが抜けないように、奥までしっかり差し込んでください。
- 6** 電源コードのプラグを電源コンセントに接続する
本商品の電源が入ります。「初期設定をします」(P.26) に進んで設定を行ってください。
本商品の電源の切りかたについては、「本商品の電源オフと再起動の方法」(P.39) をご覧ください。

ルータに接続する場合



- 1** 付属のLANケーブルのコネクタを本体背面のLANポートに接続する
- 2** 付属のLANケーブルのもう一方のコネクタを、ルータのLANポートに接続する
- 3** LANケーブルのコネクタをルータのWANポートに接続する
本商品に同梱されているLANケーブルは1本のみです。市販のLANケーブルや、ルータに付属のLANケーブルをお使いください。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 4** LANケーブルのもう一方のコネクタを、回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムのLANポートに接続する
- 5** 回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムの電源を入れる
- 6** ルータの電源を入れる
電源を入れる前に、ルータのインターネット接続の設定を完了させておいてください。
- 7** ACアダプタのコネクタを本体側面の電源コネクタに接続する
- 8** ACアダプタに電源コードを接続する
電源コードが抜けないように、奥までしっかり差し込んでください。
- 9** 電源コードのプラグを電源コンセントに接続する
本商品の電源が入ります。「初期設定をします」(P.26)に進んで設定を行ってください。
本商品の電源の切りかたについては、「本商品の電源オフと再起動の方法」(P.39)をご覧ください。

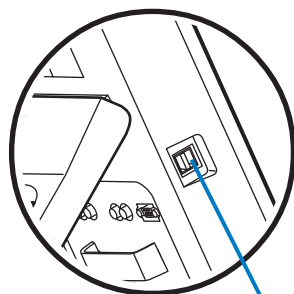
ワンポイント

- ・本商品のUSBポートに市販のUSBフラッシュメモリをセットすると、本商品の外部メモリとして使用できます。外部メモリを使って、次のような機能を利用することができます。

- メモ帳の保存や呼び出し
- メール添付データの保存や呼び出し
- 留守番電話の録音録画データの保存や呼び出し
- 保存データの表示や再生

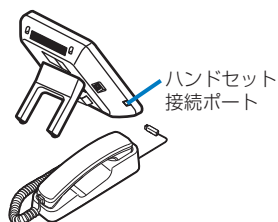
詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

- ・本体のUSBポートに市販のUSBマウスを接続することができます。マウスの設定について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。USB機器によってはご利用いただけない場合があります。

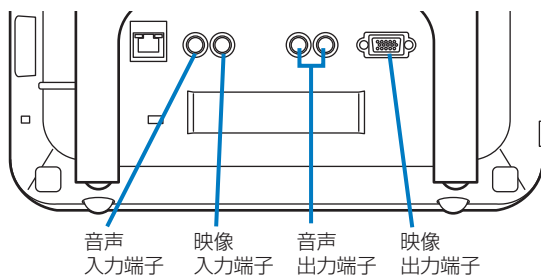


USBポート

- ・ハンドセット（オプション）をご利用になる場合は、本体側面のハンドセット接続ポートにハンドセットのケーブルを接続します。
- ・オプションのハンドセットを使用した場合でも、ハンドセットの受話部から出力される音声と同じ音声は音声出力端子から出力されます。



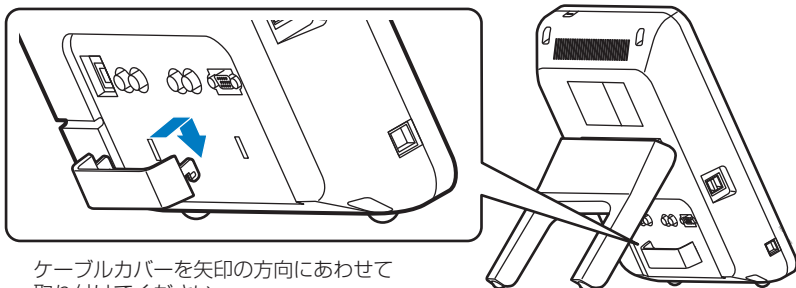
- ・本商品にテレビを接続して、液晶ディスプレイの映像をテレビで見ることができます。この場合は、本体背面の映像出力端子（アナログRGB：ミニD-sub15ピン）とテレビの映像入力端子を、音声出力端子とテレビの音声入力端子を、それぞれ接続します。接続には市販のミニD-Sub15ピンディスプレイケーブル、AVケーブルを用意してください。



- ・本商品に市販のビデオカメラなどを接続できます。ビデオカメラで撮影した映像や音声を、本商品を經由して通話相手に送信することができます。
- ・音声出力端子のボリューム調整は接続されるテレビ側で行ってください。ハンドフリー、ハンドセットを使用した場合でも、同じ音声が音声出力端子から出力されます。

■ ケーブルカバーの取付方法

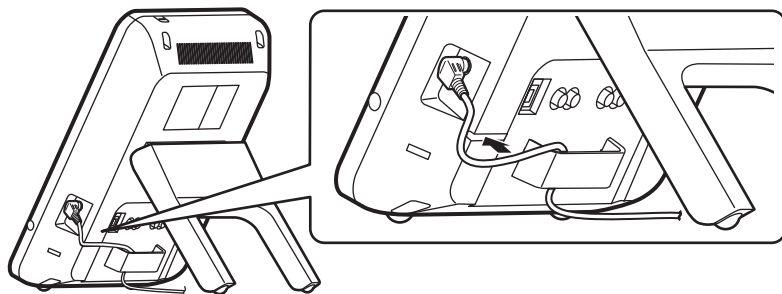
- ・ ケーブルカバー部に、過度の力を加えないでください。
- ・ 持ち運ぶときは、ケーブルカバーだけを持って持ち運びしないでください。



ケーブルカバーを矢印の方向にあわせて取り付けてください。

■ ACアダプタのコード固定方法

- ・ ACアダプタのコードを下図のように固定してください。



ACアダプタのコードを溝に沿って埋め込んでください。

初期設定をします

本商品を使えるようにするための設定を行います。

初期設定を始める前に

ご利用になるサービスと初期設定の手順を確認してください。

本商品でご利用になるサービスによって、初期設定の手順が異なります。

本書では、プロバイダが提供する「インターネット接続サービスとIPテレビ電話サービス」を利用する場合の初期設定方法を説明しています。

初期設定の際には、次の操作が必要です。

- ・ タッチ
画面上のボタンやアイコンを付属のタッチペンで触れる操作です。
- ・ 文字の入力
画面上のキーボードを使って文字を入力します。ユーザIDやパスワードの入力などの際に必要です。

「タッチペンの使いかた」(P.32)や「文字の入力のしかた」(P.40)をご覧ください、操作方法を確認してから初期設定を始めてください。

本商品でインターネット接続をするための設定をします

プロバイダに接続してインターネットを利用するための設定例です。本商品の電源を入ると、次のような画面が表示されます。

1 日付と時刻を設定して、[次へ]ボタンにタッチする

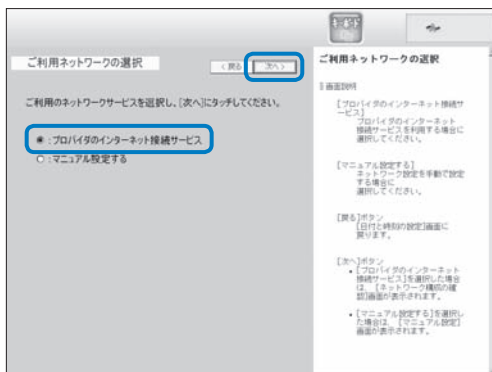
日付は2007年～2070年の間で入力してください。それ以外の値を入力した場合は、正しい値が設定されないことがあります。



お知らせ

- この画面が表示されるまで、約1～4分かかります。

2 「プロバイダのインターネット接続サービス」を選択して、[次へ]ボタンにタッチする



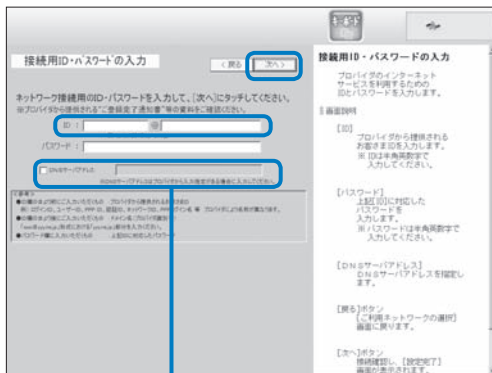
以降は、本商品を接続している機器によって、手順が異なります。

(次ページに続く)

本商品を回線終端装置（ONU）またはADSLモデムに接続している場合

3 右のような画面が表示されたら、プロバイダから提供された「ユーザID」や「パスワード」を入力して、【次へ】ボタンにタッチする

本商品の設定が行われます。しばらく経つと、「ネットワーク設定が完了しました」などのメッセージが表示されます。



プロバイダからDNSサーバのアドレスを指定されている場合は、ここにアドレスを入力します

4 表示された画面で、【設定完了】ボタンにタッチする

初期設定を続けます。

次に、IPテレビ電話サービスの設定を行います。「本商品でテレビ電話をするための設定をします」(P.29)をご覧ください。

本商品をルータに接続している場合

ルータの設定が完了し、インターネットに接続可能な場合は、本商品の設定が自動的に行われます。しばらく経つと、「ネットワーク設定が完了しました」などのメッセージが表示されます。

3 表示された画面で、【設定完了】ボタンにタッチする

初期設定を続けます。

次に、IPテレビ電話サービスの設定を行います。「本商品でテレビ電話をするための設定をします」(P.29)をご覧ください。

お知らせ

- ルータの設定が完了していない場合は、上記の手順で本商品の設定を行えません。先に各機器の設定を行ってください。設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

- 4 本商品でご利用予定のプロバイダを一覧から選択して、**【決定】** ボタンにタッチする
※ご利用予定のプロバイダによっては、自動的に手順4に進む場合があります。
- 5 プロバイダ確認画面が表示されたら、**【確認】** ボタンにタッチする
- 6 ID・パスワードの入力画面が表示されたら、プロバイダから提供された「ID」、「パスワード」を入力して**【次へ】** ボタンにタッチする
- 7 画面の説明を読んで、IPテレビ電話サービスの申し込み、登録を行う
- 8 ご利用のフレッツサービスを選択して、**【次へ】** ボタンにタッチする
設定された内容が表示されます。
- 9 **設定内容を確認して、【完了】** ボタンにタッチする

初期設定を続けます。

次に、ホーム画面に表示するワンタッチボタンの設定を行います。「本商品のホーム画面に表示するワンタッチボタンを設定します」(P.31)をご覧ください。

お知らせ

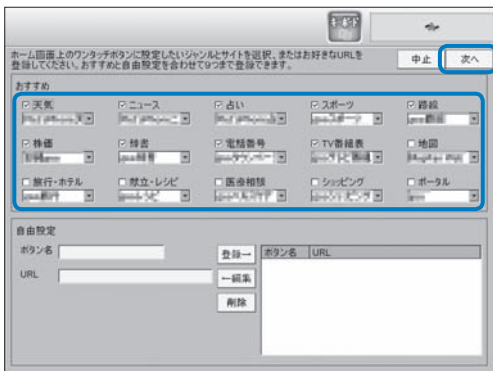
- 初期設定を完了しなかった場合や、テレビ電話の設定を行わないで初期設定を終了した場合は、電話機能を使用できません。IPテレビ電話サービスを利用する場合は、別途、設定を行ってください。詳しくは、「本商品の設定変更をするには」(P.101)をご覧ください。
- 「テレビ電話サービスの工事が完了していません」などのメッセージが表示された場合は、プロバイダ側の工事が完了していないため、本商品の設定ができません。しばらく経ってから**【再確認】** ボタンにタッチしてください。工事完了までの時間はプロバイダによって異なります。詳しくは、ご利用のプロバイダにご確認ください。
- 設定は、あとで変更することもできます。詳しくは、「本商品の設定変更をするには」(P.101)をご覧ください。

本商品のホーム画面に表示するワンタッチボタンを設定します

1 ホーム画面に表示するワンタッチボタンの種別とサイトを選択する

最大9つまで選択することができます。

ホーム画面で表示するワンタッチボタンの種別とURLを自由に設定することができます。詳しくは、設定ガイド第4章「4-6 ワンタッチボタンの設定」(P.52)をご覧ください。



2 【次へ】 ボタンにタッチする

3 ホーム画面に表示されるボタンの位置を設定する

4 【完了】 ボタンにタッチする



ホーム画面ボタン表示位置

「更新情報を確認しています」などのメッセージが表示され、本商品の更新情報の確認が行われます。更新情報が取得されると、システムをアップデートするかどうかを確認する画面が表示されます。

[はい] ボタンにタッチすると、システムのアップデートが始まります。詳しくは、「本商品のシステムをアップデートするには」(P.109)をご覧ください。

しばらく経つと、ホーム画面が表示されます。

画面右上のステータス表示にネットワークや電話のアイコンが表示されていれば、正しく設定ができています。ステータス表示については、「画面について(ホーム画面の場合)」(P.35)をご覧ください。

これで初期設定は完了です。

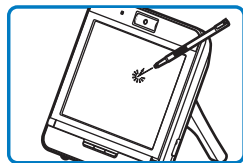
基本操作について

タッチペンの使いかた

本商品は、画面を付属のタッチペンで触れることによって電話をかけたり、メールを送ったりする操作を簡単に行えます。タッチペンの操作には、タッチペンで軽く触れる「タッチ」、タッチペンの先端をタッチパネルに触れたままずらす「ドラッグ」の2つの方法があります。

タッチ

ボタンやアイコンにタッチペンの先端を合わせて、軽く触れる操作です。パソコンのマウスで行うクリックとほぼ同じ動きをします。



ドラッグ

タッチペンの先端を、タッチパネルに触れたままずらす操作です。メモ帳の編集画面で絵や文字を描いたり、範囲を選択します。

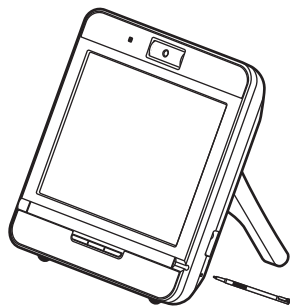


お知らせ

- タッチパネルにタッチするときは、付属のタッチペンを使ってください。シャープペンシルなど先端がとがったものでタッチすると、タッチパネルが傷ついたり割れたりすることがあります。
- ボタンにタッチするときは、ボタンにタッチしたままタッチペンをずらしたりしないでください。正常に機能が実行されなくなる場合があります。
- タッチペンでボタンにタッチするときに、指などが他のボタンに触れると、画面が切り替わったり誤動作をします。ご注意ください。
- 文字列入力エリアの幅を超える文字列を入力した場合は、ドラッグでスクロールしてください。
- 機能によっては、処理に時間がかかるため、ボタンなどにタッチしてもすぐには実行されないことがあります。同じボタンを何度もすばやくタッチしないようにしてください。
- タッチした箇所と異なる箇所が反応してしまうときは、「タッチパネル補正」を行ってください。詳しくは、「環境設定画面で設定できること」(P.106)をご覧ください。
- ボタンにタッチしても反応しない場合は、入力した情報や設定が間違っている、通話中に利用できない機能のボタンにタッチしているなどの可能性があります。
- 画面に表示されているボタンへのタッチや、本体ボタンを押す操作をすばやく繰り返したり、ファイル（の共有）、メモ帳（の共有）やブラウザ（の共有）をすばやく連続して繰り返した場合、正しく動作しなくなったり、システムに大きな負荷がかかり動作が著しく遅くなったり、停止する可能性があります。その場合は、電源を切ってから電源コードを抜いて、30秒以上経ってから電源を入れ直してください。

ワンポイント

- ・ タッチペンは、タッチペン収納部に収納できます。



本体ボタンの使いかた

本体の各ボタンを使うと、次の操作ができます。

①メニューボタン

各画面でメインメニューの表示と非表示を切り替えます。

ホーム画面表示中の場合、画面上のボタンの表示／非表示を切り替えます。

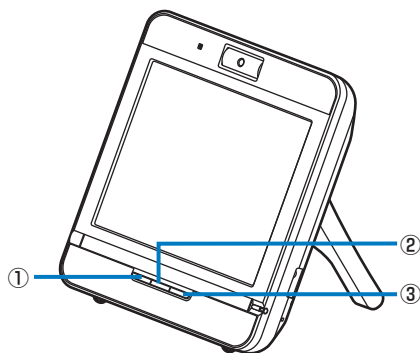
②ホームボタン

ホーム画面を表示します。

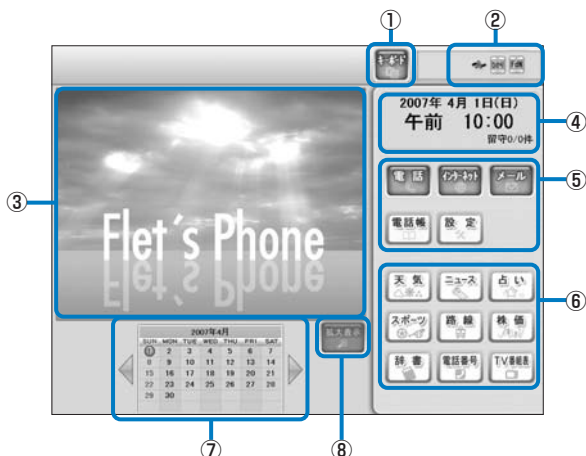
ホーム画面表示中の場合、イメージウィンドウが初期表示に戻ります。

③機能ボタン

拡張機能用ボタンです。テレビ電話画面変更機能により、電話画面を表示する設定ができます。



画面について（ホーム画面の場合）



項目	説明
①キーボード	キーボードを表示します。キーボードの表示については、「文字の入力のしかた」(P.40)をご覧ください。
②ステータス表示	ネットワーク接続中などの状態を表示します。各アイコンの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ●メール : 新着メールがあります。 ●ネットワーク : DHCPでネットワークに接続中です。×印が付いているときは、ネットワーク未接続です。 : PPPoEでネットワークに接続中です。×印が付いているときは、ネットワーク未接続です。 : 手動設定でネットワークに接続中です。×印が付いているときは、ネットワーク未接続です。 ●アップデート : システムのアップデートができます。システムのアップデートを行ってください。システムのアップデートについては、「本商品のシステムをアップデートするには」(P.109)をご覧ください。 ●電話 : ひかり電話を利用できます。×印が付いているときは、ひかり電話を利用できません。 : FLET'S.NetナンバーでのIPテレビ電話サービスが利用できません。×印が付いているときは、IPテレビ電話サービスを利用できません。 : プロバイダが提供する「050」番号を利用したIPテレビ電話サービスが利用できます。×印が付いているときは、IPテレビ電話サービスを利用できません。
③イメージウィンドウ	壁紙やホームページ、カレンダーを表示します。表示する内容は、待ち受け設定画面で変更ができます。詳しくは、「待ち受け設定画面で設定できること」(P.102)をご覧ください。
④情報ウィンドウ	現在の日付・時間、留守録件数を表示します。フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用時は、留守録件数は表示されません。

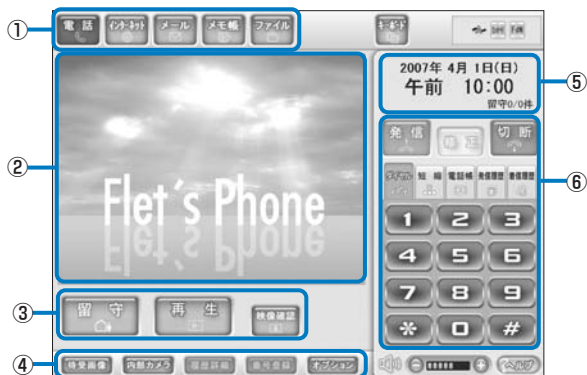
(次ページに続く)

項目	説明
⑤ホームメニュー	[電話] 電話画面を表示します。 [インターネット] ブラウザ画面を表示します。 [メール] メール画面を表示します。 [電話帳] 電話帳画面を表示します。 [設定] 設定画面を表示します。
⑥ワンタッチメニュー	各ボタンに登録されているホームページをイメージウィンドウで表示します。 各ボタンの登録方法については、設定ガイドの第4章「4-6 ワンタッチボタンの設定」(P.52)をご覧ください。
⑦ミニカレンダー	初期表示では、現在の月を表示します。現在の日付には、●マークが付きます。予定の入力がある日付には、□マークが付きます。ミニカレンダー横の◀▶にタッチすると表示している月が変わります。ミニカレンダーをタッチするとイメージウィンドウにカレンダーを表示します。
⑧拡大表示	イメージウィンドウに表示されているホームページをブラウザで表示します。

ワンポイント

- ・ 本体のメニューボタンを押すと、画面上のボタンを非表示にすることができます。再度、本体のメニューボタンを押すと、ボタンが表示されます。
- ・ 本体のホームボタンを押すと、イメージウィンドウが初期表示に戻ります。
- ・ 通話中の場合、ワンタッチメニューおよび[拡大表示]ボタンは表示されません。また、イメージウィンドウに「通話中のため、ワンタッチメニューおよび拡大表示ボタンはご利用いただけません」と表示されます。なお、イメージウィンドウにカレンダーは表示されません。

画面について（電話画面の場合）



項目	説明
①メインメニュー	各画面を表示します。メニューボタンを押すと、表示と非表示が切り替わります。 [電話] 電話画面を表示します。 [インターネット] ブラウザ画面を表示します。 [メール] メール画面を表示します。 [メモ帳] メモ帳画面を表示します。 [ファイル] 本商品の内部メモリや外部メモリに保存されているファイルの一覧を表示します。 ※ホーム画面、設定画面では、表示されません。

項目	説明
②イメージウィンドウ	カメラ映像や待受画像を表示します。
③留守/再生/映像確認	留守録の設定/解除や再生をしたり、カメラ映像を確認します。
④機能メニュー	待受画像、内部カメラ、履歴詳細、登録、オプションなどの機能のボタンが表示されます。
⑤情報ウィンドウ	通話相手の電話番号が表示されます。通話相手が電話帳に登録されている場合は、名前も表示されます。待ち受け時には、時刻と発信先情報および留守番電話の未再生件数/総件数が表示されますが、フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用時は、留守番電話の件数は表示されません。発信先情報は、ひかり電話やテレビ電話機能が利用できる場合、利用状況、通常の発信先が表示されます。 ※発信先情報について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。
⑥操作パネル	電話の操作ボタンです。電話をかけたり受けたりします。 [*]、[#] ボタンは通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能ボタンです。

お知らせ

- ボタンやアイコンがグレーに表示されているときは、タッチしても選択することはできません。
- 操作を促すメッセージが表示されている状態では、メッセージ外側のボタンなどの操作はできません。メッセージを閉じてから操作してください。同様にメッセージ表示状態ではステータスアイコンの状態は更新されませんので、メッセージを閉じてからアイコン状態を確認してください。

ワンポイント

- ・ 画面が見えにくいときは、「ディスプレイ輝度」で見やすいように調整してください。詳しくは、「環境設定画面で設定できること」(P.106)をご覧ください。
- ・ 電話や電話帳の操作方法については、「機能操作編」(P.45)をご覧ください。その他の機能の操作方法については、各機能の画面上のヘルプをご覧ください。

■ ヘルプの使いかた

各機能画面の右下には、[ヘルプ] ボタンがあります。[ヘルプ] ボタンにタッチすると、操作中の機能についてのヘルプを見ることができます。



ワンポイント

- ・ ヘルプ画面で青字になっている箇所にタッチすると、その項目の説明にジャンプします。
- ・ ヘルプ画面の右上にある [閉じる] ボタンにタッチすると、ヘルプ画面を閉じます。また、別の画面を表示させると、ヘルプ画面を自動的に閉じます。
- ・ ヘルプ画面を閉じて、ヘルプ画面を表示する直前の画面に戻らない場合があります。この場合は、もう一度、操作したいボタンにタッチしてください。

■ 音量設定について

本商品の音量を調整するときは、次の手順で行ってください。ご利用中の機能によって調整のしかたが異なります。

項 目	説 明
①電話の受話音量（通話相手の話し声や通話中のキャッチ音など）	電話画面上の [音量調節] ボタンで調整します。「電話画面について」(P.54) をご覧ください。
②電話の音量（待ち受け時や発着信時の着信音やブッシュ音など）	電話のオプション画面上の [主音量] ボタンで調整します。「オプション画面で設定できること」(P.55) をご覧ください。
③留守録メッセージ再生時の音量	留守録メッセージ再生画面上の [音量] ボタンで調整します。
④ブラウザの音量	ブラウザ画面上の [音量] ボタンで調整します。
⑤動画再生時の音量	メディアプレーヤ画面上の [音量調節] ボタンで調整します。

お知らせ

- 設定した音量設定はそれぞれの機能の中で有効となります。それぞれの音量設定を調整してください。
- 本商品の起動や終了時、画面切り替え時、外部接続機器の接続を変更した時に、ノイズが聞こえることがあります。
- 音声出力端子の音量を本商品で調節することはできません。音声出力端子に接続したテレビやモニタなどで音量を調整してください。

本商品の電源オフと再起動の方法

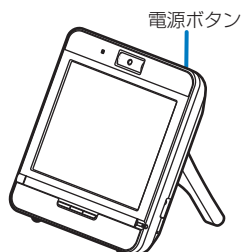
本商品の電源を切るときは、次の手順で行ってください。

お知らせ

- 電源オフを行わないで電源コードを抜くと、本商品が起動しなくなる場合があります。必ず、下記の手順を守って電源を切ってください。
- 発信中、着信中、通話中、切断中は、電源ボタンによる電源オフはできません。状況によっては、一定時間警告メッセージを表示します。

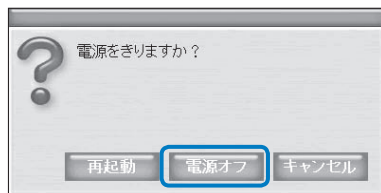
電源オフの方法

1 本体右上部の電源ボタンを押す



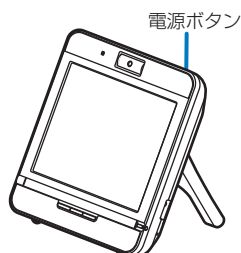
2 確認画面が表示されたら、【電源オフ】ボタンにタッチする

「電源オフ処理中です…」と表示されます。しばらくすると、画面が暗くなり電源ランプが消えます。再度電源を入れる場合は、30秒以上経ってから電源ボタンを押してください。



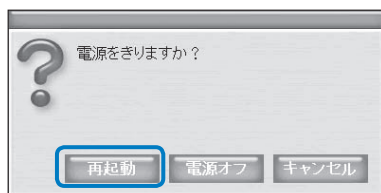
再起動の方法

1 本体右上部の電源ボタンを押す



2 確認画面が表示されたら、【再起動】ボタンにタッチする

「再起動処理中です…」と表示されます。しばらくすると、画面が暗くなり再起動します。



文字の入力のしかた

電話帳で氏名や電話番号を入力したり、設定画面などで文字を入力するときは、[キーボード] ボタンにタッチしてキーボードを表示します。キーボード表示は5種類あり、入力する文字の種類によって切り替えて使用します。

■ キーボードの表示

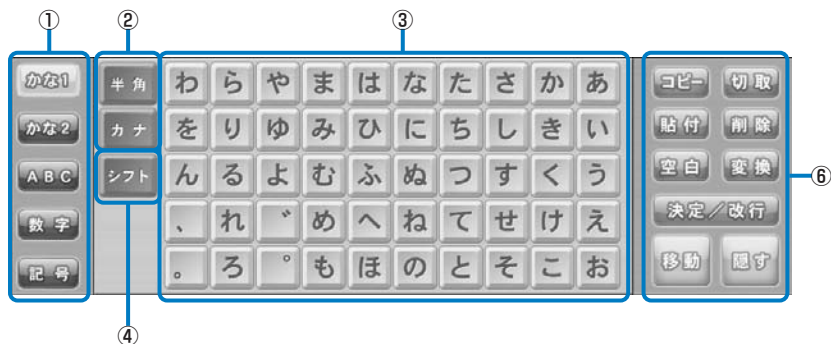


ワンポイント

- ・ [キーボード] ボタンについては、「画面について（ホーム画面の場合）」(P.35) をご覧ください。

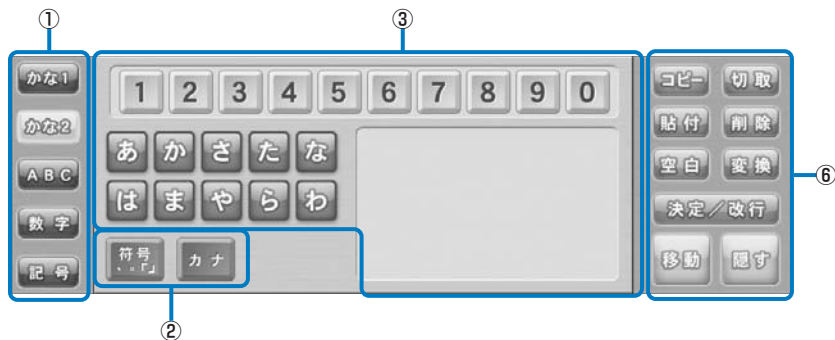
50音のキーボード

[かな1] キーにタッチすると表示されます。



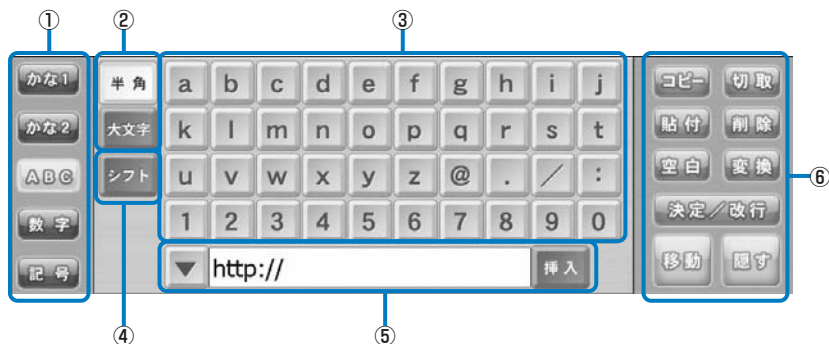
50音のキーボード (ツータッチ入力)

[かな2] キーにタッチすると表示されます。



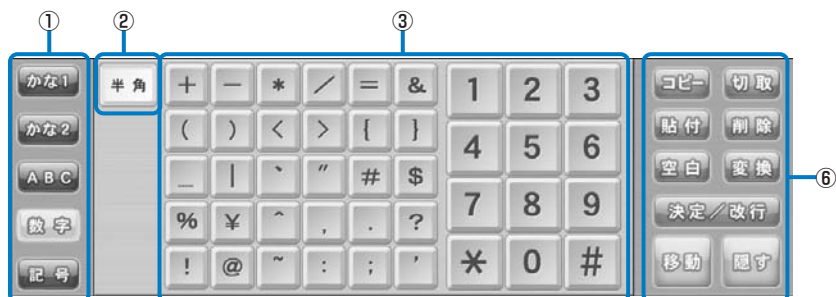
英数字のキーボード

[ABC] キーにタッチすると表示されます。



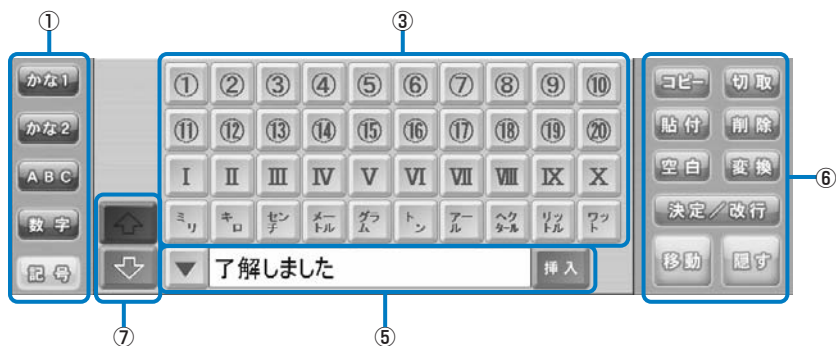
数字と記号のキーボード




[数字] キーにタッチすると表示されます。



記号のキーボード

[記号] キーにタッチすると表示されます。



項目	説明
①キー配列	<p>キーボードのキー配列を選ぶことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [かな1] : ひらがな、カタカナを直接タッチして入力できます。入力したひらがなを漢字に変換できます。 ・ [かな2] : ひらがな、カタカナを直接タッチして入力できます。入力したい文字が含まれる行を指定してから、該当する文字にタッチして入力します。入力したひらがなを漢字に変換できます。 ・ [ABC] : アルファベット、数字、記号を直接タッチして入力できます。 ・ [数字] : 記号・数字を直接タッチして入力できます。 ・ [記号] : 「①」「②」などの数字やローマ数字などの特殊記号を入力できます。
②入力モード	<p>キー配列に応じた入力モードを切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [半角] : 全角／半角の切り替えができます。 ・ [カナ] : ひらがな／カタカナの切り替えができます。 ・ [符号] : ひらがな(カタカナ)／符号の切り替えができます。 ・ [大文字] : 小文字／大文字の切り替えができます。
③キー表示	<p>キー配列と入力モードで選ばれたキーを表示します。</p>
④シフト	<p>小文字、よく使う記号などが入力できます。キー配列が [かな2]、[数字]、[記号] では [シフト] キーは使用できません。</p>
⑤定型文入力	<p>よく使われる文字列、顔文字などの定型文が入力できます。にタッチすると定型文の一覧が表示されます。入力したい定型文を選択して [挿入] キーにタッチすると、カーソルの位置に定型文が入力されます。[かな1]、[かな2]、[数字] では定型文入力はできません。</p>
⑥コピー、切取、貼付、削除、空白、変換、決定／改行、移動、隠す	<ul style="list-style-type: none"> ・ [コピー] : ドラッグして選択した文字をコピーします。 ・ [切取] : ドラッグして選択した文字を切り取ります。 ・ [貼付] : コピーまたは切り取りした文字を、カーソルの位置に貼り付けます。 ・ [削除] : ドラッグして選択した文字またはカーソルの左の文字を削除します。 ・ [空白] : カーソルの位置にスペースを入力します。 ・ [変換] : 入力したひらがなの漢字変換候補を表示します。 ・ [決定／改行] : 文字の入力を決定します。または、カーソルの位置で改行します。 ・ [移動] : キーボードの位置を、画面の上または下に移動します。 ・ [隠す] : キーボードの表示を消します。
⑦  	<p>一覧に表示しきれていない特殊記号や絵文字がある場合に、一覧を上下に移動して表示できます。</p>

■ 文字を入力します



ワンポイント

- ・ キーボードから正しく文字が入力できないときは、ホームボタンを押して画面を切り替えてから、再度 [キーボード] ボタンにタッチして文字を入力してください。

50音のキーボードを使って“フレッツでTV電話”を入力する場合

- 1** 文字を入力したい位置にタッチする
カーソルが点滅します。
- 2** [キーボード] ボタンにタッチする
キーボードが表示されます。
- 3** [かな1] キーにタッチする
50音のキーボードに切り替わります。
- 4** [カナ] キーにタッチする
キーボードがカタカナ表示に変わります。キー表示がカタカナになっているときは、[カナ] キーにタッチする必要はありません。
- 5** [フ] → [レ] → [シフト] → [ツ] → [ツ] → [決定/改行] の順にキーにタッチする
“フレッツ” と入力されます。
- 6** [かな] → [て] → [ん] → [決定/改行] の順にキーにタッチする
“フレッツで” と入力されます。
- 7** [ABC] → [大文字] → [T] → [V] の順にキーにタッチする
キー表示が大文字になっているときは、[大文字] キーにタッチする必要はありません。
“フレッツでTV” と入力されます。
- 8** [かな1] → [て] → [ん] → [わ] → [変換] の順にキーにタッチする
もう一度 [変換] キーにタッチすると、漢字変換候補が表示されます。
- 9** [決定/改行] キーにタッチする
漢字変換候補が表示されているときは、一覧から「電話」にタッチして、[決定/改行] キーにタッチします。
“フレッツでTV電話” と入力されました。
- 10** [隠す] キーにタッチする
キーボードの表示が消えます。

“フレッツでTV電話”を50音のキーボード（ツータッチ入力）を使って入力する場合

- 1 **文字を入力したい位置にタッチする**
カーソルが点滅します。
- 2 **【キーボード】 ボタンにタッチする**
キーボードが表示されます。
- 3 **【かな2】 キーにタッチする**
50音のキーボード（ツータッチ入力）に切り替わります。
- 4 **【カナ】 キーにタッチする**
キーボードがカタカナ表示に変わります。
- 5 **行の一覧から【ハ】 キーにタッチする**
右側に「八行」の一覧が表示されます。
- 6 **【フ】 → 【決定／改行】 の順にキーにタッチする**
“フ”と入力されます。
- 7 **同様の手順で、【ラ】 → 【レ】 → 【タ】 → 【ッ】 → 【タ】 → 【ツ】 → 【決定／改行】 の順にキーにタッチする**
“フレッツ”と入力されます。
- 8 **【かな】 → 【た】 → 【で】 → 【決定／改行】 の順にキーにタッチする**
“フレッツで”と入力されます。
- 9 **【ABC】 → 【大文字】 → 【T】 → 【V】 の順にキーにタッチする**
キー表示が大文字になっているときは、【大文字】 キーにタッチする必要はありません。
“フレッツでTV”と入力されます。
- 10 **【かな2】 → 【た】 → 【で】 → 【わ】 → 【ん】 → 【わ】 → 【わ】 → 【変換】 の順にキーにタッチする**
最後の【わ】は、右側のわ行の一覧にある【わ】キーにタッチします。
もう一度【変換】キーにタッチすると、漢字変換候補が表示されます。
- 11 **【決定／改行】 キーにタッチする**
漢字変換候補が表示されているときは、一覧から「電話」にタッチして、【決定／改行】キーにタッチします。
“フレッツでTV電話”と入力されました。
- 12 **【隠す】 キーにタッチする**
キーボードの表示が消えます。

機能操作編

ホーム画面を活用する

電話をかけます

電話を受けます

電話帳を利用します

その他の機能について

－ホームページを見ます

－メールを送受信します

－ひかり電話の便利な機能を利用します

－留守番電話を利用します

－メモ帳でメモを作成します

－ファイル機能で画像や動画を見ます

－テンプレートで用意されたテレビ電話画面を選択することができます

本商品の設定変更をするには
本商品をお買い上げのときの
状態に戻すには（初期化）

本商品のシステムを
アップデートするには

ホーム画面を活用する

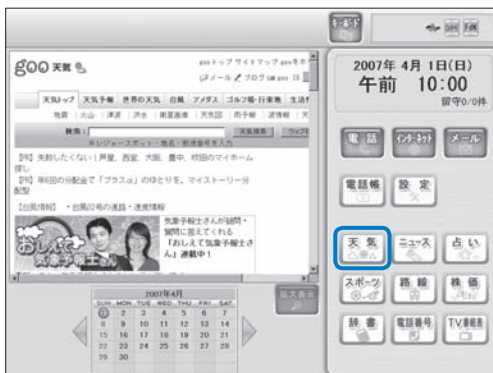
ホーム画面では、カレンダーに予定を入力したり、ワンタッチでホームページを表示したり、イメージウィンドウの表示を変更することができます。また、他の画面を表示することもできます。

ホームページを表示します

ワンタッチボタンに設定したホームページを表示することができます。ここでは、[天気] ボタンに登録したホームページを表示する手順を説明します。

1 [天気] ボタンにタッチする

[天気] ボタンに登録したホームページをイメージウィンドウに表示します。



[拡大表示] ボタンにタッチするとブラウザ画面にホームページが表示されます。

なお、Webページによっては、同じ内容で表示されないことがあります。



ワンポイント

- ワンタッチボタン設定ガイドでホームページの登録を行わない場合、ワンタッチメニューが表示されません。ワンタッチボタンのホームページの変更を行う場合は、ホーム画面にて [設定] → [ワンタッチ] の順にボタンにタッチしてください。設定方法については、設定ガイド第4章「4-6 ワンタッチボタンの設定」(P.52) をご覧ください。
- ホームボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。
- ブラウザ画面でリンク先にタッチした後、[戻る] ボタンにタッチすると、直前に表示されていたページに戻ることができます。
- ホームページにより、正しく表示や動作しない場合があります。
- ホームページが正しく表示できない場合、自動でホーム画面へ遷移する場合があります。
- ホーム画面で認証などを行い、[拡大表示] にタッチして、ブラウザ画面を表示すると、再度認証などが必要になる場合があります。
- 通話中の場合、ワンタッチメニューおよび [拡大表示] ボタンは表示されません。また、イメージウィンドウに「通話中のため、ワンタッチメニューおよび拡大表示ボタンはご利用いただけません」と表示されます。なお、イメージウィンドウにカレンダーは表示されません。

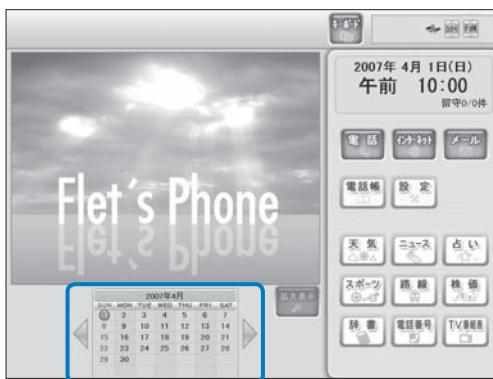
予定を入力します

カレンダーに予定を登録して、表示することができます。ここでは、4月28日に誕生日を登録する手順を説明します。

1 [ミニカレンダー] をタッチする

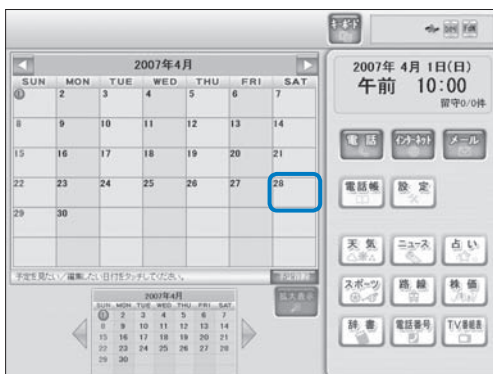
ミニカレンダー横の◀▶ボタンをタッチして、予定を入力する月を表示します。

[ミニカレンダー] をタッチすると、イメージウィンドウにミニカレンダーと同じ月のカレンダーが表示されます。



2 入力する日付をタッチする

予定を入力する28日をカレンダーから選びタッチすると、予定作成画面が表示されます。



(次ページに続く)

3 予定を作成する

アイコンを選択し、ツールボックスのアイコンを使用して予定を作成します。



ワンポイント

- ・ カレンダーをタッチして予定を入力する時に内部メモリの空き容量が不足している場合には、エラーメッセージが表示されます。予定を新規作成する場合は、予定作成画面は表示されません。入力済みの予定内容の確認と削除のみ可能です。
- ・ カレンダーで表示可能な範囲は2007年1月～2070年12月です。
- ・ 1日に1件の入力可能です。複数の予定を書きたい場合は1件の予定内容に複数の予定をお書きください。
- ・ カレンダーを表示中は「拡大表示」ボタンは押せません。
- ・ 本体のホームボタンを押すと、ホームの初期状態に戻ります。
- ・ 同じ日付の予定内容の変更を繰り返すと予定内容の画像が劣化します。

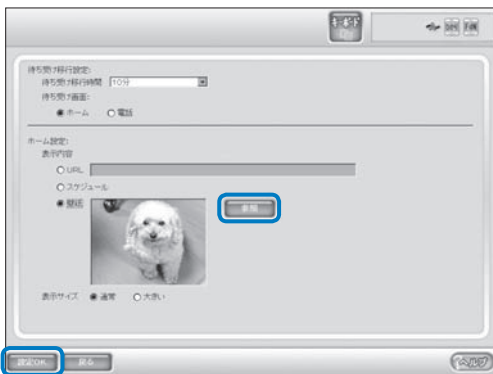
イメージウィンドウの表示を変更します

ホーム画面のイメージウィンドウに表示する画像を変更する手順を説明します。

- 1 ホーム画面にて【設定】ボタンにタッチする
- 2 【待ち受け】ボタンにタッチする
- 3 「壁紙」にチェックし、【参照】ボタンにタッチする
右の画面が表示されます。



- 4 表示したい画像ファイルを選択して、【開く】ボタンにタッチする
選択した画像ファイルが待ち受け設定画面に表示されます。
スケジュールを選択すると、カレンダーが表示されます。



- 5 【設定OK】ボタンにタッチする

- 6 ホームボタンを押す
選択した画像がイメージウィンドウに表示されます。
待ち受け設定画面で表示内容をURLに設定すると、設定したホームページがイメージウィンドウに表示されます。



他の画面を表示します

ホームメニューのボタンにタッチすると、他の画面を表示することができます。

1 ホームメニューのボタンにタッチする

[電話] ボタンにタッチすると、電話画面が表示されます。



[インターネット] ボタンにタッチすると、ブラウザ画面が表示されます。



[メール] ボタンにタッチすると、メール画面が表示されます。



ワンポイント

- ・ ホームボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

電話をかけます

本商品で電話をかけます。電話がつながると、カメラ映像を見ながらハンドフリーで通話できます。加入電話や携帯電話、PHSに電話をかけても音声のみで通話できます。

IPテレビ電話サービスをご利用になる際のご注意

発信先電話番号と発信できるサービスは、次のとおりです。

ひかり電話の場合

種 類	発信先の電話番号	発信できるサービス
加入電話番号	例：03-XXXX-XXXX 06-XXXX-XXXX	ひかり電話で発信できます。
050番号 (IP電話)	例：050-XXXX-XXXX	ひかり電話で発信できます。
OXO (050以外)	例：携 帯 電 話 (090)、PHS (070)、国際電話 (010) など	契約されたひかり電話のサービス内容によります。 ・ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象の場合 ひかり電話で発信できます。
00XY	例：0036などで始まる番号	・ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象外の場合 加入電話でおかけください。
0XYO (市外局番以外)	例：0120、0570などで始まる番号	加入電話でおかけください。
1XY	110、118、119などの緊急電話	ひかり電話で発信できます。
	184 / 186番+電話番号 ※電話番号に市外局番を付けて発信してください。	ひかり電話で発信できます。
	その他の「1」で始まる番号	契約されたひかり電話のサービス内容によります。 ・ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象の場合 (例：177など) ひかり電話で発信できます。 ・ダイヤルした番号がひかり電話サービス対象外の場合 (例：106など) 加入電話でおかけください。
#で始まる4桁のダイヤル		加入電話でおかけください。
1桁または2桁の電話番号		内線電話として発信できます。

プロバイダが提供する「050」番号を利用したIPテレビ電話サービスの場合

種 類	発信先の電話番号	発信できるサービス
加入電話番号	例：03-XXXX-XXXX 06-XXXX-XXXX	IPテレビ電話サービスで発信できます。
050番号 (IP電話)	例：050-XXXX-XXXX	IPテレビ電話サービスで発信できます。 ※契約されたIPテレビ電話サービスとは異なるサービスのご利用者とは、通話できない場合があります。
0X0 (050以外)	例：携 帯 電 話 (090)、PHS (070)、国際電話 (010) など	契約されたIPテレビ電話サービスのサービス内容によります。
00XY	例：0036などで始まる番号	・ダイヤルした番号がIPテレビ電話サービス対象の場合 IPテレビ電話サービスで発信できます。
0XY0 (市外局番以外)	例：0120、0570などで始まる番号	・ダイヤルした番号がIPテレビ電話サービス対象外の場合 加入電話でおかけください。
1XY	110、118、119などの緊急電話	加入電話でおかけください。
	184 / 186番+電話番号 ※電話番号に市外局番を付けて 発信してください。	IPテレビ電話サービスで発信できます。
	その他の「1」で始まる番号 例：177など	加入電話でおかけください。 ※番号によっては市外局番を付けることで IPテレビ電話サービスで発信できる場合があります (例：177など)。
#で始まるダイヤル		加入電話でおかけください。

FLET'S.Netナンバーを利用したIPテレビ電話サービスの場合

種 類	発信先の電話番号	発信できるサービス
FLET'S.Net ナンバー ダイヤルナンバー*	例：XXXXXXXX (9桁)	NTT東日本のFLET'S.Netナンバーで発信 できます。 ※利用するIPテレビ電話サービスに、 FLET'S.Netナンバーを選択した場合に発 信できます。 ※同じサービスまたは「フレッツ・光プレ ミアム」および「フレッツ・v6アプリ」 のテレビ電話機能を利用したIPテレビ電 話サービスを利用している相手にしか、 発信できません。
1XY	184 / 186+ FLET'S.Netナンバー 184 / 186+ ダイヤルナンバー	IPテレビ電話サービスで発信できます。
	その他の「1」で始まる番号 例：177など	加入電話でおかけください。

*ダイヤルナンバー：NTT西日本が提供する「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能で使用される9桁の電話番号です。

■ IPテレビ電話サービスから発信した場合の発信者番号通知（ナンバー・ディスプレイ）

【契約されたIPテレビ電話サービスご利用者間の通話】

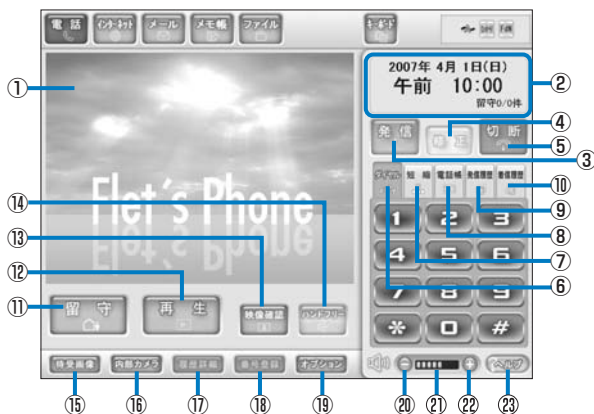
- IPテレビ電話サービスで使う電話番号が通知されます。ひかり電話をご利用の場合はナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。
- 「184+電話番号」をダイヤルすることで、非通知にすることができます。

【契約されたIPテレビ電話サービスご利用者間以外の通話】

- 契約されたプロバイダにご確認ください（IPテレビ電話サービスによっては、加入電話などに発信したときは、発信者番号が通知されない場合があります）。

電話画面について

電話画面には、次のようなボタンや機能があります。



項目	説明
①イメージウィンドウ	カメラ映像や待受画面を表示します。
②情報ウィンドウ	通話相手の電話番号が表示されます。通話相手が電話帳に登録されている場合は、名前も表示されます。待ち受け時には、時刻および留守番電話の未再生件数／総件数が表示されますが、フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用時は、留守番電話の件数は表示されません。ひかり電話と他の電話サービスを併用して利用する場合、[*] ボタンにタッチすると [FdN] と表示され、発信する電話サービスを変更できます。
③発信／応答	電話をかけたり受けたりします。電話がかかってくると「応答」表示になります。電話については、「電話番号を入力して電話をかけます」(P.56)、「電話を受けます」(P.68)、画面上のヘルプをご覧ください。
④修正	入力した電話番号を末尾から1文字ずつ削除します。
⑤切断	電話を切ります。
⑥ダイヤル	ダイヤル画面を表示します。
⑦短縮	短縮画面を表示します。短縮ボタンについては「短縮ボタンから電話をかけます」(P.64) をご覧ください。
⑧電話帳	電話帳を表示します。
⑨発信履歴	発信履歴を表示します。
⑩着信履歴	着信履歴を表示します。
⑪留守	留守番電話の設定／解除を行います。フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合、本ボタンは表示されません。
⑫再生	留守番電話の再生画面を表示します。フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合、本ボタンは表示されません。
⑬映像確認	カメラ映像の確認・調整画面を表示します。
⑭ハンドフリー	オプションのハンドセットを接続しているときに表示されます。ハンドセットで通話中にこのボタンにタッチしてハンドセットを置き台に置くと、ハンドフリーで通話できるようになります。ハンドセットについては、「ハンドセット (オプション) を使って電話をかけます」(P.66)、「ハンドセット(オプション)を使って電話を受けます」(P.70) をご覧ください。

項目	説明
⑮待受画面／自画像／相手画像	イメージウィンドウの表示を切り替えます。[待受画像]と表示されているときは、イメージウィンドウに待受画面が表示されます。[自画像]と表示されているときは、自分側のカメラ映像（内蔵カメラの映像）が表示されます。通話中は、自分側が画像送信をしていない場合は自画像への切り替えはできません。[相手画像]は、通話中に相手側が画像送信をした場合に表示されます。
⑯内部カメラ／外部入力	内蔵カメラの映像と映像入力端子からの映像を切り替えます。[内部カメラ]が表示されているときは、内蔵カメラの映像が表示されています。[外部入力]が表示されているときは、映像入力端子に接続されている機器からの映像が表示されています。
⑰履歴詳細	発信履歴と着信履歴の詳細を表示します。操作パネルに発信履歴または着信履歴を表示している場合のみボタンが有効になります。
⑱番号登録	情報ウィンドウに表示された電話番号を電話帳、着信拒否、自動応答、短縮に登録します。情報ウィンドウに電話番号が表示されている場合のみボタンが有効になります。
⑲オプション	電話についての各種設定を行います。
⑳音量調節（小）	受話音量を小さくします。通話時以外の音については、オプション画面の中で調節します。
㉑音量インジケータ	受話音量を表示します。
㉒音量調節（大）	受話音量を大きくします。通話時以外の音については、オプション画面の中で調節します。
㉓ヘルプ	電話機能についてのヘルプ画面を表示します。

■オプション画面で設定できること

[オプション] ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。ここでは、電話に関する詳細設定ができます。



項目	設定内容
①非通知着信拒否	電話番号を非通知に設定した電話からの、着信の拒否 (ON) / 許可 (OFF) を切り替えます。
②着信音	着信音を切り替えます。[試聴] ボタンにタッチすると、着信音を試聴できます。試聴中に[停止]ボタンにタッチすると、試聴を停止できます。着信音に「ユーザ設定」を選択すると、[登録] ボタンが有効になり、着信音として登録する音声ファイル (WAVファイル) を選択できます。
③主音量	着信音やダイヤル中の音など、通話中以外の音量を調節します。[規定値] ボタンにタッチすると、工場出荷時の音の大きさになります。

(次ページに続く)

項目	設定内容
④映像帯域	相手側に送信する映像のデータ量を設定します。大きな値に設定すると高画質の映像を送信できますが、処理が遅くなる場合があります。ひかり電話の場合は内線通話のみ設定が有効になります。なお、フレッツ光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合は、本設定は表示されません。
⑤通話開始時	通話開始時に映像を送信するかどうかを設定します。 [映像ON / OFF] は、通話開始時に映像を送信するかを設定します。 [全画面ON / OFF] は、通話開始時に全画面表示するかを設定します。
⑥通話時間表示	通話中に映像を拡大表示した場合、通話時間を表示するかどうかを設定します。
⑦呼出音鳴動秒数(目安)	着信から何秒後に留守番電話に切り替わるかを設定します。0~30秒を設定することができます。フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合は、本設定は表示されません。
⑧最大保存秒数	1回の留守録で保存する最大秒数を設定します。20,30,40秒を設定することができます。フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合は、本設定は表示されません。
⑨メッセージ保存先	留守録を保存する場所を設定します。保存先として内部メモリまたは外部メモリ(USBフラッシュメモリ)装着時には外部メモリが利用できます。フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合は、本設定は表示されません。
⑩メッセージ保存件数(目安)	最大保存秒数とメッセージ保存先に選択したメモリの空き容量から保存できる件数の目安を計算して表示します。 ※留守録メッセージは、最大99件まで保存可能です。フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合は、本設定は表示されません。

お知らせ

- 「パスワード変更」でパスワードを設定した場合は、設定したパスワードを正しく入力しないとオプション画面は表示されません。詳しくは、「環境設定画面で設定できること」(P.106)をご覧ください。
- 録音されるメッセージの長さや画像の状態により、表示された保存件数より多くのメッセージが保存できる場合があります。
- 本商品の負荷により、呼出音鳴動秒数で設定した値より留守番電話への切り替えに時間がかかる場合があります。
- 本商品の負荷により、最大保存秒数で設定した値より長く録音される場合があります。

ワンポイント

- ・ 各項目について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

電話番号を入力して電話をかけます

タッチパネルで電話番号をタッチして電話をかけます。電話がつながると、ハンドフリーで通話することができます。[映像送信] ボタンにタッチすると、自分側のカメラ映像が相手側に送信されます。

1 ホーム画面より【電話】ボタンにタッチする

2 自分側のカメラ映像を確認したいときは、【待受画像】ボタンにタッチする

ボタンが[自画像]と表示され、イメージウィンドウに自分側のカメラ映像が表示されます。再度、[自画像]にタッチすると待受画像に戻ります。

お知らせ

- 縞模様の洋服などを表示させると、映像がちらつくことがあります。

ワンポイント

- ・ [映像確認] ボタンにタッチすると自分側のカメラ映像が拡大表示され、電話をかける前に自分側のカメラ映像を確認することができます。
- ・ 自分側のカメラ映像を見ながら、カメラの角度を調節してください。
- ・ 拡大表示にすると、下の図のような映像の色味を調整するつまみが表示されます。映像の色味が不自然な場合は、つまみを動かして調整してください。



映像の赤色の強さを調整します。つまみを右側に動かすと、赤色が強くなります。

映像の緑色の強さを調整します。つまみを右側に動かすと、緑色が強くなります。

映像の青色の強さを調整します。つまみを右側に動かすと、青色が強くなります。

3 相手の電話番号を入力する

- [ダイヤル] ボタンにタッチして、ダイヤル画面を表示し、相手の電話番号を入力します。電話番号を間違えたときは、[修正] ボタンにタッチすると、入力した電話番号を末尾から1文字ずつ削除することができます。入力した電話番号をすべて削除するときは、[切断] ボタンにタッチします。

ワンポイント

- ・ ひかり電話と他の電話サービスを併用して利用している場合、通常はひかり電話で発信します。[*] ボタンにタッチすると [FdN] と表示され、発信する電話サービスを切り替えることができます。詳細に関しては、画面上のヘルプをご覧ください。
- ・ ひかり電話と他の電話サービスを併用する場合の電話のかけかたについては、画面上のヘルプをご覧ください。ひかり電話と併用できるIP電話サービスについては、設定ガイド第3章「はじめの一歩、使いかたを選びましょう」(P.12)をご覧ください。
- ・ フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」を利用している場合、電話番号の先頭に「0000」をつけて発信すると、音声発信になります。

ひかり電話にかける場合	市外局番－市内局番－電話番号
IP電話にかける場合	050－xxxx－xxxx
加入電話にかける場合	市外局番－市内局番－電話番号
携帯電話にかける場合	090－xxxx－xxxx、または080－xxxx－xxxx
PHSにかける場合	070－xxxx－xxxx
FLET'S.Netナンバーにかける場合	xxxxxxxx (9桁)
ダイヤルナンバーにかける場合	xxxxxxxx (9桁)

(次ページに続く)

4 【発信】 ボタンにタッチする

発信中画面が表示されます。

電話がつながると、「テレビ電話通話中」と表示され、ボタンの表示が切り替わります。

相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。

相手側の音声の流れ、ハンドフリーで通話できます。



電話がつながると、ボタンの表示が切り替わります

受話音量を小さくします

受話音量を大きくします

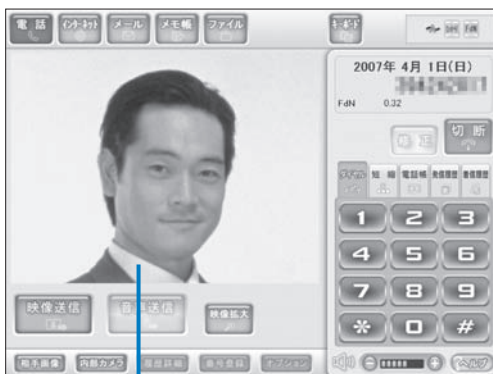
お知らせ

- 通話時には、マイクに手などを近づけないようにして、マイクから50cm以内の距離でお話しをしてください。
- 存在しない電話番号に電話をかけた場合や相手の電話に電源が入っていない場合など、音声でご案内が流れる場合がありますが、受話音量は調節できません。
- 次のようなときは、エラーメッセージが表示されずに、待ち受け状態になることがあります。
 - ・ 通話中の相手に発信したとき
 - ・ 相手呼び出しから約3分経過したとき
 - ・ 接続できない番号（存在しない相手番号など）へ発信したとき

ワンポイント

- ・ 周囲の雑音が大きいきやお話しを始めたとき、相手がお話しをしている間は、こちらの声小さくと相手に声が聞こえにくくなります。このようなときは、マイクに近づいてお話ししてください。

通話開始後、相手側が「映像送信」ボタンにタッチすると、相手側のカメラ映像が表示されます。



相手側のカメラ映像が表示されます

お知らせ

- 発信側、着信側の利用回線により、最適な映像帯域で画面表示します。
- 操作パネルが表示されたまま、相手側のカメラ映像がイメージウィンドウに表示されている場合、「映像拡大」ボタンにタッチすると、相手側のカメラ映像が拡大表示されます。
- 通話相手によって、映像帯域や表示サイズがかわります。

5 【映像送信】ボタンにタッチする

自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。「映像拡大」ボタンにタッチするとカメラ映像が拡大表示されます。「子画面」ボタンにタッチすると、自分側のカメラ映像が、子画面に表示されます。



自分側のカメラ映像が子画面に表示されます

カメラ映像のどこかにタッチすると、全画面表示になります

相手側のカメラ映像が親画面に表示されます








6 通話が終わったら【切断】ボタンにタッチする

(次ページに続く)

お知らせ

- 相手側が音声のみに対応している端末の場合は、[映像送信] ボタンは表示されません。
- ハンドフリーでの通話中に、通話以外の「ピー」「キー」などの異常音（ハウリング音）が聞こえたときや、受話音量が不安定になったときには、次のいずれかの方法を行ってください。
 - ・ 受話音量を小さくしてください。
 - ・ マイクをスピーカから遠ざけてください（外部マイクや外部スピーカ接続時）。また、次のようなときは異常音が起こりやすくなりますので、ご注意ください。
 - ・ 受話音量を大きくしすぎたとき
 - ・ スピーカやマイクに手を近づけたとき
 - ・ 反響音が大きい場所に設置したとき
 - ・ 相手側から音声以外の信号（保留音、トーン信号など）が入ってきたとき
- ハンドフリーでの通話時に本体や画面上のボタンを操作すると、通話相手に操作音が伝わる場合がありますが、故障ではありません。
- 通話中に各種ボタンや液晶ディスプレイを強くタッチすると、相手側に大きな音が伝わる場合があります。ご注意ください。
- システムやネットワークの状況により、自動的に「電話準備中」と表示され、電話を再設定する場合があります。設定が完了するまでしばらくお待ちください。
- 通話中、呼出中または着信中に何らかの原因で一方の端末の接続が切断された場合、通話中、呼出中、または着信中のままになることがあります。テレビ電話通話中は映像が動かなくなることもあります。この場合は、[切断] ボタンにタッチしてください（着信中の場合はいったん電話を受けてから [切断] ボタンにタッチしてください）。[切断] ボタンにタッチしてもすぐに切れない場合は、しばらくお待ちください。
- フレッツフォンシリーズおよびフレッツフォンシリーズに対応したソフトフォン、FOMA[®]以外のIP電話、加入電話、携帯電話、PHSに電話をかけた場合は、音声のみの通話になります。また、ご利用の電話サービスによっては、音声のみの通話になる場合があります。
- 契約されたIPテレビ電話サービスが携帯電話やPHSへの通話をサービス対象外としている場合は、本商品から電話をかけることはできません。プロバイダが提供するIPテレビ電話サービスをご利用の場合は、サービス内容についてプロバイダ各社にお問い合わせください。
- ネットワークの状態によっては、映像や音声が乱れたり、止まったり、また、通話が切断される場合があります。

■ 通話中の操作について

項目	説明
	映像送信 このボタンにタッチすると、自分側のカメラ映像の代わりに「映像保留中」といったメッセージ画像を相手側に送信します。解除（映像送信）するには、再度このボタンにタッチします。
	音声送信 このボタンにタッチすると、自分側の音声相手側に送信されなくなります。解除するには、再度このボタンにタッチします。
	映像拡大 このボタンにタッチすると、カメラ映像を拡大表示します。
	電話を切る 電話を切ります。
	子画面 [映像拡大] ボタンにタッチして拡大表示した場合に表示されます。子画面を消去したり、移動させたりします。タッチするたびに子画面が、左上に表示、右上に表示、消去の順で切り替わります。 ※自分側が映像送信を開始するまでは、このボタンにタッチしても子画面は表示されません。
	戻る [映像拡大] ボタンにタッチして拡大表示した場合に表示されます。タッチすると、イメージウィンドウの表示に戻ります。
	内部カメラ 内蔵カメラの映像と映像入力端子からの映像を切り替えます。[内部カメラ] が表示されているときは、内蔵カメラの映像が表示されています。[外部入力] が表示されているときは、映像入力端子に接続されている機器からの映像が表示されています。



ワンポイント

- ・ [オプション] ボタンにタッチすると、電話の各種設定画面が表示され、次のような設定ができます。詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。
 - 着信音の大きさを調節することができます。
 - 電話着信音を変更することができます。

■ 音声・映像の送信を切り替えます

通話中の音声・映像の送信を切り替えることができます。

- 音声消音中は、相手に音声を送信しないようにします。
- 映像保留中は、「映像保留中」のメッセージ画像を相手側に送信します。

1 通話中に【映像送信】ボタン、または【音声送信】ボタンにタッチする

[映像送信] ボタンにタッチすると、映像保留中になります。また、同時に音声消音中になります。

[音声送信] ボタンにタッチすると音声消音中になります。

2 電話に出られるようになったら【映像送信】ボタン、または【音声送信】ボタンにタッチする

[映像送信] ボタンにタッチした場合、同時に音声も送信されます。

発信履歴から電話をかけます

電話をかけると、通話相手の電話番号や日付、時刻などの情報が発信履歴として記憶されます。相手が電話に出なかった場合も履歴として記憶されます。履歴を利用して電話をかけることができます。

- 通話中は履歴の詳細を表示できません。
- 履歴には、本商品で設定された日時が記憶されます。日付、時刻は正しく設定してください。設定について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。
- 履歴は20件まで記憶されます。

お知らせ

- 電話帳を利用して電話をかけると、電話番号、氏名、発信日時が発信履歴に表示されます。
- 184付加／186付加を利用して電話帳から電話をかけると、電話画面の情報ウィンドウには登録してある氏名は表示されません。発信履歴にも氏名は表示されません。

1 ホーム画面より【電話】ボタンにタッチする

2 【発信履歴】ボタンにタッチする

履歴が表示されます。

詳細を表示したい場合は、【履歴詳細】ボタンにタッチします。

3 履歴を選んで【発信】ボタンにタッチする

電話番号が表示され、発信中画面が表示されます。

電話がつながると「テレビ電話通話中」と表示され、ボタンの表示が切り替わります。

相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。

相手側の音声の流れ、ハンドフリーで通話できます。

通話開始後、相手側が【映像送信】ボタンにタッチすると、相手側の映像が表示されます。

4 【映像送信】ボタンにタッチする

自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。

5 通話が終わったら【切断】ボタンにタッチする

■ 発信履歴を削除します

1 ホーム画面より【電話】ボタンにタッチする

2 【発信履歴】ボタンにタッチする

3 【履歴詳細】ボタンにタッチする

4 削除したい履歴にタッチする

5 【1件削除】ボタンにタッチし、【はい】ボタンにタッチする

すべての履歴を削除するときは、【全件削除】ボタンにタッチします。

中止する場合は、【いいえ】ボタンにタッチします。

着信履歴から電話をかけます

電話を受けると、通話相手の電話番号や日付、時刻などの情報が着信履歴として記憶されます。電話に出なかった場合も履歴として記憶されます。履歴を利用して電話をかけることができます。

- 通話中は履歴の詳細を表示できません。
- 履歴には、本商品で設定された日時が記憶されます。日付、時刻は正しく設定してください。設定について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。
- 履歴は20件まで記憶されます。

お知らせ

- 通知された電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話番号、氏名、着信日時が着信履歴に表示されます。

1 ホーム画面より【電話】ボタンにタッチする

2 【着信履歴】ボタンにタッチする

履歴が表示されます。

詳細を表示したい場合は、【履歴詳細】ボタンにタッチします。

3 履歴を選んで【発信】ボタンにタッチする

電話番号が表示され、発信中画面が表示されます。

電話がつながると「テレビ電話通話中」と表示され、ボタンの表示が切り替わります。

相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。

相手側の音声の流れ、ハンドフリーで通話できます。

通話開始後、相手側が【映像送信】ボタンにタッチすると、相手側の映像が表示されます。

4 【映像送信】ボタンにタッチする

自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。

5 通話が終わったら【切断】ボタンにタッチする

■ 着信履歴を削除します

- 1 ホーム画面より【電話】ボタンにタッチする
- 2 【着信履歴】ボタンにタッチする
- 3 【履歴詳細】ボタンにタッチする
- 4 削除したい履歴にタッチする
- 5 【1件削除】ボタンにタッチし、【はい】ボタンにタッチする
すべての履歴を削除するときは、【全件削除】ボタンにタッチします。
中止する場合は、【いいえ】ボタンにタッチします。

短縮ボタンから電話をかけます

よくかける電話番号は、短縮ダイヤルに登録すると便利です。

- 短縮ダイヤルは6件まで登録できます。
- 短縮ダイヤルは、短縮ボタン1つに対して1件のみ登録することができます。短縮ダイヤルは電話帳に登録されている電話番号のみ登録することができます。
- 電話画面で【短縮】ボタンにタッチすると、登録した電話番号の氏名一覧が表示されます。

■ 短縮ダイヤルを設定します

- 1 ホーム画面より【電話】ボタンにタッチする
- 2 【電話帳】ボタンにタッチする
- 3 短縮登録したい電話番号を選択する
- 4 【番号登録】ボタンにタッチする
- 5 【短縮】ボタンにタッチする
- 6 「短縮1」欄～「短縮6」欄のいずれかにタッチする

お知らせ

- 登録済みの短縮ダイヤルに新しく登録すると、短縮ダイヤルが上書きされます。

■ 短縮ボタンから電話をかけます

1 ホーム画面より【電話】ボタンにタッチする

2 【短縮】ボタンにタッチする
短縮画面が表示されます。



3 電話をかけたい短縮ボタンにタッチする
情報ウィンドウに入力した電話番号が表示されます。

4 【発信】ボタンにタッチする
発信中画面が表示されます。

電話がつながると「テレビ電話通話中」と表示され、ボタンの表示が切り替わります。
相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。
相手側の音声の流れ、ハンドフリーで通話できます。
通話開始後、相手側が【映像送信】ボタンにタッチすると、相手側の映像が表示されます。

5 【映像送信】ボタンにタッチする
自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。

6 通話が終わったら【切断】ボタンにタッチする

ハンドセット（オプション）を使って電話をかけます

オプションのハンドセットを接続すると、通常の電話機と同様のかけかたで電話をかけることができます。ハンドセットは、本体側面のハンドセット接続ポートに接続します。

1 ホーム画面より【電話】ボタンにタッチする

2 ハンドセットをあげる

3 相手の電話番号を入力する

4 【発信】ボタンにタッチする

情報ウィンドウに入力した電話番号が表示され、発信中画面が表示されます。

電話がつながると「テレビ電話通話中」と表示され、ボタンの表示が切り替わります。

相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。

通話開始後、相手側が【映像送信】ボタンにタッチすると、相手側のカメラ映像が表示されます。



電話がつながるとボタンの表示が切り替わります

5 【映像送信】ボタンにタッチする

自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。

6 通話が終わったらハンドセットを置き台に置くか、【切断】ボタンにタッチする

ワンポイント

- ・【ハンズフリー】ボタンにタッチし、ハンドセットを置き台に置くと、ハンズフリーで通話できます。

電話を受けます

本商品で電話を受けます。電話がつながると、カメラ映像を見ながらハンドフリーで通話できます。加入電話や携帯電話、PHSからの電話を受けても音声のみで通話できます。

お知らせ

- 相手側が音声のみに対応している端末の場合は、[映像送信] ボタンは表示されません。
- IP電話が利用できる状態になっていても次のような場合は、着信を受けることができません。また、このような状態の相手先に電話をかけた場合は、呼出中のまま、話し中、またはエラーとなります。
 - ・ [留守] ボタンにタッチ後の留守録応答メッセージ再生中
 - ・ 留守録中
 - ・ 留守録メッセージ保存中、削除中、バックアップ中
 - ・ ブラウザまたはメモ帳で印刷中
 - ・ 起動中（再起動、電源オフの処理中）
 - ・ アップデート中（メッセージ表示中）
 - ・ 設定ガイド起動中
 - ・ 設定内容反映中
 - ・ タッチパネル補正中
 - ・ メモ帳機能、ファイル機能でのファイル保存中、削除中
 - ・ データ管理機能のバックアップ処理中、読み込み処理中（メッセージ表示中）
 - ・ プロバイダを利用したメールの送受信中
 - ・ ディスプレイオフ移行時（メッセージ表示中）
 - ・ ハンドセット（オプション）を接続し、ハンドセットをあげているとき
 - ・ メディアプレーヤー起動から再生開始までの間
 - ・ メッセージが表示されて、ホーム画面が表示されるとき
 - ・ テレビ電話画面変更ツールの動作中
- 公衆電話からの着信は、使用している電話サービスにより「非通知」となる場合があります。電話画面のオプションで「非通知着信拒否」をONにすると、公衆電話からの着信を受けません。
- 通話中、呼出中、または着信中に、何らかの原因で一方の端末の接続が切断された場合、通話中、呼出中、または着信中のままになることがあります。テレビ電話通話中は映像が動かなくなることもあります。この場合は、[切断] ボタンにタッチしてください（着信中の場合はいったん電話を受けてから [切断] ボタンにタッチしてください）。[切断] ボタンにタッチしてもすぐに切れない場合は、しばらくお待ちください。
- ネットワークの状態によっては、映像や音声が乱れたり、止まったり、また、通話が切断される場合があります。

ワンポイント

- ・ 電話番号を通知しない電話を、受けないように設定することができます。詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

電話を受けます

1 電話がかかってきたら【応答】ボタンにタッチする



電話がつながると「テレビ電話通話中」と表示され、ボタンの表示が切り替わります。

相手側が音声のみに対応している端末の場合は、「通話中」と表示されます。

相手側の音声の流れ、ハンドフリーで通話できます。



電話がつながると、ボタンの表示が切り替わります

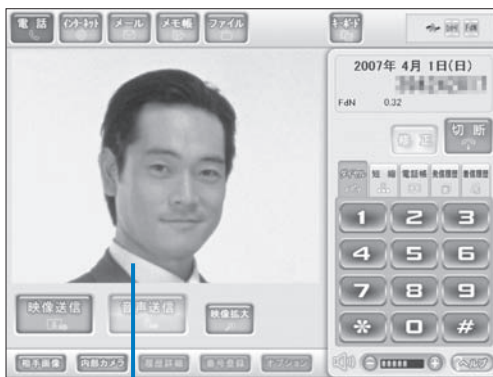
受話音量を小さくします

受話音量を大きくします

お知らせ

- 相手側が電話番号を通知してきた場合は、着信中画面に電話番号が表示されます。
- 電話番号を通知してきた相手が電話帳に登録されている場合は、着信中画面に電話番号と氏名が表示されます。
- 本商品で着信を受けることができない場合は、発信側の端末で呼出音が鳴ったあとに話し中になることがあります。

相手側が「映像送信」ボタンにタッチすると、相手側のカメラ映像が表示されます。



相手側のカメラ映像が表示されます

お知らせ

- 発信側、着信側の利用回線により、最適な映像帯域で画面表示します。
- 操作パネルが表示されたまま、相手側のカメラ映像がイメージウィンドウに表示されている場合、「映像拡大」ボタンにタッチすると、カメラ映像が拡大表示されます。
- 通話相手によって、映像帯域や表示サイズがかわります。

2 「映像送信」ボタンにタッチする

自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。

「映像拡大」ボタンにタッチするとカメラ映像が拡大表示されます。「子画面」ボタンにタッチすると、自分側のカメラ映像が、子画面に表示されます。



自分側のカメラ映像が子画面に表示されます

カメラ映像のどこかにタッチすると、全画面表示になります

相手側のカメラ映像が親画面に表示されます

3 通話が終わったら「切断」ボタンにタッチする

ハンドセット（オプション）を使って電話を受けます

オプションのハンドセットを接続すると、通常の電話機と同様の受けかたで電話を受けることができます。ハンドセットは、本体側面のハンドセット接続ポートに接続します。

1 電話がかかってきたらハンドセットをあげる

「テレビ電話通話中」と表示され、ボタンの表示が切り替わります。相手側の音声が聞こえます。相手側が音声のみに対応している端末の場合、「通話中」と表示されます。

相手側が「映像送信」ボタンにタッチすると、相手側のカメラ映像が表示されます。



電話がつながるとボタンの表示が切り替わります

2 「映像送信」ボタンにタッチする

自分側のカメラ映像が、相手側に送信されます。

「映像拡大」ボタンにタッチするとカメラ映像が拡大表示され、自分側のカメラ映像が、子画面に表示されます。

3 通話が終わったらハンドセットを置き台に置くか、「切断」ボタンにタッチする

ワンポイント

- ・ [ハンドフリー] ボタンにタッチし、ハンドセットを置き台に置くと、ハンドフリーで通話できます。

電話帳を利用します

本商品には、電話番号やメールアドレスを登録できる電話帳があります。電話帳に個人データを登録して、お客様の用途に合わせて使い分けることができます。

電話帳に登録します

電話帳には氏名、フリガナ、電話番号、グループ、相手端末の種類（アイコン）、メールアドレスを登録することができます。

- 1つの氏名で電話番号とメールアドレスを各3件まで登録できます。登録したい相手ごとに「自宅のメールアドレス」、「会社のメールアドレス」、「携帯電話のメールアドレス」などもまとめて登録しておくことができます。
- 電話帳には、最大250件まで登録できます。
- 電話帳を登録するときに、グループを設定しておくとう便利です。グループは、20グループまで設定できます。また、グループ名は変更することができます。
- 登録した電話帳は、フリガナ検索、グループ検索または詳細検索ですばやく呼び出すことができます。
- 電話帳に登録した相手から電話がかかってくると、電話番号と氏名が表示されます。
- 電話帳に登録された相手と電話をかけたり、受けたりすると履歴に電話番号、氏名、日時が表示されます。
- 発信履歴や着信履歴から電話帳に登録することもできます。
- 電話帳から短縮ダイヤルに登録することもできます。操作について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

お知らせ

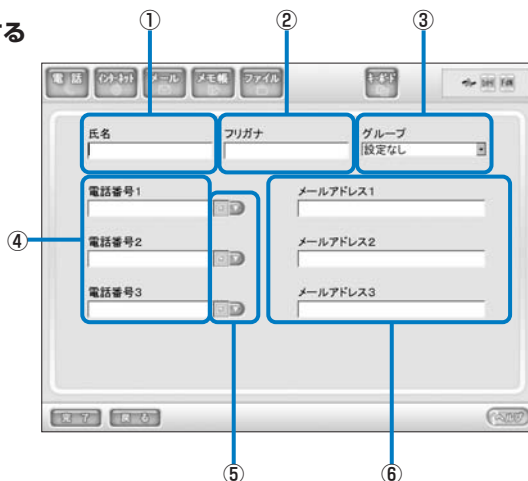
- 電話帳の電話番号欄には、半角数字、*以外は入力できません。また、電話番号の先頭に*を入力することはできません。

■ 電話帳に新規登録します

1 ホーム画面より【電話帳】ボタンにタッチする

2 【新規登録】ボタンにタッチする

右の画面が表示されます。



項目	説明
①氏名	相手の氏名を、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力します。32文字まで入力できます。
②フリガナ	氏名のフリガナを、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力します。氏名を漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字で入力すると自動的に入力されます。32文字まで入力できます。
③グループ	「設定なし」および「グループ1」～「グループ20」から選びます。
④電話番号1～3	相手の電話番号を入力します。半角の数字、*を49文字まで入力できます。「-」は入力しません。3件まで登録できます。電話番号の先頭に*を入力することはできません。
⑤電話番号の種類	電話番号の種類（アイコン）を選択できます。アイコンは、5種類から選択できます。相手の電話番号がFLET'S.Netナンバー、ダイヤルナンバーの場合、「一般電話v6」または「会社電話v6」を選択してください。
⑥メールアドレス1～3	メールアドレスを入力します。半角英数字、記号で129文字まで入力できます。3件まで登録できます。

お知らせ

- 電話番号の種類を間違えて設定すると、正しく電話をかけることができません。

3 【キーボード】ボタンにタッチしてキーボードを表示し、必要な項目を入力する

4 登録が終わったら【完了】ボタンにタッチする

電話帳画面に戻ります。

電話帳を検索します

登録した電話帳は、全て検索、フリガナ検索、グループ検索、詳細検索で呼び出すことができます。呼び出した電話帳から電話をかけたり、メールを送信することができます。

■ 全て検索します

- 1 ホーム画面より【電話帳】ボタンにタッチする
- 2 【全て検索】ボタンにタッチする
- 3 電話帳が表示されたら目的の電話番号を選択する
電話をかけるには、[発信] ボタンにタッチします。
メールを送信するには、[メール] ボタンにタッチします。メール機能について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

■ フリガナ検索をします

- 1 ホーム画面より【電話帳】ボタンにタッチする
- 2 【フリガナ検索】ボタンにタッチする
- 3 フリガナの頭文字のボタンにタッチする
フリガナの頭文字が50音の場合は、[あ行] ～ [わ行] ボタンにタッチします。
フリガナの頭文字が英数字の場合は、[英数] ボタンにタッチします。
フリガナの頭文字が記号の場合は、[その他] ボタンにタッチします。
- 4 電話帳が表示されたら目的の電話番号を選択する
電話をかけるには、[発信] ボタンにタッチします。
メールを送信するには、[メール] ボタンにタッチします。メール機能について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

■ グループ検索をします

- 1 ホーム画面より【電話帳】ボタンにタッチする
- 2 【グループ検索】ボタンにタッチする
- 3 検索したいグループ名のボタンにタッチする
- 4 電話帳が表示されたら目的の電話番号を選択する
電話をかけるには、[発信] ボタンにタッチします。
メールを送信するには、[メール] ボタンにタッチします。メール機能について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

■ 詳細検索をします

- 1 ホーム画面より【電話帳】ボタンにタッチする
- 2 【詳細検索】ボタンにタッチする
- 3 検索したい文字を入力して、【検索】ボタンにタッチする
- 4 電話帳が表示されたら目的の電話番号を選択する
電話をかけるには、【発信】ボタンにタッチします。
メールを送信するには、【メール】ボタンにタッチします。メール機能について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

電話帳を編集します

電話帳の登録内容の変更や削除をすることができます。

- 1 ホーム画面より【電話帳】ボタンにタッチする
- 2 編集したい電話帳を選んで【編集】ボタンにタッチする
電話帳を削除する場合は、【削除】 → 【はい】 の順にボタンにタッチします。
- 3 登録画面で登録内容の変更を行う

お知らせ

- 1つの氏名で電話番号とメールアドレスを各3件まで登録できます。【削除】ボタンを使用すると、1件の電話番号やメールアドレスを指定して削除した場合でも、氏名1件分の電話番号やメールアドレス（最大3件分）の登録データがすべて削除されます。ご注意ください。



ワンポイント

- ・ 登録画面については、「電話帳に新規登録します」(P.72) をご覧ください。

その他の機能について

本商品では、テレビ電話の他に次のようなことができます。各機能の詳細は、画面上のヘルプを参照してください。

- プロバイダを利用してインターネット上のホームページを見ることができます。
- ひかり電話をご利用の場合、保留、キャッチホン、内線、内線転送機能を利用することができます。
- 留守番電話を利用できます。
- プロバイダを利用したメールの送受信ができます。
- メモ帳で簡単なイラストや文章の入ったメモ（画像データ）を作成、共有することができます。
- 設定機能で各種設定を変更できます。
- メディアプレーヤで動画や音声ファイルを再生できます（Windows Media 9形式で最大2Mbpsの動画再生をサポート）。
- 各機能画面は、ホームメニューやメインメニューより表示します。通話中でも、各画面を表示することができます。ホームメニューやメインメニューは、メニューボタンを押すと表示されます。

ホームページを見ます

次の操作により、ホームページを見ることができます。

- ホーム画面より [拡大表示] ボタンにタッチする。
ホーム画面のイメージウィンドウに表示されているコンテンツを表示します。
- ホーム画面より [インターネット] ボタンにタッチする。
スタートページとして設定したコンテンツを表示します。
- 各機能画面を表示中に、メインメニュー上の [インターネット] ボタンにタッチする。
直前に表示しているコンテンツ画面を表示します。

よく見るホームページをブックマークに登録することもできます。

通話中は動きのあるコンテンツを表示できません。文字中心の表示になります。

- ブラウザ右上に「簡易表示」と表示されます。
- 通話を切断したあと、画面内のコンテンツのリンクをタッチしても「簡易表示」のままです。
[再読込] ボタンをタッチすると「通常表示」に戻ります。



(次ページに続く)

お知らせ

- ホームページスクロール中に、着信や共有依頼などのメッセージを表示した場合、画面が正しく表示されないことがあります。その場合は、画面中央部分にタッチしてください。
- 通話中にテレビ電話以外の機能を利用する場合は、通話相手の映像を子画面で表示します。なお、双方で映像送信している場合のみ表示されます。
- 通話中は一度表示した子画面を消すことはできません。ただし、共有操作を繰り返すと、子画面が他の画面の背後に隠れてしまうことがあります。この場合、電話画面に戻ってください。
- 子画面内をタッチすることで表示位置が左右に移動します。
- 本商品のブラウザは機能が限定されています。そのためパソコンのブラウザと同じように表示されないことがあります。
- 本商品は、Adobe® Flash® Player7相当が搭載されています。
- 大容量のファイルや大きなサイズの画像およびFlashコンテンツは、正常に表示されない場合があります。
- ホームページの内容によっては、正しく表示されないだけでなく、本商品に大きな負荷がかかり動作が著しく遅くなったり、停止する可能性があります。例えば、次のような場合があります。
 - ・ 検索サイトなど、検索結果が多数表示されるようなサイトを閲覧した場合
 - ・ 1ページあたりの容量が非常に大きいサイトを閲覧した場合
 - ・ Flashを使用したホームページを複数開いた場合
 - ・ 容量の大きなFlashを使用したホームページを閲覧した場合
 - ・ 上記のようなホームページを閲覧したあと、ホームページに埋め込まれているコンテンツを再生しようとした場合
 - ・ 読み込み処理が終わらない場合やページ移動が出来なくなった場合本商品に大きな負荷がかかるとホーム画面を表示しますが、数分経っても画面が変わらない場合は、電源ボタンを押して[再起動]ボタンにタッチし、再起動を行ってください。電源ボタンが作動しなかったり、再起動ができないときには、電源ボタンを4秒以上押し続けて電源を切り、再度電源ボタンを押して電源を入れ直してください。また、本状態の時、本商品を自動的に再起動する場合があります。
- ホームページのURLの長さが256文字以上の場合は、そのホームページを開くことができません。ホームページに埋め込まれた画像ファイルなどのリンク先アドレスも同様です。
- 本商品のブラウザでは動画や音楽などのコンテンツを、2つ同時に開くことはできません。
- リンク先をタッチして新規ブラウザタブが表示される場合は、ブラウザの「履歴」にURLが記憶されません。
- ブラウザの各ボタンやリンクなどを連続してタッチしないでください。
- ホームページの内容や表示するファイルによっては、読み込みに時間がかかり、画面の表示内容がすぐに更新されない場合があります。その場合は、読み込みが完了し、画面の表示内容が更新されるまでしばらくお待ちください。または【停止】ボタンを押し、再度読み込みを行ってください。
- 通話中に【インターネット】ボタンや【メール】ボタンにタッチするとそれぞれの機能をご利用いただけますが、テレビ電話はつながったままになっています。ご利用になるIPテレビ電話サービスによっては、つながっている時間に応じて料金が発生する場合があります。ご注意ください。

ワンポイント

- ・ 本商品どうし、またはフレッツフォン VP1000、フレッツフォン VP1500との通話の場合には、通話相手に現在表示しているWebページを通知できます（URLの共有）。なお、Webページによっては、通話相手側と同じ内容で表示されないことがあります。
- ・ ブラウザで表示している内容を印刷することができます。印刷機能について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

メールを送受信します

ホーム画面より [メール] ボタンにタッチするとメール画面が表示されます。本商品でメールの作成、送受信ができます。受信したメールに返信することもできます。メールは、キーボード入力や手書き入力ができ、画像ファイルなどを添付して送信することもできます。



お知らせ

- 新着メールのステータス表示は、本商品の再起動時やメールの読み込みの完了時に消えます。
- メール本文または件名に、ローマ数字などのメールで使えない文字を入力しないでください。送られたメールの本文や件名の文字が、正しく表示されなくなります。

ワンポイント

- ・ プロバイダを利用するメールの場合は、操作状況を記憶します。操作途中でほかの機能に移動しても、[メール] ボタンを押して操作途中の画面に戻ることができます。
- ・ 本体前面のステータスランプは、新着メールがある場合は、橙色にゆっくりと点滅します。

ひかり電話の便利な機能を利用します

ひかり電話をご利用の場合、次のような機能を利用することができます。

- 通話中の電話を保留することができます。
- 通話中のキャッチホン着信ができます。
- 内線通話を行うことができます。
- 通話を内線に転送することができます。
- 映像通話時には、キャッチホン、保留、内線転送はできません。

お知らせ

- 内線通話は、数字1桁または2桁で発信します。
- キャッチホンを利用するには、別途付加サービスの契約が必要です。

留守番電話を利用します

留守中に受けた電話の用件を記録します。

- 留守番電話を設定できます。
- 留守番電話を解除できます。
- 留守録メッセージを再生できます。
- 留守録メッセージを削除できます。



お知らせ

- フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」ご利用のお客さまは、留守番電話がご利用できません。
- 留守番電話設定は、待ち受け状態でのみ設定ができます。留守番電話解除は、待ち受けおよび電話が使用不可状態でのみ解除ができます。
- 発信中、着信中、通話中、切断中は、留守番電話の設定はできません。
- 留守番電話設定時の応答メッセージ再生中は、着信できません。
- 応答メッセージの途中で再生を停止する場合は、[切断] ボタンにタッチしてください。応答メッセージの再生が停止します。
- 留守録メッセージの録音中でも、[応答] ボタンまたはハンドセットで通話を開始できます。その場合は、それまでの録音内容は保存されません。
- 留守録は、設定により内部メモリまたは外部メモリに保存できます。
- 情報ウィンドウ内の留守録件数情報は、保存先メモリで指定されたメモリ内の件数です。保存先メモリが存在しない、または空き容量がないなどで留守録が保存できない場合は、留守録件数が赤色で表示されます。
- 留守録の最大件数は99件です。
- 外部メモリを抜き差しした場合、再度留守番電話の設定を行ってください。
- 本商品の負荷により、ステータスランプの点滅間隔が長くなる場合があります。
- 本商品の負荷により、留守番電話の設定で設定された呼出鳴動秒数／最大保存秒数より長く動作する場合があります。
- 応答メッセージは変更することができません。
- 留守録の設定については、「オプション画面で設定できること」(P.55) をご覧ください。
- 留守録メッセージ再生画面で選択した機能によって、再生する順番が異なります。
[再生] : 選択した留守録メッセージを再生
[全て再生] : 日付の古い順から再生
- 留守録メッセージ再生画面で行った音量変更は、留守録メッセージ再生画面のみ有効です。その他の再生音量などには影響しません。
- 再生開始直後、映像が表示されない(黒画面のまま)場合がありますが、しばらくすると映像が表示されます。

ワンポイント

- ・ 本体前面のステータスランプは、留守番電話を設定している場合は橙色に点灯、留守録メッセージがある場合は橙色にゆっくりと点滅します。
- ・ 未再生の留守録メッセージがある場合は、[留守] ボタンが点滅します。

メモ帳でメモを作成します

ホーム画面より[電話] ボタンにタッチすると、電話画面が表示されます。メインメニューの[メモ帳] ボタンにタッチするとメモ帳画面が表示されます。メモ帳を使って簡単なイラストや文章の入ったメモ（画像データ）を作成することができます。作成したデータは、本商品の内部メモリや市販のUSBフラッシュメモリに保存できます（BMPファイル形式）。



お知らせ

- 相手と共有する画像のサイズによっては、ホワイトボード上に表示される画像サイズが元のサイズより大きく表示されることがあります。

ワンポイント

- ・ 本商品どうし、またはフレッツフォン VP1000、フレッツフォン VP1500との通話の場合には、通話中の相手とメモ帳を共有することができます（ホワイトボード機能）。通話中にメモ帳で作成した画像を送受信できます。共有後は、通話中の相手と同じ画像を見ることができます。また、共有開始後は、絵を追加するごとに、相手に同じ絵を表示することができます。
- ・ メモ帳で表示している内容を印刷することができます。印刷機能や操作について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

ファイル機能で画像や動画を見ます

メインメニューの[ファイル]ボタンにタッチすると、本商品の内部メモリや外部メモリ(USBフラッシュメモリ)に保存されているファイルの内容を見ることができます。



内部メモリか外部メモリかを選択すると、保存されているファイルの一覧が表示されます。表示したいファイルを選択して【開く】ボタンにタッチすると、そのファイルの内容が表示されます。表示可能なファイルは次のファイルです。

ファイル種別	拡張子*1	再生アプリケーション
画像ファイル	.jpg、.jpeg、.bmp、.JPG、.JPEG、.BMP	メモ帳またはブラウザ
	.gif、.GIF	ブラウザ
音声ファイル	.wma、.wav、.mp3、.WMA、.WAV、.MP3	メディアプレーヤ
動画ファイル	wmv*2、.asx、.avi、.asf、.WMV*2、.ASX、.AVI、.ASF	メディアプレーヤ
テキストファイル	.txt、.TXT	ブラウザ
インターネットファイル	.htm、.html、.HTM、.HTML	ブラウザ

*1：拡張子とは、ファイルの種類を示すものです。パソコンで使用されているファイルの拡張子と同様です。

*2：wmvファイル、WMVファイルは、Windows Media 9をサポートしています。

お知らせ

- USBポートは2つありますが、USBフラッシュメモリを2つセットしても、1つしか認識されません。
- サポートしている形式(拡張子)のファイルでも、内容によっては正しく表示できない場合があります。また、ファイルや画像サイズによって開くことができない場合があります。詳しくは、ファイルのヘルプをご覧ください。
- 容量の大きな動画、音声、静止画などのファイルを再生しようとすると、メモリ不足により正しく再生または表示できないことがあります。
- 外部メモリにファイルを保存したり削除する場合は、USBフラッシュメモリのライトプロテクトを外して書き込み許可にしてください。

ワンポイント

- ・ 本商品どうし、またはフレッツフォン VP1000、フレッツフォン VP1500との通話の場合には、通話中の相手とファイルの送受信ができます（ファイルの共有）。

お知らせ

メディアプレーヤ機能ご利用時の注意

- 本商品のメディアプレーヤは、機能が限定されています。そのため、パソコンと同じようには再生されないことがあります。
- ホームページ上のメディアファイルの再生のしかたには、メディアプレーヤが起動して再生する場合とホームページに埋め込まれて再生する場合があります。
- メディアプレーヤが起動する場合：
 - ・ コンテンツを再生中に電話がかかってきた場合、メディアプレーヤを一時停止し、着信音が鳴ります。
 - ・ 全画面サイズで再生しているときに画面をタッチすると、通常画面サイズになります。
 - ・ サポートしていないコンテンツを再生しようとしたときに、メディアプレーヤ上に黒い矩形が一時表示される場合があります。
 - ・ コンテンツ再生中にヘルプを表示した場合は、コンテンツの再生は一時停止状態になります。ヘルプを閉じたあと、[再生] ボタンにタッチしてコンテンツの再生を再開してください。
 - ・ コンテンツ再生中にコンテンツの終了間際（約3秒以内）に [一時停止] ボタン、[ヘルプ] ボタン [JUMP] ボタンにタッチした場合、また着信した場合、コンテンツ再生が停止します。繰り返し再生が選ばれている場合、一時停止が解除された後は、終了間際のコンテンツが再生されず先頭から再生が始まります（繰り返し再生されます）。
 - ・ コンテンツ再生中にコンテンツの開始直後（最初から約3秒以内）で [REW] ボタンや終了間際（約3秒以内）で [FF] ボタンにタッチした場合、コンテンツ再生が停止します。
- ホームページに埋め込まれている場合：
 - ・ コンテンツ再生中に一時停止を行った場合、スクロール時に映像が正常に表示されない場合があります。その場合は、一時停止を解除してください。
 - ・ コンテンツを再生中に電話がかかってきた場合、再生は終了し、着信音が鳴ります。
 - ・ 表示領域サイズがコンテンツサイズより小さい場合は、映像は縮小されて表示されます。スクロールにより、表示領域サイズがコンテンツサイズより小さくなった場合も、映像は縮小されて表示されます。
 - ・ コンテンツを再生しているときに音量を調節する場合は、ブラウザの [音量調節] ボタンで調節してください。
 - ・ 全画面サイズで再生しているときに画面をタッチすると、一時停止します。
 - ・ コンテンツ上のボタンにより全画面表示にした場合、画面全体に映像が再生されるため早送り、巻き戻しなどの操作は行えません。全画面表示を解除するときは、ホームボタンを押してください。
- メディアプレーヤ/埋め込み共通：
 - ・ 一時停止ができないコンテンツがあります。コンテンツの再生を止める場合、[停止] ボタンをタッチしてください。
 - ・ 早送り、巻き戻しなどを行ったあと、コンテンツがすぐに再生されない場合があります。その場合は、しばらくお待ちください。
 - ・ サポートしている動画のビットレートは2Mbps以下です。2Mbpsをこえるコンテンツの再生を続けていると、本商品に大きな負荷がかかり、動作が著しく遅くなったり、停止したりする可能性があります。その場合は、本商品を再起動するか電源を入れ直してください。

お知らせ

・ファイル形式により正しく再生できない場合があります。サポートしているファイル形式は、次のとおりです。

- 音声ファイル：WAV、WMA、MP3

- 動画ファイル：WMV（Windows Media 9）AVI、ASX、ASF

サポートしていない形式のファイルは再生できません。また、サポートされているファイル形式であっても配信方式によっては再生できない場合があります。

・ネットワークの混雑状況などの影響により、十分な回線速度を確保できない場合は、コンテンツを正しく再生できないことがあります。その場合は、しばらく待つか別のビットレートのもので再度お試しください。

・コンテンツ再生中に電話を受けた場合、通話が開始できるまでに10秒以上かかることがあります。

・コンテンツの読み込み中や再生中に次のような操作を行うと本商品に負荷がかかり、コンテンツの再生がコマ送り、静止画、停止する場合などがあります。また、正常に表示ができない場合もあります。

- 電話の着信を受けたとき

- スクロールによるコンテンツの再描画時

- 連続してボタンを押すとき

- ヘルプの参照時

- 通常画面⇄全画面の表示切替時

その場合は、コンテンツの再生を再度行ってください。

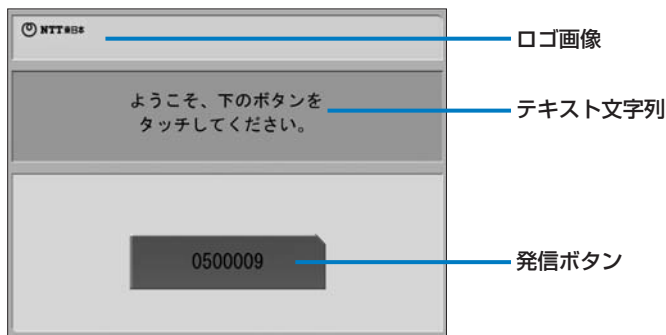
・DRM（著作権保護、暗号化技術）コンテンツはサポートしていません。このようなコンテンツを再生しようとすると、認証ページが表示される場合があります。そのときは、キーボードによる文字の入力はできません。

・サポートしていない形式のファイルを再生したとき、コンテンツの再生が行われないことがあります。サポートしている形式のファイルであっても、本商品の状態によっては「不明なエラーが発生しました」などのエラーメッセージが表示され、再生できない場合があります。その場合は、メディアプレーヤをいったん終了させ、使用していないブラウザタブを閉じて、再度コンテンツの再生を行ってください。また、特殊なホームページの記述によるコンテンツ再生や低速でのコンテンツ再生などで、本商品に大きな負荷がかかり動作が著しく遅くなったり、停止したりする可能性があります。その場合は、本商品を再起動するか電源を入れ直してください。

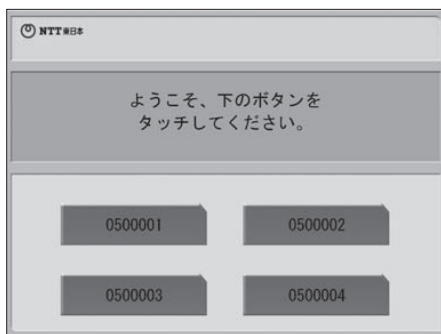
テンプレートで用意されたテレビ電話画面を選択することができます

本機能は、主に法人のお客様向けに有用な画面や動作をテンプレート化した機能です。簡単な操作で、テンプレートで用意されたテレビ電話画面を選択することができます。

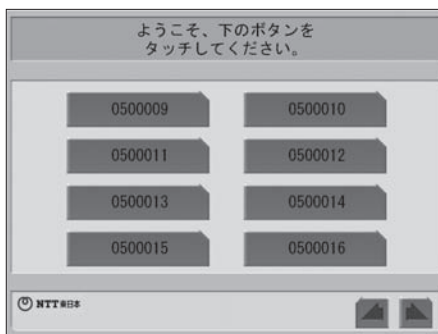
テンプレート画面パターン①



テンプレート画面パターン②



テンプレート画面パターン③



本機能でできる主なこと

- ・ テンプレート画面パターンの色(背景色)は3種類(グレー、ブルー、ピンク)から選べます。
- ・ テキスト文字列を任意に変更できます。
- ・ 発信ボタンの表示文字と、発信ボタンにタッチした時の発信電話番号を任意に変更できます。
- ・ 発信先の登録件数からテンプレート画面パターン①～③を自動的に決定します。
- ・ ログ画像を任意に選択できます。
- ・ メニュー、ホーム、機能のハードウェアボタンの無効化が選択できます。

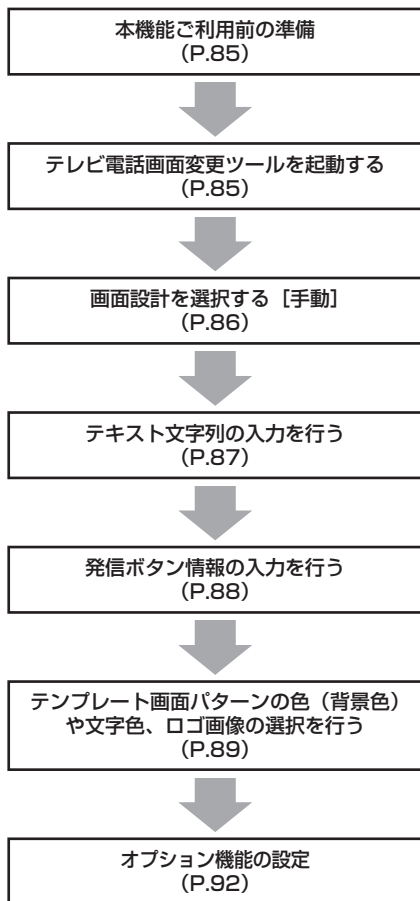
お知らせ

- テンプレート画面では、ひかり電話およびフレッツ 光ネクストの「ひかり電話」の転送電話機能、キャッチホン、保留機能はご利用できません。
- テンプレート画面では、DTMF送信機能はご利用できません。
- テンプレート画面では、留守番電話機能はご利用できません。
- 本機能ご利用時に電話画面の「オプション」設定、[設定] ボタンをタッチした画面の各設定はご利用できません。
- 本機能ご利用時にメディアプレーヤ機能はご利用できません。
- 本機能ご利用時に共有機能はご利用できません。
- 本機能ご利用時はアップデートできません。
本機能を停止してからアップデートを行なうか、本商品の起動時にアップデートを行なってください。
- 本機能ご利用時は、着信拒否番号、自動応答番号の新規登録はできません。
- 本機能ご利用時は、待ち受け設定が変更されます。

●テレビ電話画面変更機能の設定手順

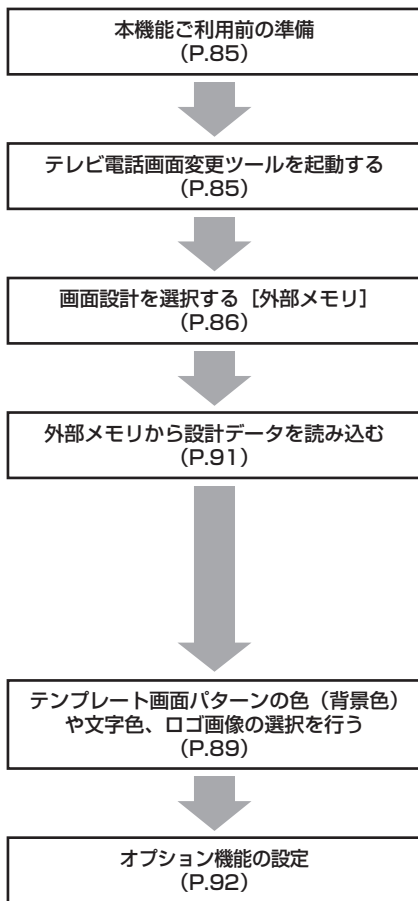
本機能を設定するには、次の手順で行います。

- ・テキスト文字列などの登録情報を本商品のソフトウェアキーボードで入力する



必要に応じて行ってください。

- ・事前に準備したテキスト文字列などの登録情報を外部メモリから入力する



必要に応じて行ってください。



ワンポイント

- ・ テレビ電話画面変更ツールの動作中は着信できません。
- ・ テレビ電話画面変更ツールの動作中は省電力モードになりません。
- ・ テレビ電話画面変更ツールの動作中はインターネットやメールなど、他の機能はご利用できません。
- ・ 本機能ご利用時は、設定と電話画面の「オプション」設定が変更できませんので、音量、映像帯域、通話開始時の映像ON / OFFなどの設定やFlet's Phone HOMEの内容確認については、テレビ電話画面変更ツールを起動する前に行ってください。
- ・ テレビ電話画面変更ツールの起動中は、電源を切ることができません。電源を切る場合は、テレビ電話画面変更ツールを終了してください。

●本機能ご利用前の準備

本商品の初期設定後、「待ち受け移行時間」の間隔を「1分」に設定し、電話画面にて留守録電話を解除してください。本機能ご利用時は、設定とテレビ電話画面の「オプション」設定が変更できません。

●テレビ電話画面変更ツールを起動する

メニューボタンと機能ボタンを同時に10秒以上押したままにしてください。テレビ電話画面変更ツールのメニュー画面が表示されます。

・メニュー画面



項目	説明
①画面設計	テンプレート化されたテレビ電話画面に登録する情報を設定します。(P.86)
②ツールオプション	各種ハードウェアボタンの無効化など、オプション機能の設定を行います。(P.92)
③ツール終了	テレビ電話画面変更ツールを終了します。
④ツール内容初期化	テレビ電話画面変更ツールで設定した内容を消去します。ツール設定状況が「OFF」の場合は、押せません。
⑤ツール設定状況	テレビ電話画面変更ツールの設定状況を表示します。「画面設計」が設定完了された時は「ON」が表示されます。「ツール内容初期化」ボタンにタッチして設定した内容を消去すると「OFF」が表示されます。



ワンポイント

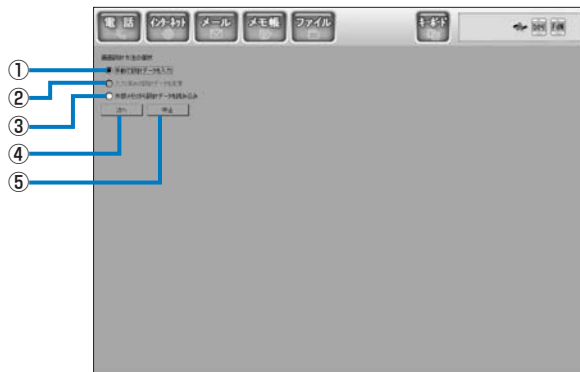
- ・「ツール内容初期化」ボタンで設計データを消去したあとに「画面設計」ボタンにタッチした場合、前回「画面設計」で設定したデータや「ツールオプション」で設定したオプション情報は反映されません。
- ・「ツールオプション」はツール設定状況が「OFF」の時は設定できません。

●画面の設計

(1) 画面設計を選択する

メニュー画面の「画面設計」ボタンにタッチすると、画面設計方法選択画面が表示されます。本画面ではテンプレート化されたテレビ電話画面に登録する情報を設定します。本商品のソフトウェアキーボードから手で情報の登録を行うか、外部メモリに格納した設計データで登録するかを選択します。「手で設計データを入力」もしくは、「外部メモリから設計データを読み込み」を選択して、「次へ」ボタンにタッチしてください。

画面設計方法選択画面



項目	説明
①手動で設計データを入力	発信先電話番号や発信先名称などを、本商品のソフトウェアキーボードで入力するときに選択します。(P.87)
②外部メモリから設計データを読み込み	外部メモリから事前に作成した設計データを一括して読み込むときに選択します。(P.91)
③入力済みの設計データを変更	現在使用している設計データを元に編集します。ツール設定状況が「OFF」の場合はご利用できません。
④次へ	「手で設計データを入力」を選択した場合は、テキストデータ入力画面に進みます。(P.87) 「外部メモリから設計データを読み込み」を選択した場合は、外部メモリ読み込み画面に遷移します。(P.91)
⑤中止	画面設計を中止して、テレビ電話画面変更ツールのメニュー画面に戻ります。



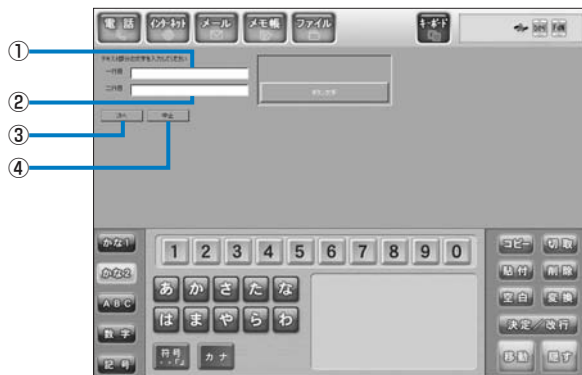
ワンポイント

- 外部メモリ使用時の設計データ作成方法については、補足 (P.97~P.99) をご覧ください。

(2) テキスト文字列を入力する

画面設計方法選択画面で「手動で設計データを入力」、または「入力済みの設計データを変更」を選択して、「次へ」ボタンにタッチすると、テキストデータ入力画面が表示されます。本画面ではテキスト文字列に表示するテキストデータを入力します。画面中央上部に入力中のテキストデータの画面イメージが表示されます。テキストデータを入力し、「次へ」ボタンにタッチしてください。

テキストデータ入力画面



項目	説明
①一行目	テキストデータの一行目を入力します。22文字まで入力可能です。
②二行目	テキストデータの二行目を入力します。22文字まで入力可能です。
③次へ	発信先電話番号入力画面に進みます。(P.88)
④中止	画面設計を中止して、テレビ電話画面変更ツールのメニュー画面に戻ります。



ワンポイント

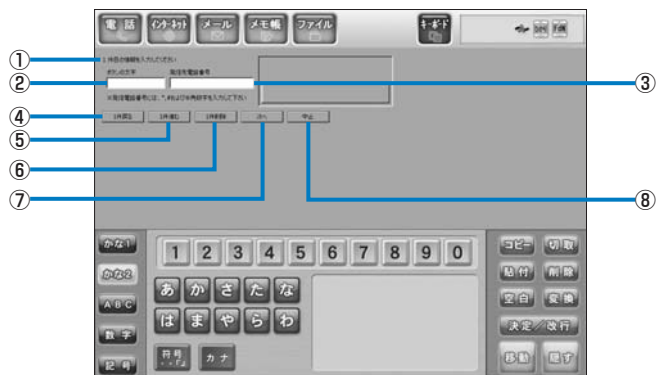
- ・ テキストデータ文字およびボタン文字に下記半角文字を使用しないでください。下記半角文字を使用すると、以降の文字が正常に表示されない場合があります。

「&」、「.」、「<」、「>」、「=」、「%」、「+」

(3) 発信ボタン情報の入力を行う

テキストデータ入力画面でテキストデータを入力し、[次へ] ボタンにタッチすると、発信先電話番号入力画面が表示されます。本画面では、[発信] ボタンの表示文字と、その [発信] ボタンをタッチした際の発信先電話番号を入力します。画面中央上部に入力中の発信先電話番号の画面イメージが表示されます。作成したい [発信] ボタン件数分の情報を入力し、[次へ] ボタンにタッチしてください。なお、入力中の件数は画面左上に表示されています。

発信先電話番号入力画面

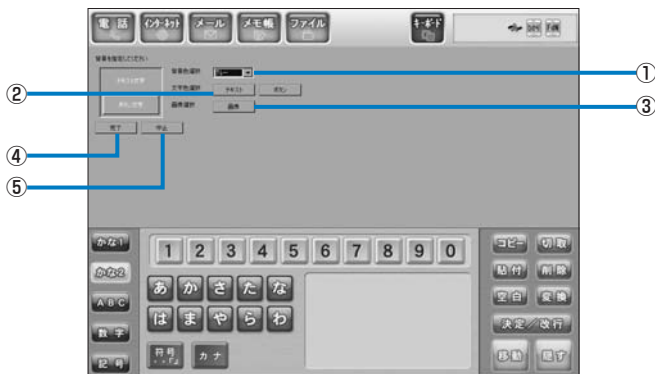


項目	説明
①件数情報	現在設定中の件数を表示します。
②ボタンの文字	[発信] ボタンに表示される文字を入力します。8文字まで入力可能です。
③発信先電話番号	[発信] ボタンにタッチした際に発信する電話番号を入力します。半角で32文字まで入力可能です。
④1件戻る	現在入力中の登録情報から1件前の登録情報に戻ります。
⑤1件進む	現在入力中の登録情報から1件先の登録情報に進みます。100件まで入力可能です。
⑥1件削除	現在表示している「ボタン文字」／「発信先電話番号」情報を削除します。
⑦次へ	背景情報等選択画面に進みます。(P.89)
⑧中止	画面設計を中止して、テレビ電話画面変更ツールのメニュー画面に戻ります。

(4) テンプレート画面パターンの色（背景色）や文字色、ロゴ画像の選択を行う

発信先電話番号入力画面で発信ボタン情報を入力し、[次へ] ボタンをタッチすると、背景情報等選択画面が表示されます。本画面では、テンプレート画面パターンの色（背景色）や文字色などを選択し、画面イメージを決定します。外部メモリから設計データを取り込んだ場合は、画像選択のみを行ってください。画面左上に現在の選択内容による画面イメージが表示されます。背景色などを選択し、[完了] ボタンにタッチしてください。

背景情報等選択画面



項目	説明
①背景色選択	テンプレート画面パターンの色を選択します。グレー、ブルー、ピンクの中から選択します。
②文字色選択	テキスト文字列と発信ボタンの文字色を選択します。カラーパレットが表示され、任意の色を選択します。
③画像	任意のロゴ画像を外部メモリから取得します。(P.90)
④完了	画面設計を完了します。ツール設定状況が「OFF」の場合は、[完了] ボタンにタッチした後に本商品の再起動を促すダイアログが表示され、再起動後に設定を反映したテンプレート画面が表示されます。
⑤中止	画面設計を中止して、テレビ電話画面変更ツールのメニュー画面に戻ります。



ワンポイント

- ・ [画像] ボタンから登録可能な画像の大きさは最大780×80ドットです。また、表示可能な画像フォーマットはJPEGです。

◆画像選択方法

- ① 背景情報等選択画面の「画像」ボタンにタッチすると、次の画面が表示されます。使用したい画像が格納されている外部メモリを本商品に接続し、「外部メモリ参照」ボタンにタッチしてください。
内部メモリに画像が格納されている場合は、そのまま②にお進みください。



- ② 使用したいロゴ画像を選択し、「開く」ボタンにタッチしてください。画像の選択が完了し、背景情報等選択画面に戻ります。



(5) 外部メモリから設計データを読み込む

画面設計方法選択画面で「外部メモリから設計データを読み込む」を選択すると、外部メモリ読み込み画面が表示されます。本画面では、設計データを外部メモリから読み込むことができます。設計データが格納された外部メモリを本商品に接続し、[読み込み] ボタンにタッチしてください。

外部メモリ読み込み画面



項目	説明
①読み込み	設計データを外部メモリから読み込むことができます。読み込みが完了すると、背景情報等選択画面（P.89）の画面に進みます。
②中止	画面設計を中止して、テレビ電話画面変更ツールのメニュー画面に戻ります。

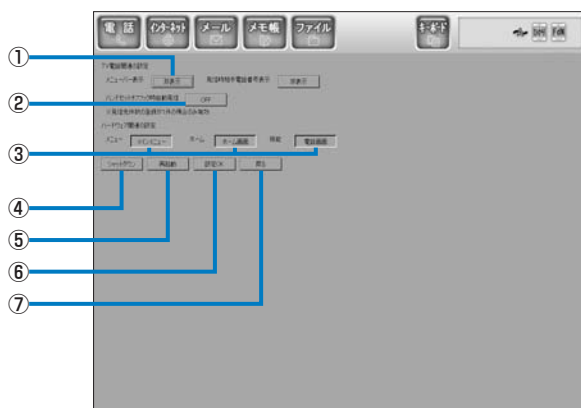


ワンポイント

- ・ 設計データ作成方法については、補足（P.97～P.99）をご覧ください。

●オプション機能の設定

オプション機能の設定では、メニュー、ホーム、機能のハードウェアボタンを無効化（押下しても動作しないようにする）したり、テレビ電話中の画面上部に表示するボタン（[電話]、[インターネット]、[メール]、[メモ帳]、[ファイル]、[キーボード]）を非表示にすることができます。オプション情報の変更が完了した後、[設定OK] ボタンにタッチしてください。



項目	説明
①メニューバー表示	電話中の画面上部に表示するボタン（[電話]、[インターネット]、[メール]、[メモ帳]、[ファイル]、[キーボード]）を非表示に設定することができます。
②ハンドセットオフフック時自動発信ボタン	ハンドセットをオフフックした際に画面上のボタンにタッチしなくても登録した宛先に自動発信することができます。（テンプレート画面パターン①の時のみ有効です）
③ハードウェア関連の設定ボタン	メニュー、ホーム、機能のハードウェアボタンを押下しても動作しないようにすることができます。 [ホーム] ボタンは、ホーム画面を表示します。 [機能] ボタンは、電話画面を表示します。
④シャットダウン	設定を保存しないで本商品の電源を切ります。
⑤再起動	設定を保存しないで本商品を再起動します。
⑥設定OK	設定を保存してテレビ電話画面変更ツールのメニュー画面に戻ります。
⑦戻る	設定を中止してテレビ電話画面変更ツールのメニュー画面に戻ります。

ワンポイント

- ・メニューバー表示とハードウェア関連の設定ボタン [メニュー] の組み合わせにより以下の動作になります。

		ハードウェア関連の設定 [メニュー]	
		メインメニュー	無効
メニューバー表示	表示	メニューボタンでメインメニューの表示と非表示を切り替えます。	メニューボタンを無効に設定したときの状態のままとなります。
	非表示	通話していないときは、メニューボタンでメインメニューの表示と非表示を切り替えます。通話中は、メニューバーは非表示になります。	メニューボタンを無効に設定したときの状態のままとなります。通話中は、メニューバーは非表示になります。

●ご利用方法

画面設計が完了すると、お客様の登録情報に合わせたテンプレート画面が表示されます。



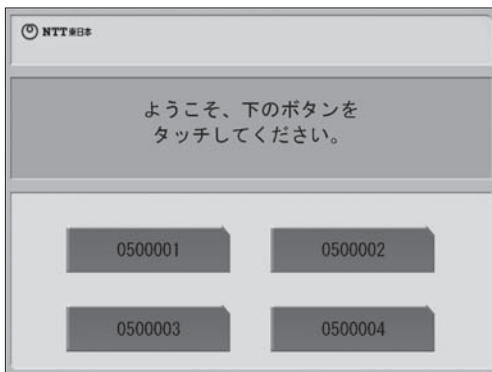
◆**テキスト文字列：**
テキストデータ入力画面 (P.87) で入力したテキストデータが表示されます。

◆**発信ボタンエリア：**
発信先電話番号入力画面 (P.88) で入力したボタンが表示されます。本画面での通話時には本エリアの右下に切斷ボタンが表示されます。

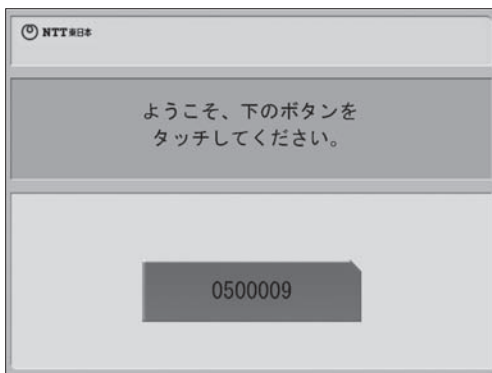
◆**画面切替ボタン：**
登録件数が9件以上の場合、自動的に表示されます。

◆**背景情報等選択画面 (P.89) で選択したロゴ画像が表示されます。**
※選択していない場合は表示されません。

発信ボタンエリアに8件並ぶ場合の画面例



発信ボタンエリアに4件並ぶ場合の画面例



発信ボタンエリアに1件並ぶ場合の画面例

ワンポイント

- ・ ロゴ画像の大きさが780×80ドット以下の場合、780×80ドットのエリアの中で左上に詰めて表示します。780×80ドットよりも大きい場合は、エリアをはみ出して表示しますので、ロゴ画像を作成するときは、注意してください。
- ・ ロゴ画像によっては正常に表示できない場合がありますので、その場合はロゴ画像を変更してください。
- ・ 他機能の画面を表示している場合でも、[ホーム] ボタンをタッチすれば本画面を表示できます。

(1) 発信

発信ボタンエリアの [発信] ボタンにタッチすると、相手に発信します。発信中は発信ダイアログが表示されます。



ワンポイント

- ・ 発信先電話番号の登録件数が1件で、ツールオプション画面で「ハンドセットオフフック時自動発信」をONに設定している場合は、テンプレート画面上で本商品に接続しているハンドセットをオフフックするだけで自動的に相手に発信することができます。

(2) 発信の中止

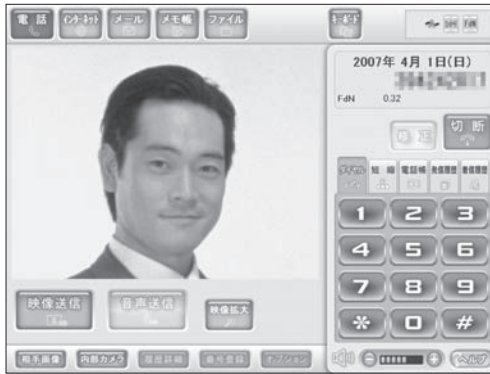
発信を中止したい場合は、発信ダイアログ内の [中止] ボタンにタッチしてください。



(3) 通話

通話相手が応答し通話中になると、電話画面が表示されます(音声通話のみの場合、映像は表示されません)。

(通常画面)



(全画面)



ワンポイント

- ・ 通話開始直後に他の画面を表示しても電話画面が表示されます。
- ・ 通話中に「ホーム」ボタンをタッチしてテンプレート画面を表示した場合は、下記のように「切断」ボタンが表示されたテンプレート画面が表示されます。

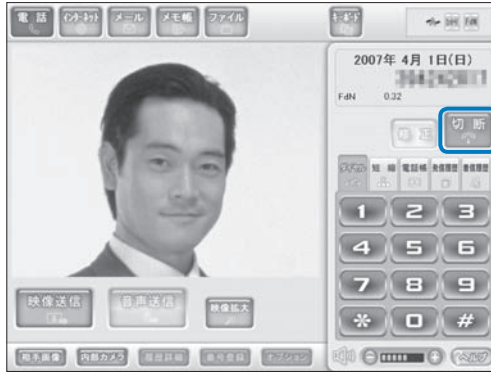


切断ボタン

(4) 通話の終了

通話中に切断したい場合は、[切断] ボタンにタッチしてください。

(通常画面)



(全画面)



ワンポイント

- 通話中にテンプレート画面を表示している場合は、下記の[切断]ボタンをタッチして切断します。



切断ボタン

●補足

(1)入力可能値

画面	項目	入力可能範囲
テキストデータ入力画面	一行目	半角22文字、全角22文字
	二行目	半角22文字、全角22文字
発信先電話番号入力画面	(入力可能件数)	100件
	ボタンの文字	半角8文字、全角8文字
	電話番号	半角32文字
背景情報等選択画面	(画像フォーマット)	JPEG
	(画像サイズ上限値)	780×80ドット

(2)設計データ作成方法

設計データの修正や入力数が多い場合は、外部メモリからの読み込み機能を利用すると便利です。外部メモリのルートディレクトリに“Custom.txt”を作成し、ASCIIコードで下記内容を記述してください。作成した設計データを外部メモリ読み込み画面（P.91）で本商品に取り込むことができます。

・ Custom.txtの作成例

```
&text1=ようこそ。御用の方は&
&text2=下のボタンにタッチしてください。&
&ButtonText=営業部,総務部,技術部,開発部&
&NumberText=0500001,0500002,0500003,0500004&
&TitleTextColor="#ffff00"&
&BtnTextColor="#ff0000"&
&BackGndColor=a&
&TelNum=no&
&MousePointer=yes&
&AutoDial=yes&
&DialCount=4&
&HWButton1=yes&
&HWButton2=yes&
&HWButton3=no&
&menuBar=yes&
```

・ Custom.txtの内容

項目	説明
① &text1	“ようこそ。御用の方は”の部分を変更可能です。改行はできません。
② &text2	“下のボタンにタッチしてください。”の部分を変更可能です。改行はできません。
③ &ButtonText	[発信] ボタン内に表示される文字列を記述します。
④ &NumberText	[発信] ボタンにタッチした際に発信する電話番号を記述します。
⑤ &TitleTextColor	①②の文字色を変更可能です。 ※「＃000000」のように16進数表示で記述してください。 ※未記述時は白(＃ffffff)に設定されます。
⑥ &BtnTextColor	③の文字色変更が可能です。 ※「＃000000」のように16進数表示で記述してください。 ※未記述時は白(＃ffffff)に設定されます。
⑦ &BackGndColor	テンプレート画面パターンの色(背景色)を変更可能です。 ※a=グレー／b=ブルー／c=ピンク
⑧ &TelNum	発信ダイアログ上の相手電話番号の表示／非表示を設定します。 ※yes:表示／no:非表示 ※未記載時は非表示(no)に設定されます。
⑨ &MousePointer	テンプレート画面でのマウスポインタの表示／非表示を設定します。ただし、テンプレート画面上にメッセージが表示されている間は、本パラメータは無効です。 ※yes:表示／no:非表示 ※未記載時は非表示(no)に設定されます。 ※本機能は「ツール」→「各種設定」→「環境」の「USBマウス」の設定が「使用」の時のみ有効です。
⑩ &AutoDial	ハンドセットをオフフックした際に画面上のボタンにタッチしなくても登録した宛先に自動発信する機能を設定します。 ※yes:自動発信可能／no:自動発信不可 ※発信先登録件数が1件の場合(DialCount=1)のみ有効です。
⑪ &DialCount	発信先の登録件数を記述します。
⑫ &HWButton1	「メニューボタン」の有効／無効を設定します。 ※yes:有効／no:無効
⑬ &HWButton2	「ホームボタン」の有効／無効を設定します。 ※yes:有効／no:無効
⑭ &HWButton3	「機能ボタン」の有効／無効を設定します。 ※yes:有効／no:無効
⑮ &menuBar	テレビ電話中の画面上部に表示するボタンの表示／非表示を設定します。 ※yes:表示／no:非表示

・ Custom.txtの仕様

- ◆ 行の初めと終わりには、“&”を記述してください。
- ◆ = ~ & の間(~部分)が変更可能です。また、テキストデータ文字およびボタン文字に下記半角文字を使用すると以降の文字が正常に表示されない場合がありますので、使用しないでください。
「&」、「,」、「<」、「>」、「=」、「%」、「+」
- ◆ 全角／半角、大文字／小文字を区別します。項目が正しく記述されていない場合、項目が設定されないことや、エラーメッセージが表示されることがあります。
- ◆ 文字数が多い場合は、各設定文字数以上は表示されません。
- ◆ 発信先の登録が2件以上の場合は、③ボタンの文字、④電話番号は必ず“,”(カンマ)で区切り、1行で記述してください。
- ◆ ⑤および⑥の文字色指定は、「#000000」のようにダブルコーテーションで区切り、16進数で記述してください。

(3)設計データを読み込む時に表示されるエラーメッセージ

エラーメッセージが表示される場合には、下記の内容をご確認ください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
設定に失敗しました(空き容量不足です)。	内部メモリの空き容量不足が不足しています。	内部メモリ内のファイルを削除／移動し、再度設定してください。
設定に失敗しました(画像ファイルがありません)。	外部メモリから画像選択後、外部メモリを抜いた状態で画面設計の完了ボタンを押下しています。	画像ファイルを外部メモリから選択する場合は、外部メモリを抜かず設定完了を行ってください。
読み込みに失敗しました(ファイルがありません)。	外部メモリの中に、設計データを記述した読み込みファイルがありません。	外部メモリに設計データを記述したCustom.txtを保存してから再度読み込みを実行してください
読み込みに失敗しました(ファイルがオープンできません)。	Custom.txtが他のアプリケーションで読み込まれており、排他アクセスが発生しております。	Custom.txtを読み込んでいる他のアプリケーションを終了してください。
読み込みに失敗しました(件数が不正です)。	読み込みファイル内のDialCountの値が正しくありません。	1～100までの値を設定してください。項目が正しく記述されているかをご確認ください。

お知らせ

●テンプレート画面表示中の注意点

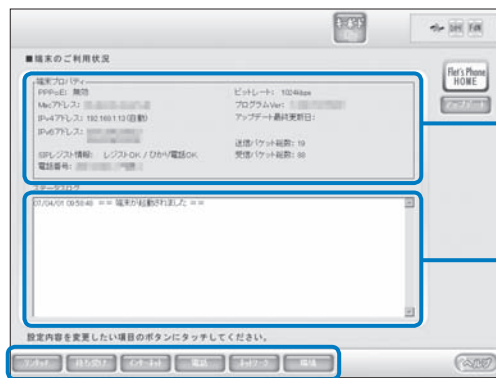
- ・ステータス表示などの確認ができません。
- ・[発信] ボタンをタッチしても発信できない場合は、ネットワークや電話が使用できなくなっている可能性があります。LAN ケーブルやステータスなどを再確認してください。
- ・画面のボタンにタッチしても反応がなかったり、設定した表示や状態にならないなど、動作が不安定になった場合は、テレビ電話画面変更ツール (P.85) を起動し、[ツール終了] ボタンにタッチして再度テンプレート画面を表示し直すか、本商品を再起動してください。
- ・エラーダイアログが表示中に他の画面を表示するとき、エラーダイアログが消去するまでは画面が表示されない場合があります。なお、ビジートーンの音量が変わる場合があります。
- ・テンプレート画面パターン①をご利用の場合、ハンドセットをオフフックしたまま、本体に接続すると自動で発信する場合があります。
- ・発信中に相手が応答したタイミングで [中止] ボタンをタッチすると、通話開始後に切断する場合があります。
- ・通話開始時、切断時にテンプレート画面上に、黒い子画面が一瞬表示される場合があります。

●本機能ご利用時の注意点

- ・ブラウザの履歴は、「ツール内容初期化」を実行した時やツール状態ONのまま本商品をシャットダウンした場合に削除されます。
- ・テレビ電話画面変更機能のテンプレート画面が表示されると、ブラウザで閲覧していたホームページは閉じられます。
- ・電話機能の状態やネットワーク状態が変化した時にテンプレート画面が表示される場合があります。
- ・誤動作の原因となりますので、本機能利用時にハードウェアボタンや画面上のボタンを短い間隔でタッチしないでください。
- ・ハンドセットをオフフックしてもダイアログは表示されません。
- ・本商品のシステムのアップデート (更新) を行う場合は、ツールオプション画面から再起動するか、[設定] → [アップデート] ボタンがタッチできるように設定を変更してください。
- ・電話画面から発信すると発信エラーが表示されない場合があります。この場合は、再度電話番号などを確認して、発信してください。
- ・P.83のお知らせをよくご覧になり、お客様が使用される環境にて充分に動作を確認していただいた上で使用してください。
- ・「ツール内容初期化」を実行しても、待ち受け設定画面の設定は、変更されたままになります。再度設定し直してください。
- ・「ツール内容初期化」を実行すると、待ち受け設定画面の「ホーム画面の選択」は、本商品の初期設定の壁紙になります。

本商品の設定変更をするには

ホーム画面より【設定】ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。



ここには現在の設定内容が表示されています

ここには本商品のステータスログが表示されています

画面下部の各ボタンにタッチすると、各種設定を変更できます

お知らせ

- 設定の変更後は、各画面に表示される【設定OK】ボタンにタッチしてください。変更内容が保存されます。【戻る】ボタンにタッチすると、変更内容を保存しないで前の画面に戻ります。
- 設定内容によっては、本商品の再起動が必要になる場合があります。再起動を促すメッセージが表示された場合は、メッセージに従って本商品を再起動してください。
- 各設定について詳しくは、画面上のヘルプをご覧ください。

ワンポイント

- ・ 次のステータスログが表示されますが、エラーではありません。
 - 端末が起動されました
 - 端末が再起動されました
 - 端末が電源オフされました
- ・ フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」をご利用の場合は、回線種別：フレッツ 光ネクストが表示されます。

■ ワンタッチ設定画面で設定できること

【ワンタッチ】ボタンにタッチすると、設定ガイドが起動し、ホーム画面で表示する【ワンタッチ】ボタンの変更を行うことができます。設定について詳しくは、設定ガイド第4章「4-6 ワンタッチボタンの設定」(P.52)をご覧ください。設定が完了すると、ホーム画面が表示されます。

■ 待ち受け設定画面で設定できること

[待ち受け] ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。本商品を何も操作しない状態が続くと、自動的に待ち受け画面が表示されます。ここでは、待ち受け画面とホーム画面についての設定ができます。



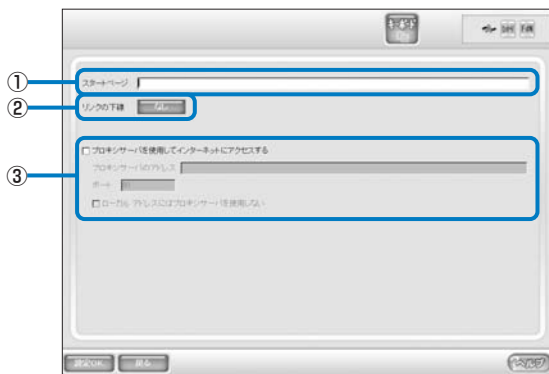
項目	設定内容
①待ち受け移行時間	待ち受け画面が表示されるまでの時間を設定できます。
②待ち受け画面の選択	待ち受け画面として表示する画面を選択します。「ホーム」を選択すると、待ち受け時にホーム画面を表示することができます。「電話」を選択すると、待ち受け時に電話画面を表示します。
③ホーム画面の選択	ホーム画面のイメージウィンドウに表示する画面を選択します。「URL」を選択すると、ホームページを表示することができます。「スケジュール」を選択すると、カレンダーを表示することができます。URL欄に表示したいホームページのURLを入力してください。「壁紙」を選択すると、静止画を表示することができます。[参照] ボタンにタッチして、本商品の内部メモリまたは外部メモリから表示したい静止画を選択してください。
④表示サイズ	ホーム画面で表示するURL、壁紙のサイズを設定します。

お知らせ

- 「URL」を選択する場合、容量の大きなページや動画・音楽などのコンテンツを設定しないでください。場合によってはエラーが表示され、表示内容が自動で壁紙に変更されます。
- 「URL」を選択した場合、ホーム画面に表示されるホームページの表示は、次のようになります。
 - ・ ホームページのリンクにタッチすると、リンク先のページが表示されます。ただし、元のページには戻れません。また、新しいウィンドウが開かれるようなリンクには対応していません。
 - ・ ホーム画面でページの印刷はできません。
- ディスプレイオフの設定時間によっては、待ち受け画面が表示されない場合があります。
- ホーム画面の選択で、「スケジュール」を選択すると、表示サイズは「通常」が選択されます。「大きい」は選択することができません。

■ インターネット設定画面で設定できること

【インターネット】ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。ここでは、ブラウザについての設定ができます。



項目	設定内容
①スタートページ	ブラウザの【ホーム】ボタンを押したときに表示されるページを設定します。本商品を起動後、初めてブラウザ画面を表示したとき、本項目で設定したページが表示されます。
②リンクの下線	ホームページ内で他のページへのリンクがある箇所を、下線で表示するかどうかを選択します。
③プロキシサーバの設定	インターネットに接続する際に、プロキシサーバを使用するかどうかを設定します。プロキシサーバを使用する場合は、「プロキシサーバを使用してインターネットにアクセスする」を選択して、プロキシサーバのアドレスを入力してください。

■ 電話設定画面で設定できること

【電話】 ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。ここでは、電話についての設定ができます。



項目	設定内容
①電話設定	[設定ガイド起動] ボタンにタッチすると、電話設定ガイドが起動し、IPテレビ電話サービスの設定を変更できます。設定について詳しくは、「初期設定をします」(P.26)をご覧ください。
②着信拒否/自動応答番号入力	着信拒否をしたい番号や自動応答（通話開始時に自動的に自分側の映像を送信）にしたい番号を設定できます。 着信拒否/自動応答番号入力欄に電話番号を入力し、着信拒否番号にするか、自動応答番号にするかを選択します。[追加] ボタンにタッチすると、入力した電話番号が一覧に表示されます。[OFF] ボタンにタッチして[ON]にすると、設定した電話番号から着信があった場合に、着信拒否または自動応答します。「自動応答番号」に設定すると、電話画面のオプションの「通話開始時の映像 ON / OFF」の設定に関係なく、映像が送信されます。

お知らせ

- フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」に変更する場合、ネットワークの設定が必要です。ネットワーク設定画面の「設定ガイド起動」を行ってください。詳しくは、設定ガイド第4章「4-1 フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」の設定」(P.24)をご覧ください。

■ ネットワーク設定画面で設定できること

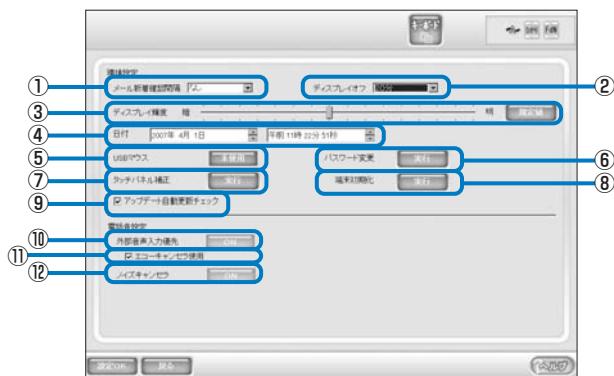
[ネットワーク] ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。ここでは、インターネットに接続するためのネットワーク設定ができます。



項目	設定内容
①ネットワーク設定	ネットワークへの接続方法を選択し、設定します。接続方法を選択すると、右側に設定の必要な項目が表示されます。必要事項を入力してください。
②設定ガイド起動	このボタンにタッチすると、ネットワーク設定ガイドが起動して、本商品のネットワーク設定が自動で設定されます。設定について詳しくは、「初期設定をします」(P.26)をご覧ください。
③保守	当社のお問い合わせ窓口にお問い合わせいただいた際、本体の動作確認をするために使用します。窓口の担当者から指示があった場合にタッチしてください。通常はタッチしないでください。

■ 環境設定画面で設定できること

[環境] ボタンにタッチすると、次のような画面が表示されます。ここでは、本商品の使用環境についての設定ができます。



項目	設定内容
①メール新着確認間隔	新着メールが届いているかどうかを確認する間隔を設定できます。
②ディスプレイオフ	本商品を何も操作しない状態が続いたときに、液晶ディスプレイ（タッチパネル）の表示を消してディスプレイオフに入るまでの時間を設定できます。
③ディスプレイ輝度	液晶ディスプレイ（タッチパネル）の明るさを調整できます。
④日付	本商品の日付と時刻の設定ができます。日付と時刻は、電話の発着信履歴、プロバイダを利用したメールの送受信時に表示されます。正しく設定してください。
⑤USBマウス	本体側面のUSBポートに、市販のUSBマウスを接続して使用するために、マウスカーソルの表示設定ができます。USBマウスを使用する場合は、[未使用] ボタンにタッチして [使用] にし、設定を終了させるときに必ず再起動してください。
⑥パスワード変更	パスワードの設定画面が表示されます。パスワード設定により保護される場所は、電話のオプション画面、メールの設定画面、設定内の各種設定画面です。なお、パスワード入力失敗時にはパスワード入力ダイアログが閉じ、画面は切り替わりません。
⑦タッチパネル補正	画面にタッチしたときの位置ずれを補正できます。[実行] ボタンにタッチして、表示されるメッセージに従って操作してください。
⑧端末初期化	本商品をお買い上げのときの状態に戻します。詳しくは、「本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化）」(P.108)をご覧ください。
⑨アップデート自動更新チェック	チェックを付けると、本商品のシステムの更新情報がないかを自動的に確認します。更新情報がある場合は、ステータス表示に [アップデート] アイコンが表示されます。
⑩外部音声入力優先	ONにすると、音声入力端子に外部機器が接続されていれば接続されている機器を使用し、接続されていないときは内蔵マイクを使用します。OFFにすると、常に内蔵マイクを使用します。ただし、ハンドセット使用時は内蔵マイクは使用しません。
⑪エコーキャンセラ使用	チェックを付けると、音声入力端子からの音声に対してエコーキャンセラ機能を使用ようになります。スピーカーから出力された音声をマイクが拾うことで発生するエコーやハウリングを抑える機能で、電話の音声を相手に聞きやすくすることができます。

項目	設定内容
⑫ノイズキャンセラ	ノイズキャンセラ機能を有効にするかどうかを設定します。 ノイズキャンセラとは、周囲の騒音を抑える機能です。 周囲に騒音がある場所でも、電話の音声を相手に聞きやすくすることができます。ただし、ハンドセット、外部音声入力使用時はノイズキャンセラ機能は使用できません。

お知らせ

- ディスプレイオフになっているときに着信があると、ディスプレイオフが解除されます。
- USBマウスの設定を変更し、[設定OK] ボタンにタッチすると、再起動の確認画面が表示されます。[いいえ] ボタンにタッチすると、[使用] になってもUSBマウスが使えない場合があります。ご注意ください。
- 通話中は、メール新着確認、アップデート自動更新チェックは実行されません。
- 操作を促すメッセージを表示中にディスプレイオフになると、再度画面を表示したときに、メッセージのみ表示した画面になります。
- USBマウスを接続するとマウスでの操作が有効になります。USBマウスの設定が[未使用]の場合、マウスカーソルは表示されませんが、マウスボタンのクリックで発信したり、画面が変わることがあります。ご注意ください。

ワンポイント

- ・ 初期状態は、パスワード設定なしです。
- ・ パスワード設定で、「新しいパスワード：」と「新しいパスワード（再入力）：」の入力欄に空文字（何も入力しない）にするとパスワード設定を解除できます。
- ・ パスワードに設定可能な文字は、半角英数です。英字は、大文字／小文字を区別します。
- ・ パスワードは、4文字以上、8文字以内で設定してください。
- ・ パスワードを忘れてしまった場合は、再設定できません。
「本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化）」(P.108) をご覧になり、本商品の内容を初期状態にしてください。
- ・ パスワードを設定した場合、電話画面からの着信拒否、自動応答の登録はできません。

本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化）

本商品の設定をお買い上げのときの状態に戻す（初期化）ことができます。

お知らせ

- 本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、必ず本商品の設定をお買い上げのときの状態に戻し、本商品内に登録または保持されたデータを消去してください。
- お買い上げのときの状態に戻すと、電話帳やメール、メモ帳など、本商品内に登録されたデータはすべて消去されます。重要なデータは、外部メモリに保存しておいてください。メールのデータは、外部メモリには保存できません。別に紙に書き写すなどしてください。

本体前面の3ボタンによる方法

1 メニューボタン、ホームボタン、機能ボタンの3つを同時に押して、本商品を起動する

電源投入後、「初期化中です」が表示されるまで押し続けてください。初期化されて起動します。再度、インターネット接続や電話を利用するときは、「初期設定をします」（P.26）をご覧ください、初期設定をやり直してください。

メニューからの方法

1 ホーム画面より【設定】ボタンにタッチする

2 【環境】ボタンにタッチする

3 「端末初期化」の【実行】ボタンにタッチする

4 【はい】ボタンにタッチする

「端末データの削除が完了しました。」と表示されます。

5 【再起動】ボタンまたは【電源オフ】ボタンにタッチする


【再起動】ボタンにタッチした場合は、本商品が再起動されます。【電源オフ】ボタンにタッチした場合は、本商品の電源オフが行われます。

再度、インターネット接続やテレビ電話を利用するときは、「初期設定をします」（P.26）をご覧ください、初期設定をやり直してください。

本商品のシステムをアップデートするには

本商品のシステムをアップデートすることで、機能の追加や改善などができます。お客様が手動で本商品のアップデートを行いたい場合は、次の手順で本商品のシステムをアップデートしてください。

お知らせ

- アップデートを行う前に、本商品に保存されている重要なデータ、設定内容などは、外部メモリにバックアップをとるか、別に紙に書き写すなどしておいてください。
- ステータス表示に  が表示されたら、システムのアップデートができます。
- アップデートが完了するまで、約5～15分かかります（ご利用の回線の通信速度、ネットワークの状況、サーバの混雑状況によっては、それ以上の時間がかかる場合もあります）。
- アップデート中は、電話の着信を含め、アップデート以外の機能はすべて使えません。
- アップデート中は、絶対に本商品の電源を切らないでください。
- 本商品を再起動した場合も、アップデートすることができます。テレビ電話画面変更機能をご利用の場合は、本商品の再起動時に、アップデートしてください。

1 ホーム画面より【設定】 → 【アップデート】 の順にボタンにタッチする
更新情報の確認が始まります。
更新情報が取得されると、アップデートするかどうかを確認する画面が表示されます。

2 【はい】 ボタンにタッチする
システムのアップデートが始まります。

■ アップデートが正しくできたか確認する

アップデートが正しくできているかは、次の手順で確認できます。

1 ホーム画面より【設定】 ボタンにタッチする
設定のメイン画面が表示されます。
「プログラムVer:」の表示が最新版に変更されていれば、アップデートは正しくできています。

付 録

制限事項

西日本エリアでご利用の
お客さまの接続・設定

仕 様

故障かなと思ったら

こんなときは

エラーメッセージ一覧

索 引

保守サービスのご案内

制限事項

本商品のご利用に際して、下記のような制限事項があります。

■ IP電話サービスに関する注意事項

- 次のようなときは、電話の映像品質および通話品質が劣化したり、通信が切断されたりする場合があります。
 - ・ ADSL回線の接続状況によって十分な通信速度が確保できない場合（本商品では、フレッツ光ネクストや、Bフレッツ回線のご利用を推奨しています）。
 - ・ 本商品あるいは本商品と同じルータなどに接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大容量のデータ通信を必要とするサービスを利用中の場合。
- 110番、118番、119番など一部の電話番号には、ひかり電話から発信できますが、IP電話サービスからは発信できません。また、契約されたIP電話サービスが、携帯電話やフリーダイヤルなどへの通話をサービス対象外としている場合も発信できません。プロバイダが提供するIP電話サービスをご利用の場合、ご利用になれるサービスについてはプロバイダ各社にお問い合わせください。
- 停電時および本商品の電源を切っている場合には、IP電話サービスを利用できません。また、IP電話サービスによる通話中に停電、あるいは本商品の電源を切ると、通話が切断されます。
- IP電話サービスご利用中にLANケーブルを抜き差しすると、本商品の状態によっては回線が切れたことを認識できず、リンクダウンのエラーメッセージを表示しない場合があります。

■ 本商品をルータに接続して使用する場合

本商品をルータやルータ機能付きADSLモデムに接続する場合やルータ配下のネットワークに接続する場合は、次の点に注意してください。

- 本商品の設定を行う前に、ルータでインターネットに接続できるように設定を完了しておいてください。設定について詳しくは、ルータの取扱説明書をご覧ください。
- ルータに接続する場合やルータ配下のネットワークに接続する場合は、本商品の電源を入れる前に、ルータの電源を入れてください。
- ルータの設定を変更した場合やルータを再起動した場合は、本商品の電源を入れ直してください。
- ルータの電源が入っていない場合やルータの再起動中などは、本商品での電話の発着信やインターネット接続、プロバイダを利用したメールの送受信ができません。
- プロバイダを利用する場合は、ルータがUPnP機能に対応している必要があります。UPnP機能を有効にしてご使用ください。また、ご利用になるサービスによって、ルータに必要な機能が異なります。

西日本エリアでご利用のお客さまの接続・設定

NTT西日本エリアでご利用のお客さまは、次の手順で接続・設定します。

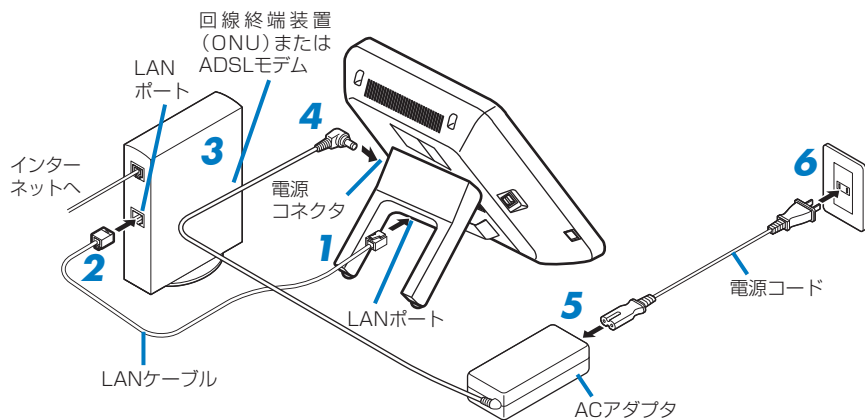
■ 接続について

本商品を回線終端装置（ONU）、加入者網終端装置（CTU）、ADSLモデムまたはルータに接続し、ACアダプタを接続します。

お知らせ

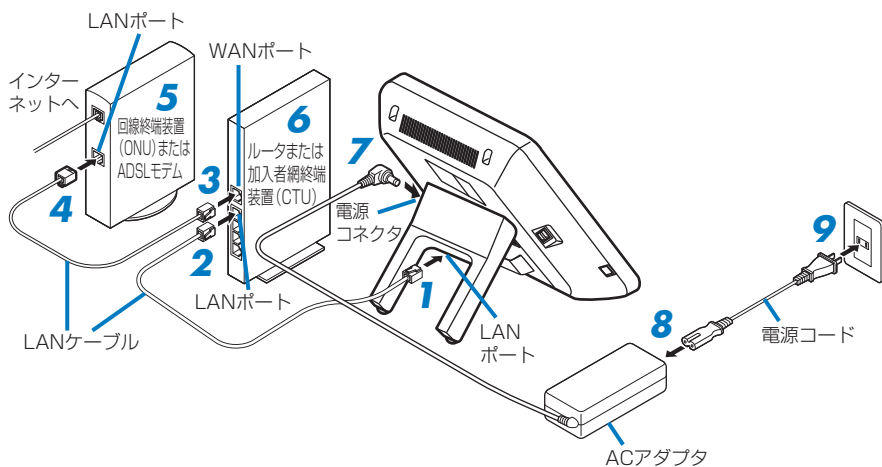
- 回線終端装置（ONU）、加入者網終端装置（CTU）、ADSLモデムまたはルータの回線接続が正しく設定されているか確認してください。ADSLモデムおよびルータの接続や設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源ボタンを押したあと、しばらく経っても電源ランプが緑色に点灯しない場合は、もう一度電源ボタンを押してみてください。電源ランプが緑色に点灯しているにもかかわらず、何も表示されないときは、本商品のACアダプタを抜いて、30秒以上経ってからACアダプタを接続してください。
- 本商品の電源を切るときは、必ず電源ボタンを押して電源オフをしてください。電源オフをしないで電源コードを抜くと、本商品が起動しなくなる場合があります。電源オフ操作については、「本商品の電源オフと再起動の方法」（P.39）をご覧ください。
- 電源を再度入れるときは、電源を切ってから30秒以上経ってから行ってください。電源を切ったあとすぐに電源を入れたり、電源コードの抜き差しや電源ボタンの操作を連続して行ったりすると、起動や電源オフが正しくできない場合があります。
- 本商品をルータに接続する場合は、本商品の電源を入れる前に、ルータの電源が入っていることを確認してください。
- ルータなどの設定を変更したときは、本商品を再起動してください。再起動の方法は「本商品の電源オフと再起動の方法」（P.39）をご覧ください。

回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムに接続する場合



- 1** 付属のLANケーブルのコネクタを本体背面のLANポートに接続する
- 2** 付属のLANケーブルのもう一方のコネクタを、回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムのLANポートに接続する
- 3** 回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムの電源を入れる
- 4** ACアダプタのコネクタを本体側面の電源コネクタに接続する
- 5** ACアダプタに電源コードを接続する
電源コードが抜けないように、奥までしっかり差し込んでください。
- 6** 電源コードのプラグを電源コンセントに接続する

ルータまたは加入者網終端装置 (CTU) に接続する場合



- 1** 付属のLANケーブルのコネクタを本体背面のLANポートに接続する
- 2** 付属のLANケーブルのもう一方のコネクタを、ルータまたは加入者網終端装置 (CTU) のLANポートに接続する
- 3** LANケーブルのコネクタをルータまたは加入者網終端装置 (CTU) のWANポートに接続する
本商品に同梱されているLANケーブルは1本のみです。市販のLANケーブルや、ルータまたは加入者網終端装置 (CTU) に付属のLANケーブルをお使いください。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 4** LANケーブルのもう一方のコネクタを、回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムのLANポートに接続する
- 5** 回線終端装置 (ONU) またはADSLモデムの電源を入れる
- 6** ルータまたは加入者網終端装置 (CTU) の電源を入れる
電源を入れる前に、ルータまたは加入者網終端装置 (CTU) のインターネット接続の設定を完了させておいてください。
- 7** ACアダプタのコネクタを本体側面の電源コネクタに接続する
- 8** ACアダプタに電源コードを接続する
電源コードが抜けないように、奥までしっかり差し込んでください。
- 9** 電源コードのプラグを電源コンセントに接続する

お知らせ

- NTT西日本エリアで「ひかり電話」をご利用のお客様は、加入者網終端装置 (CTU) と本商品の間に「ひかり電話」対応機器を接続する必要があります。

■ 初期設定について

ご利用の電話サービスにより、設定手順が異なります。

- ひかり電話、プロバイダが提供する「050」電話を利用したIPテレビ電話サービスをご利用する場合、または電話サービスを利用しない場合は、設定ガイドに従い設定します。
- NTT西日本が提供する「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能をご利用する場合は、以下の手順で設定します。

お知らせ

- すでにNTT東日本エリアで設定している場合は、ホーム画面より[設定] → [ネットワーク] → [設定ガイド起動] の順にボタンにタッチしてください。

ワンポイント

- NTT西日本が提供する「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能について

NTT 東日本エリアの「FLET' S.Net ナンバー」とNTT 西日本エリアの「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6 アプリ」のテレビ電話機能をお持ちの方と通話ができます。

- お申込方法

「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6 アプリ」のテレビ電話機能は、フリーダイヤル「0120-116116」で申し込みできます。

- 「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6 アプリ」のテレビ電話機能のサービス内容

- 「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能は9桁の番号（ダイヤルナンバー）を利用し、高品質なIPテレビ電話サービスを月額利用料のみの定額制（NTT 西日本エリア限定）で、それ以外の通信料などは必要とせずに利用できます。

- 最新の「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6 アプリ」のテレビ電話機能の提供エリアについては、以下のURL でご確認ください。

<http://flets-w.com/>

- 用意する書類

設定する途中、IDやパスワードといった個人情報の入力が必要です。これらは「開通のご案内」に記載されています。本商品での設定を始める前に、お手元にご用意ください。



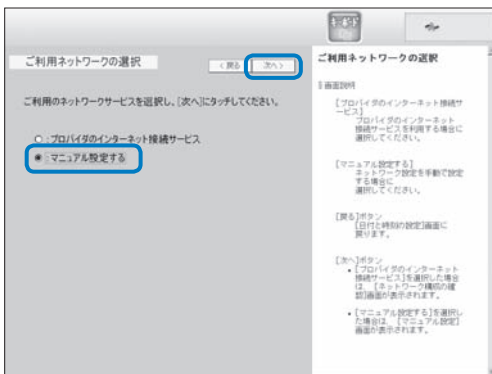
本商品でインターネット接続をするための設定をします

1 日付と時刻を設定して、[次へ] ボタンにタッチする

日付は2007年～2070年の間で入力してください。それ以外の値を入力した場合は、正しい値が設定されないことがあります。



2 [マニュアル設定する] を選択して、[次へ] ボタンにタッチする



3 [DHCPを利用] を選択して、[次へ] ボタンにタッチする



4 表示された画面で、[設定完了] ボタンにタッチする

初期設定を続けます。

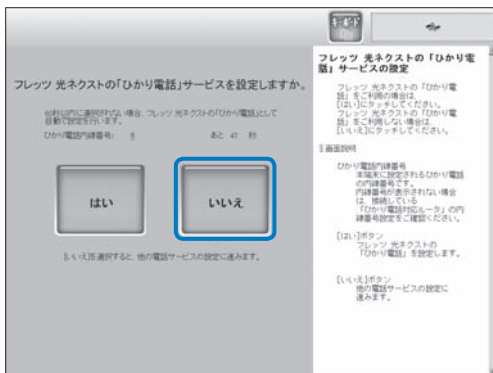
次に、IPテレビ電話サービスの設定を行います。

本商品でテレビ電話をするための設定をします

1 フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」サービスは設定しないので【いいえ】ボタンにタッチする

※ご利用の環境によっては本画面は表示されません。

なお、フレッツ 光ネクストの「ひかり電話」サービスを利用する場合、【はい】を選択します。【はい】を選択した場合は、自動的にワンタッチボタンの設定に進みます。



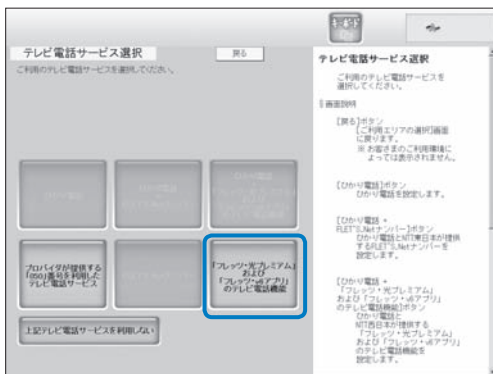
2 ご利用のエリアにタッチする

※ご利用の環境によっては本画面は表示されません。



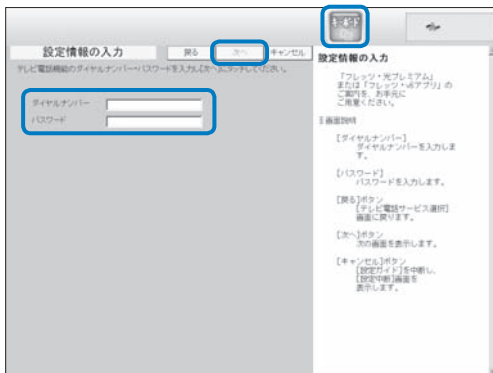
3 「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能を選択する

※ひかり電話を併用して利用する場合は、【ひかり電話+「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能】ボタンにタッチしてください。



4 「ダイヤルナンバー」、「パスワード」を入力して【次へ】ボタンにタッチする

※ダイヤルナンバー、パスワードについては「フレッツ・光プレミアム」または「フレッツ・v6アプリ」の「開通のご案内」をご覧ください。



5 ご利用のフレッツサービスを選択して、【次へ】ボタンにタッチする

設定された内容が表示されます。

※ご利用の環境によっては、自動で設定されます。

6 設定内容を確認して、【完了】ボタンにタッチする

初期設定を続けます。次に、ホーム画面に表示するワンタッチボタンの設定を行います。

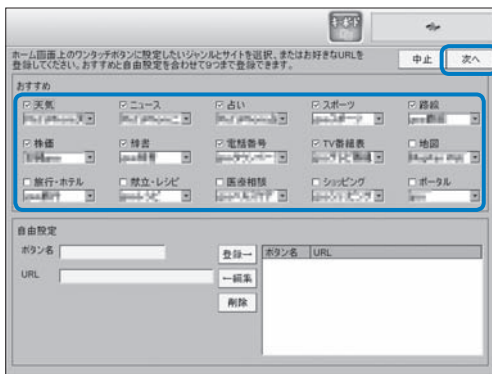
本商品のホーム画面に表示するワンタッチボタンを設定します

*すでにNTT東日本エリアで設定している場合、本画面は表示されません。

1 ホーム画面に表示するワンタッチボタンの種別とサイトを選択する

最大9つまで選択することができます。

ホーム画面で表示するワンタッチボタンの種別とURLを自由に設定することができます。詳しくは、設定ガイド第4章「4-6 ワンタッチボタンの設定」(P.52)をご覧ください。



2 【次へ】 ボタンにタッチする

3 ホーム画面に表示されるボタンの位置を設定する

4 【完了】 ボタンにタッチする



ホーム画面ボタン表示位置

「更新情報を確認しています」などのメッセージが表示され、本商品の更新情報の確認が行われます。更新情報が取得されると、システムをアップデートするかどうかを確認する画面が表示されます。

[はい] ボタンにタッチすると、システムのアップデートが始まります。詳しくは、「本商品のシステムをアップデートするには」(P.109)をご覧ください。

しばらく経つと、ホーム画面が表示されます。

画面右上のステータス表示にネットワークや電話のアイコンが表示されていれば、正しく設定ができています。

「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6 アプリ」のテレビ電話機能をご利用の場合、電話のアイコンは次のように表示されます。



利用可



利用不可

ステータス表示については、「画面について(ホーム画面の場合)」(P.35)をご覧ください。これで初期設定は完了です。

■ IPテレビ電話サービスをご利用になる際のご注意

- 発信先電話番号を発信できるサービスは、次のとおりです。

種類	発信先の電話番号	発信できるサービス
FLET'S.Net ナンバー ダイヤルナンバー	例：XXXXXXXXXX (9桁の数字)	「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能で発信できます。 ※利用するIPテレビ電話サービスに、「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能を選択した場合に発信できます。 ※同じサービスまたはFLET'S.Netナンバーを利用したIPテレビ電話サービスを利用している相手にしか、発信できません。
1XY	184 / 186+ FLET'S.Netナンバー 184 / 186+ ダイヤルナンバー	IPテレビ電話サービスで発信できます。
	その他の「1」で始まる番号 例：177など	加入電話でおかけください。

- ひかり電話とNTT西日本が提供する「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能を併用してご利用する場合、通常はひかり電話で発信します。
[*] ボタンにタッチすると、情報ウィンドウに [v6V] と表示され、「フレッツ・光プレミアム」および「フレッツ・v6アプリ」のテレビ電話機能で発信します。
- ダイヤルナンバーを電話帳に登録する場合は、電話番号の種類に「一般電話v6」または「会社電話v6」を選択してください。
詳しくは、「電話帳に新規登録します」(P.72) をご覧ください。
- インターネットにつながらない場合は、本商品のシステムをアップデートすることはできません。

■ 本商品／機器の接続、設定、お取り扱い方法、故障に関する相談は下記へお気軽にご相談ください。

03-5667-7035 (9:00～21:00)

※通話料金がかかります

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

仕様

項目	仕様	
基本機能	電話	映像：MPEG-4 音声：G.711
	ストリーミング	Windows Media® 9 ※1
	Webブラウザ	Internet Explorer 6.0 for Windows®CE (Adobe® Flash® Player7相当)
	IP電話	ハンドフリー
	表示	TFT LCD (XGA12.1インチ) ※2、約1677万色
	カメラ	CMOS 30万画素
	操作	タッチパネル
	テレビ出力	映像：アナログRGB 音声：Stereo × 1ch
	ネットワーク	10BASE-T / 100BASE-TX
ユーザインタフェース	ボタン	電源ボタン メニューボタン ホームボタン 機能ボタン
	電源/ ステータスランプ	電源：本商品の電源が入っているときに緑色に点灯します。 ステータス：システムのアップデート中に内部メモリへ情報を書き込んでいるときには橙色に速く点滅します。留守番電話を設定しているときには橙色に点灯します。留守番電話を設定して留守録メッセージが記録されているときや新着メールが存在しているときには橙色にゆっくり点滅します。
	LINKランプ	LINK：LANのリンクが確立しているときに橙色に点灯します。
	DATAランプ	DATA：LANのデータが送受信されているときに緑色に点灯します。
外部コネクタ	USBポート	USB2.0 × 2
	LANポート	10BASE-T / 100BASE-TX × 1
	映像出力端子	映像出力 (アナログRGB：ミニD-sub15ピン) × 1
	映像入力端子	NTSC Composite IN × 1
	音声出力端子	Stereo OUT R × 1 / L × 1
	音声入力端子	Mono IN × 1
	ハンドセット接続ポート	専用インタフェース × 1
電源コネクタ	DC Jack × 1	
電源	入力電圧：AC100V、50 / 60Hz 定格出力：DC12V / 4.0A	
消費電力	28W	
動作環境	温度：5～40℃ 湿度：5～85% (ただし、結露しないこと)	
電磁妨害波規格	VCCI クラスB	
サイズ	300 (W) × 94 (D) × 319 (H) mm	
重量	約4kg	

※1：コンテンツによっては正しく再生できない場合があります。

※2：液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られています。画面の一部にごくわずかな黒い点や常時点灯する赤、青、緑の点が見えることがあります。見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。また、電源投入直後はディスプレイが暗く感じる場合があります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

故障かなと思ったら

現象	対処
電話が使用できない	<ul style="list-style-type: none"> LANケーブルが抜けたり、接続しているルータの再起動やPPPoe接続が切れてしまうなどの要因により、電話が使用できなくなる場合があります。ネットワーク環境上のすべてのLANケーブルが、正しく接続されているか確認してください。ネットワークの状態によっては、電話が利用できる画面に戻るまでに10分ほどかかる場合があります。また、接続環境によっては、電話が利用できる画面のままであっても電話が利用できない場合があります。しばらく経っても電話が利用できない場合は、本商品のマニュアルやルータなどの取扱説明書に従い、再接続してください。
何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 正しく接続されているか確認してください。 ディスプレイオフ中です。液晶ディスプレイ（タッチパネル）にタッチすると画面が表示されます。ただし、本商品の状態によっては、すぐに画面が表示されない場合があります。そのまま2分ほどお待ちいただき、再度タッチしてください。 ACアダプタのコード及び電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いてください。 電源を再度入れるときは、電源を切ってから30秒以上経ってから行ってください。電源を切ったあとすぐに電源を入れたり、電源コードの抜き差しや電源ボタンの操作を連続して行ったりすると、起動や電源オフが正しくできない場合があります。 電源コードを抜いて30秒以上経ってからあらためて差し込んでください。
映像が正常に表示されない(例：モザイクがかかったような映像になってしまう)	<ul style="list-style-type: none"> 回線速度と映像帯域の設定が合っていない可能性があります。電話画面のオプションで、「映像帯域」の設定を使用回線ごとの適切な値に変更してください。 <ul style="list-style-type: none"> - ADSL1.5M契約の場合 128Kbps - ADSL1.5M契約以外の場合 384Kbps - Bフレッツの場合 1Mbps 回線速度と映像帯域の設定を合わせても同じ現象が発生する場合は、回線品質の一時的な低下が影響している可能性があります。いったん電話を切り、しばらく経ってからおかけ直してください。 ご使用の回線で本商品の他にもインターネット接続機器などが通信している場合、ネットワークに負荷がかかるため、映像が正常に表示されない可能性があります。いったん電話を切り、他のインターネット接続機器の使用を中止するなど、ネットワークの負荷を軽減してからおかけ直してください。
本商品の映像出力端子に接続したテレビの画面がちらつく	<ul style="list-style-type: none"> 表示する色や表示内容によっては、ちらつきが発生する場合があります。故障ではありませんので、そのままご使用ください。
メッセージ表示中に画面が乱れる(例：メッセージの下に不完全な画像が表示される)	<ul style="list-style-type: none"> メッセージ内に表示しているボタンにタッチし、メッセージを閉じてください。
スピーカーから何も聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> 「音量調節」ボタンにタッチして、受話音量を聞き取りやすい大きさに調節してください。
自分側の声が相手側に聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> 本商品のマイクがふさがれていないか確認してください。

現象	対処
相手側の声が自分側に聞こえない 聞こえにくい 声が反響する 通話中に「ザーザー」というノイズが入る 通話中にブツブツ切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・回線品質の一時的な低下が影響している可能性があります。いったん電話を切り、しばらく経ってからおかけ直してください。 ・相手側が音声を保留している可能性があります。 ・本商品のスピーカがふさがれていないか確認してください。 ・[音量調節] ボタンにタッチして、受話音量を聞き取りやすい大きさに調節してください。
相手側の声が大きすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・[音量調節] ボタンにタッチして、受話音量を聞き取りやすい大きさに調節してください。
カメラの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラが上や下を向いていないか確認してください。 ・外部入力になっていないか確認してください。
カメラから入力した画像と自画像表示の画像で見え方が異なる	カメラから入力された画像は、回線効率の高いデータに変換されるため元の画像と異なる場合があります。故障ではありませんのでそのままご使用ください。
携帯電話、PHSへダイヤルしたがつながらない	<ul style="list-style-type: none"> ・NTT東日本のFLET'S. Netナンバーをご利用の場合、これらの番号へはつながりません。加入電話からおかけください。 ・プロバイダのIP電話サービスをご利用の場合、携帯電話・PHSへつながるかどうかは、プロバイダによって異なります。ご利用のプロバイダへお問い合わせください。 ・ひかり電話をご利用の場合、携帯電話・PHSへつながります。
緊急通報番号(110番、119番、118番)にダイヤルしたがつながらない	<ul style="list-style-type: none"> ・ひかり電話または加入電話からおかけください。
フリーダイヤルにダイヤルしたがつながらない	<ul style="list-style-type: none"> ・ひかり電話または加入電話からおかけください。
ナビダイヤル、ダイヤルQ2にダイヤルしたがつながらない	<ul style="list-style-type: none"> ・加入電話からおかけください。発信には利用料金が発生しますのでご了承ください。
携帯電話、PHSから着信できない	<ul style="list-style-type: none"> ・NTT東日本のFLET'S. Netナンバーをご利用の場合、これらの番号からはつながりません。加入電話へかけていただくようご案内ください。 ・プロバイダによるIP電話サービスをご利用の場合、携帯電話・PHSからつながるかどうかは、プロバイダによって異なります。ご利用のプロバイダへお問い合わせください。 ・ひかり電話をご利用の場合、携帯電話・PHSからの着信を受けることができます。通話相手がFOMA®携帯電話の場合、テレビ電話通話が可能です。ただし、ひかり電話のテレビ電話契約が必要です。
着信履歴、発信履歴、短縮ダイヤルの設定が消えた	<ul style="list-style-type: none"> ・本商品の「端末初期化」を実行すると、お買い上げのときの状態になり、個人データはすべて消去されます。
インターネット閲覧中に電話を受けても、すぐに電話画面に切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・本商品で容量の大きなページやFlash、動画などの動きのあるコンテンツを使用したホームページを表示している場合、本商品の動作が遅くなり、電話を受けてもすぐに電話画面に切り替わらない場合があります。この場合は、電話画面に切り替わるまでしばらくお待ちください。
本商品どうして通話している場合に、ファイルやメモの「共有」ができないことがある	<ul style="list-style-type: none"> ・画面に表示されているボタンへのタッチや、ファイル（の共有）、メモ帳（の共有）やブラウザ（の共有）をすばやく繰り返した場合、共有ができなくなる場合があります。再度共有をやり直すか、電話をかけ直してから共有を行ってください。 ・ひかり電話をご利用の場合は、共有できません。 ・相手の状態によっては、共有できない場合があります。
通話開始時に緑色の画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・故障ではありません。そのまま画像が表示されるまで数秒間お待ちください。

現象	対処
電話画面のオプションで、着信音に「ユーザ設定」を選択したら、着信時に音が鳴らない	・ WAVファイル形式の音声ファイルであっても本商品でサポートしていない特殊なものがあり、音が鳴らない場合があります。設定時に「試聴」ボタンにタッチして、音が鳴るか確認してください。
ディスプレイが暗い	・ 電源投入直後はディスプレイが暗く感じることがあります。しばらくお待ちください。 ・ 画面の明るさが暗く設定されている可能性があります。「ディスプレイ輝度」で明るさを調整してください。ディスプレイ輝度については、「環境設定画面で設定できること」(P.106)をご覧ください。
画面が急に待ち受け画面に切り替わった	・ 本商品には、タッチパネルやボタンの操作が何もない状態が続いたときに、待ち受け画面を表示する機能があります。USBキーボードやUSBマウスが接続されていた場合、その操作をしていても、設定時間後には待ち受け画面に切り替わります。待ち受け画面については、「待ち受け設定画面で設定できること」(P.102)をご覧ください。
画面が急に暗くなる	・ 本商品には、タッチパネルやボタンの操作が何もない状態が続いたときに、液晶ディスプレイの表示を消す機能（ディスプレイオフ）があります。タッチパネルまたはボタン操作により、表示が元に戻ります。USBキーボードやUSBマウスが接続されていた場合、その操作では元に戻りません。ディスプレイオフについては、「環境設定画面で設定できること」(P.106)をご覧ください。
USBフラッシュメモリを接続していた、または抜き差ししたら映像が滑らかでなくなったり、動作が遅くなった	・ USBフラッシュメモリのデータ書き込み中や読み込み中などに、USBフラッシュメモリの抜き差しを行った可能性があります。USBフラッシュメモリを抜いたあとでも映像が滑らかでなかったり動作が遅い場合は、本商品を再起動してください。USBフラッシュメモリについては、「お願い」の第6項(P.6) もご覧ください。 ・ USBフラッシュメモリを接続または抜き差ししていると、電話の映像に影響を与えることがあります。その場合は通話を終了し、USBフラッシュメモリのアクセスランプが点滅していないことを確認してから、USBフラッシュメモリを抜いてください。ファイル保存を行う場合は、内部メモリに保存してください。USBフラッシュメモリを抜いたあとでも同じ現象が発生する場合は、本商品を再起動してください。
「設定」で本商品の設定を変更すると、本商品の再起動を促すメッセージが表示される	・ 本商品の動作を変更する設定を行った場合は、再起動が必要です。メッセージに従って本商品を再起動してください。
待ち受け画面に動画ファイルを指定できない	・ 待ち受け画面に動画ファイルを指定することはできません。待ち受け画面に設定できるのは、URLアドレスと本商品で使用することができる静止画のみです。
ホームページが正しく表示されない	・ [再読込] ボタンにタッチすると正しく表示される場合があります。ただし、本商品のブラウザはパソコンのブラウザとは機能が異なりますので、パソコンと同じようには表示されないことがあります。また、プラグインや特殊なプログラムを使ったホームページなどは、本商品では正しく表示されないことがあります。
インターネットで、ファイルのダウンロードができない	・ 本商品では、インターネットでのファイルのダウンロードやアップロードはできません。
ホームページ閲覧時、[停止]ボタンにタッチしても読み込みが止まらない ブラウザの各ボタンが効かない場合がある	・ 表示しているホームページの内容や本商品に負荷を与える操作によっては、読み込みを停止できないことやブラウザの各ボタンが効かなくなることがあります。他の機能に切り替えたあと、ブラウザに切り替えてください。または、本商品を再起動してください。

現象	対処
DHCPアドレスが取得できない	DHCP機能が無効な場合やDHCP (V4) サーバ機能の「開始IPサービス」が「198.168.1.0」のように最後のホストアドレス部が0に設定されている場合は、DHCPアドレスを取得できません。ルータのDHCP設定をご確認ください。
ブラウザで音楽再生しているページを表示しているときに他の機能を利用すると、そのまま音楽が再生されたり、再生音量が変わることがある(例:着信があると、ブラウザで再生している音と着信音が重なる)	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブを閉じるか他のページに移動して、音楽再生しているページを終了してから、他の機能をご利用ください。 ・ 着信の場合は、電話に出ればブラウザの音は消えて、通話のみの音になります。
外部メモリが認識されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ USBフラッシュメモリが正しくセットされていない可能性があります。 ・ USBポートは2つありますが、USBフラッシュメモリを2つセットしても、1つしか認識されません。 ・ USBフラッシュメモリを再度抜き差しするか、または本商品を再起動してください。
USBフラッシュメモリに書き込みができない 書き込み動作が遅くなる	<ul style="list-style-type: none"> ・ USBフラッシュメモリによっては、書き込み禁止設定スイッチなどがあり、書き込み禁止に設定されている場合があります。書き込み許可にしてご利用ください。ご利用のUSBフラッシュメモリによっては、本商品の再起動が必要になります。
操作中に画面の動きが著しく遅くなったり、通話中に画像の動きがぎこちなくなることがある	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワークや本商品に何らかの負荷がかかっている可能性があります。しばらくお待ちいただくか、本商品を再起動してください。
本商品の動作が遅い	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブラウザ画面でホームページを複数開いていると、本商品の動作が遅くなる場合があります。見終わったページは閉じてください。
「動きのあるコンテンツを表示できない可能性があります。読み込み処理を一旦中止し、文字中心の表示に変更いたします。」というメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブラウザの表示状態が変更され、動きのあるコンテンツが表示されなくなります。本商品に負荷のかかるコンテンツの場合に表示されます。表示状態はブラウザの右上に表示されます。 ・ 通常の表示に戻したい場合は、通話をしていないときに、[戻る]、[進む]、[再読込]、[ホーム]、[ブックマーク]、[履歴]のいずれかのボタンからページを選択するか、アドレスバーにURLを入力してページを移動してください。
通話中に動きのあるコンテンツを表示できない、文字中心の表示に変更されてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通話中にブラウザを使用すると、ブラウザの表示状態が変更され、動きのあるコンテンツが表示されなくなります。表示状態はブラウザの右上に表示されます。 ・ 通常の表示に戻したい場合は、通話を切断し、[戻る]、[進む]、[再読込]、[ホーム]、[ブックマーク]、[履歴]のいずれかのボタンからページを選択するか、アドレスバーにURLを入力してページを移動してください。
本商品の画面が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本商品に何らかの負荷がかかっている可能性があります。本商品を再起動してください。
ホワイトボード共有を開始した直後、描画できないことがある ホワイトボード上で描画したものがMY MEMOに描画されていることがある	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボード開始要求を受けたあと、タッチペンで画面をタッチしたままにすると正しく描画できない場合があります。ホワイトボード開始要求を受けたら、いったんタッチペンを画面から離し、ホワイトボード画面に切り替わるまでお待ちください。
「共有に失敗しました (E910)」が表示され、ホワイトボード共有ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受信側と共有機能のバージョンが違う場合に表示されます。電話を切って送信側と受信側の本商品のシステムをアップデートしたあと、電話をかけ直して共有を行ってください。システムのアップデート方法は、「本商品のシステムをアップデートするには」(P.109)をご覧ください。
共有に失敗する 共有機能が正しく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共有に失敗しております。共有機能が正しく動作しなくなった場合は、電話をかけ直してください。

現象	対処
通話相手と同時にホワイトボード共有を開始すると、開始時の画像が一致しない または指定した画像にならない	・ 開始画像を一致させる場合は、いったんホワイトボード共有を終了し、どちらか一方から再度ホワイトボード共有を開始してください。
ホワイトボード共有中の画像が相手側の画像と一致しない	・ ホワイトボード共有中に通話相手と同時に描画を行うと、画像が一致なくなる場合があります。画像の不一致が発生した場合には、いったんホワイトボード共有を終了してください。その後、共有する側から「現在表示している画面を送信」を指定してホワイトボード共有を行ってください。
共有要求中に電話を切ったり、ネットワークケーブルが抜けたりと、約1分間操作できなくなる	・ 通話相手と同時に共有要求中の状態で通話を終了すると、共有機能の終了に時間がかかり、約1分端末を操作できなくなる事があります。その場合は端末が操作できるようになるまでお待ちください。
共有依頼中のメッセージが表示されたまま、約3分間操作ができなくなることもある	・ ホワイトボード共有開始依頼を受けたあと、ネットワーク障害などによって通話相手にリンクダウンが発生すると、共有依頼中のメッセージが表示されたまま約3分間操作ができなくなることがあります。その場合は電話をかけ直してから共有を行ってください。
ホワイトボード共有を利用中にメモ消去や共有終了を行っても、通話相手に確認メッセージが表示されない	・ このような場合、本商品では確認メッセージが表示されません。
メール画面で複数のボタンをすばやく連続してタッチすると、本商品が応答しなくなることがある	・ ホームボタンを押してから、[メール] ボタンにタッチしてください。
上記事象以外で本商品の動作が不安定と感じた	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本商品の動作が不安定なときは、次のいずれかの操作を行って復旧してください。 - 電源ボタンを短く押しして電源を切ってください。 電源ボタンが作動しなかったり、再起動ができないときは、電源ボタンを4秒以上長く押ししてください。 - 本商品を再起動してください。 再起動の方法は、「本商品の電源オフと再起動の方法」(P.39) ・ いずれの操作もできないときは、本商品のACアダプタの電源コードを抜いてください。 ・ 電源を入れ直すときは、電源コードを抜いて30秒以上経ってからあらためて差し込んでください。また、次のようなときには電源ボタンを押しても動作しませんが、現在の操作が終了するのを待ってからあらためて電源ボタンを押してください。 - 画面に「電源を抜かないでください。」と表示されているとき - 本商品の起動中 - メモ帳でメモを保存、または消去しているとき - ファイル参照で、ファイルを開く、あるいは削除、共有、保存しているとき - メールを受信中 - 電話帳データのバックアップ、または読み込みをしているとき - システムのアップデート中 - 電話のご利用中 - テレビ電話画面変更ツールを起動中 ・ 本状態の時、本商品を自動的に再起動する場合があります。
ボタンにタッチしても動作しない	お使いの機能において、有効ではないボタンはタッチしても動作しません。また、キーボード入力時は、入力したい位置にタッチし、カーソルが点滅しているときのみ入力できます。

こんなときは

こんなときは	対処
お買い上げのときの状態に戻したい	「本商品をお買い上げのときの状態に戻すには（初期化）」(P.108)をご覧ください。個人データはすべて消去されます。十分ご注意ください。重要なデータはあらかじめ外部メモリに保存するか、別に紙に書き写すなどしてください。なお、メールのデータは外部メモリには保存できません。
メディアプレーヤで動画再生中は、電話に出ないようにしたい	本商品では電話機能が優先されるため、動画再生中に着信しないように設定することはできません。また、電話の着信応答をすると、メディアプレーヤは終了されます。
1台のルータに、本商品を複数台接続して、その電話どうして電話したい	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロバイダが提供する「050」番号を利用したIP電話サービスでUPnPをご利用の場合、1台のルータに本商品を複数台接続して電話することはできません。UPnP接続の数を0または1台とし、残りをPPPoE接続にすることにより、1台のルータ下で本商品を、複数台接続しての通話ができます。 ・ ひかり電話をご利用の場合は、内線で通話が可能です。また、NTT東日本が提供する「FLET'S.Netナンバー」をご利用の場合は、通話が可能です。
本商品を起動中に誤ってACアダプタを抜いてしまい再度起動したら、画面右上にあるステータス表示のPPPoEのアイコンに×がついて電話ができなくなった	本商品を回線終端装置（ONU）やADSLモデムに接続した環境で、正常に起動できなかった場合に起こります。ホーム画面より【設定】→【ネットワーク】ボタンで「パスワード」欄に入力後【設定OK】ボタンをタッチして設定するか、または【設定ガイド起動】ボタンをタッチして初期設定を行ってください。
本商品どうし、またはフレッツフォン VP1000、フレッツフォン VP1500との通話中、メモ帳で滑らかな線が描けない	<p>本商品やネットワークに負荷がかかっている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共有送受信中は負荷がかかるため、共有送受信が終了してからメモの編集を行ってください。 ・ 電話の送信映像のデータ量を小さくすることで改善される場合があります。電話を切り、電話画面のオプションで「映像帯域」の設定を小さくしてください。 ・ 電話を切って本商品を再起動し、電話をかけ直してください。

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	対処
起動に失敗しました。電源を再投入してください。	電源オフしてから電源コードを抜いて、30秒以上経ってから電源を入れ直してください。電源を入れ直しても同じメッセージが表示される場合は、本商品の異常が考えられます。当社のサービス取扱所までご連絡ください。
接続に失敗しました。 設定を確認してください。 (PPPoE:xxx)	次のような原因が考えられます。接続や設定を確認してください。 ・LANケーブルが外れている ・ユーザ名やパスワードの入力を間違えている 何らかの異常で回線が切断されたときにも、数分間このメッセージが表示されます。
内線番号設定エラー (xx)	指定した内線番号が使用できない、または、内線番号の空きがありません。接続しているルータの内線番号設定を確認してください。
選択されたファイルは閲覧再生ができません。	メールの添付ファイルがサポートしていない形式のファイルです。本商品で表示できるファイルの種類については、「ファイル機能で画像や動画を見ます」(P.80)をご覧ください。
ネットワークを確立できません。 設定及び接続環境を確認してください。	ネットワークの初期設定中にエラーが発生しました。LANケーブルが外れていないか、ユーザ名やパスワードなどが正しく入力できているかなどを確認してください。
ネットワーク (PPPoE) の再接続ができませんでした。復旧のため端末を再起動します。 しばらくお待ちください。	ネットワーク (PPPoE) が切断され自動復旧を試みましたが、再接続ができませんでした。本商品を自動的に再起動します。しばらくお待ちください。
只今、更新情報自動確認中です。選択した操作は実行できません。 しばらく経ってからもう一度実行してください。	アップデート情報の自動確認中です。確認処理が終わるまでは、アップデートを実行することはできません。30秒以上経ってから、もう一度実行してください。
IPアドレスを取得できませんでした。 (DHCPエラー) 本商品のネットワーク接続や接続されているネットワーク機器の設定を確認し、本商品を再起動してください。	回線断によるリンクダウン状態などにより、左記の確認画面が表示される場合があります。本商品を再起動してください。
電話機能復旧のために端末を再起動します。 しばらくおまちください。	電話機能の動作が停止しました。復旧のため、本商品を自動的に再起動します。しばらくお待ちください。
設定の保存に失敗しました。未保存データが失われる可能性があるため、端末を再起動します。 しばらくお待ちください。	何らかの原因により、ご利用の機能の設定保存に失敗しました。本商品の設定の復旧、および機能安定化のため再起動します。しばらくお待ちください。
通信再開処理実行 (xxx)	音声、映像の送受信ができなくなっています。[OK] ボタンにタッチして、音声、映像の送受信を再開してください。[OK] ボタンにタッチしたあと、しばらく経っても再開されない場合は、[切断] ボタンにタッチして通話を切断して、おかけ直してください。改善されない場合は、本商品を再起動してください。
通話中は、再生できません。	通話中に動画や音楽を再生しようとしています。通話中は動画や音楽の再生はできません。

エラーメッセージ	対処
ホーム画面でURL表示ができなくなる可能性が発生しています。ホーム画面表示内容を壁紙表示に変更して、再度ホーム画面を表示します。	本商品のメモリの空き容量が不足した場合に表示されません。 ホーム画面が壁紙設定に変わった後、URL設定に戻したい場合は、ホーム画面より【設定】→【待ち受け】の順にボタンにタッチし、表示内容の設定をURLに変更してください。
負荷によりシステムの動作が不安定になる可能性が発生しています。ご利用いただいている機能を停止してホーム画面に戻ります。	本商品のメモリの空き容量が不足した場合に表示されません。本商品を再起動すると、メモリの空き容量が増えます。
リンクダウンを検出しました。LANケーブルの状態を確認してください。	本商品に接続されているLANケーブルが外れている、または瞬断の可能性があります。接続を確認してください。
SIPサーバ登録解除に失敗しました (xxx)	プロバイダ側のサーバが正しく動作していない可能性があります。ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
SIPサーバ登録に失敗しました (xxx)	プロバイダ側のサーバが正しく動作していない可能性があります。ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
UPnP 外部IPアドレスを取得できませんでした (xx)	本商品をルータに接続しているとき、UPnP機能が正しく動作しなかった可能性があります。次の手順を行ってください。 ①ルータがインターネット接続 (PPPoE接続) されているか確認してください。 ②そのままの状態しばらくお待ちください。IP電話サービスが使用可能になる場合があります。 ③しばらくしてもIP電話サービスが使用できない場合は、本商品を再起動してください。
UPnP 初期化処理に失敗しました (xx)	本商品をルータに接続している場合に、UPnP機能が正しく設定できなかったときに表示されます。本商品を再起動してください。
UPnP ポートマッピングに失敗しました (xx)	本商品をルータに接続している場合に、UPnP機能が正しく設定できなかったときに表示されます。次の手順を行ってください。 ①ルータに接続されている本商品やパソコンなどの台数を確認してください。1台のルータには、本商品は1台のみ接続するようにしてください。 ②ルータを再起動してください。 ③本商品を再起動してください。
UPnP ルータを検出できませんでした (xx)	本商品をルータに接続して使用している場合に表示されます。次のような原因が考えられます。ルータとの接続やルータの状態を確認してください。 ・本商品とルータを接続するLANケーブルが外れている ・ルータの電源が入っていない ・ルータが再起動中
電話帳入力エラー 氏名・フリガナの入力必須です	氏名、フリガナを入力しないで電話帳の登録をしようとしています。氏名、フリガナを入力してください。
電話帳で編集中的数据があります 本機能は実行されません	電話帳で編集中的数据を登録してから再度、実行してください。
バックアップファイルが見つかりませんでした	外部メモリにバックアップファイルがないため、データの読み込みができません。
バックアップファイルが不正です	バックアップファイルが壊れているため、データの読み込みができません。
読み込みに失敗しました	外部メモリ (USBフラッシュメモリ) を読み込み中に、USBフラッシュメモリが引き抜かれました。電話帳を読み込む場合は、USBフラッシュメモリをセットし直してください。

エラーメッセージ	対処
電話帳データが見つかりません。	外部メモリに電話帳データのバックアップデータがありません。外部メモリを確認してください。
音声／映像処理の初期化に失敗しました (xxx)	本商品を再起動してください。
接続先が話中です (xxx)	相手先が話中です。しばらく経ってからおかけ直してください。
接続先番号へ接続できませんでした (xxx)	次のような原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話番号の入力を間違えている ・ 相手先が着信拒否をしている ・ 電話やネットワークの設定が正しくない 設定や電話番号を再確認してかけ直してください。設定や電話番号の入力が正しいのに接続できない場合は、発信元または相手先のネットワークに障害が発生している可能性があります。しばらく経ってからかけ直してください。
接続先番号へは本サービスで接続できません (xxx)	IP電話サービスの対象外の電話番号に電話をかけようとしています。ご利用のプロバイダに発信可能な電話番号をご確認ください。
切断処理に失敗しました (xxx)	電話が切れません。本商品を再起動してください。
入力された番号が不正です (xxx)	入力した電話番号が正しいか、再確認してください。
認証に失敗しました (xxx)	プロバイダ側のサーバが正しく動作していない可能性があります。ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
ネットワークが使用できなくなりました	何らかの原因でネットワーク接続が切断されています。本商品を再起動してください。
ネットワーク初期化に失敗しました (xxx)	プロバイダ側のサーバの設定が正しくできていない可能性があります。次の手順を行ってください。 ①プロバイダの設定（ユーザIDやパスワードなど）が、正しくできているか確認してください。 ②本商品を再起動してください。 設定が正しいにもかかわらず同じ現象が発生する場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
メールアドレスが選択されていません	メールアドレスが登録されていない電話帳からメールを作成しようとしています。メールアドレスを登録してください。
応答処理に失敗しました (xxx)	電話が受けられる状態にありません。本商品を再起動してください。
検索文字列が入力されていません	検索文字列を入力しないで電話帳の詳細検索をしようとしています。検索する文字列を入力してください。
検索文字列の種類が選択されていません	検索する項目を選択しないで電話帳の詳細検索をしようとしています。検索する項目を選択してください。
電話番号が選択されていません	電話番号が登録されていない電話帳から発信しようとしています。電話番号を登録してください。
電話番号が入力されていません	電話番号を入力しないで [発信] ボタンにタッチしています。電話番号を入力してください。
発信処理に失敗しました (xxx)	電話がかけられる状態になるまで、しばらくお待ちください。しばらくしても発信できない場合は設定内容を確認してください。
発信番号エラー	電話番号が正しく入力されているか確認してください。
着信音が登録されていません	着信音をユーザ設定にするときは、着信音の登録を行ってください。
指定されたファイルは着信音に登録できません	指定されたファイルのサイズが512Kバイトを超えています。 または、内部メモリの空き容量が不足しています。 小さなサイズのファイルを使用してください。

エラーメッセージ	対処
入力された番号は重複しています。今回の入力を取り消します。	すでに着信拒否／自動応答番号に設定されている電話番号を、入力しようとしています。入力する電話番号を再確認してください。
電話番号を入力してください。	電話番号を入力してから「追加」ボタンにタッチしてください。
削除する着信拒否番号を選択してください。	削除する着信拒否番号を選択してから「削除」ボタンにタッチしてください。
削除する自動応答番号を選択してください。	削除する自動応答番号を選択してから「削除」ボタンにタッチしてください。
PPPoE設定が変更されるとテレビ電話機能は使用できません。接続しますか？	ネットワーク接続の保守のため、当社への接続確認を行います。接続すると設定が変更されるため、電話機能が使用できなくなります。電話機能を使用するには、接続確認の終了後、本商品を再起動してください。
PPPoE設定が変更されるとテレビ電話機能は使用できません。切断しますか？	ネットワーク接続の保守のため、当社への接続確認を行います。切断すると設定が変更されるため、電話機能が使用できなくなります。電話機能を使用するには、接続確認の終了後、本商品を再起動してください。
PPPoE設定が変更され、テレビ電話機能は使用できません。再起動しますか？	PPPoEの設定が変更されています。本商品を再起動してください。
「IPアドレス」入力欄に無効な値が入力されました。	IPアドレスが、正しく入力されているか確認してください。
「サブネットマスク」入力欄に無効な値が入力されました。	サブネットマスクが、正しく入力されているか確認してください。
「デフォルトゲートウェイ」入力欄に無効な値が入力されました。	デフォルトゲートウェイが、正しく入力されているか確認してください。
「プライマリDNS」入力欄に無効な値が入力されました。	プライマリDNSが、正しく入力されているか確認してください。
「セカンダリDNS」入力欄に無効な値が入力されました。	セカンダリDNSが、正しく入力されているか確認してください。
「ユーザID」入力欄に無効な値が入力されました。	ユーザIDが、正しく入力されているか確認してください。
「パスワード」入力欄に無効な値が入力されました。	パスワードが、正しく入力されているか確認してください。
「プロキシサーバのアドレス」入力欄に無効な値が入力されました。	プロキシサーバのアドレスが、正しく入力されているか確認してください。
URLを入力してください。	待ち受け画面として表示するホームページのURLを入力してください。
「URL」入力欄に無効な値が入力されました。	URLが、正しく入力されているか確認してください。
壁紙の設定に失敗しました。	次のような原因が考えられます。 ・壁紙にしようとしているファイルが壊れている ファイルが開けるか確認してください。 ・内部メモリの容量が不足している 内部メモリに保存されている不要なファイルを削除してください。
選択されているページは共有できません	共有できないファイルを共有しようとしています。ヘルプ、内部メモリまたは外部メモリに保存されているファイル、メール添付されたファイルは、共有できません。
メディアプレーヤの起動に失敗しました。	再度、コンテンツやファイルを指定してください。

エラーメッセージ	対処
インターネット機能の起動に失敗しました。 一旦 [ホーム] を押してホーム画面を表示後、再度 [インターネット] を押してください。 数回この操作を行ってもこのメッセージを表示する場合、再起動してください。	インターネット閲覧機能を起動できませんでした。画面の指示に従い、本商品の操作を行ってください。
メール機能の起動に失敗しました。 一旦 [ホーム] を押してホーム画面を表示後、再度 [メール] を押してください。 数回この操作を行ってもこのメッセージを表示する場合、再起動してください。	メール機能を起動できませんでした。画面の指示に従い、本商品の操作を行ってください。
ハンドセットがあがっているため、メディアプレーヤを起動できません。ハンドセットを置いてから再度メディアプレーヤを起動してください。	ハンドセットを置き台に置いてから、再度メディアコンテンツを実行してください。
ブラウザの画面表示ができなくなる可能性が発生しています。ブラウザ機能を停止してホーム画面に戻ります。	メモリの空き容量が不足した場合に表示されます。本商品を再起動すると、メモリの空き容量が増えます。
タブは3個までしか作成できません これ以上タブを開くことができません	1度に開けるタブは3つまでです。使用していないタブを閉じてください。
入力されたURLが違います。	本商品で開けないURLを指定しています。URLが正しいか確認してください。
タイトルが未入力です。	ブックマークに追加したいホームページのタイトルを入力してください。
URLが未入力です。	ブックマークに追加したいホームページのURLを入力してください。
データを追加できません。	ブックマークに追加しようとしているホームページのタイトル、URLが入力されていません。タイトル、URLを入力してください。
ブックマークの登録可能最大件数まで登録済みのため、これ以上登録できません。	必要のないブックマークを削除して、新しいブックマークを追加登録できるようにしてください。
同じURLのブックマークが既に登録されています。上書きされますがよろしいですか。	[[はい] ボタンにタッチすると、ブックマークが上書きされます。前に登録されていたホームページのブックマークは消去されます。
外部メモリが認識できません。	外部メモリ (USBフラッシュメモリ) がセットされていません。本体側面のUSBポートにUSBフラッシュメモリをセットしてください。
外部メモリの容量が不足しています。	外部メモリの空き容量が不足しています。ファイルを保存するには、不要なファイルを削除して、空き容量を増やしてください。
内部メモリの容量が不足しています。	内部メモリの空き容量が不足しています。ファイルを保存するには、不要なファイルを削除して、空き容量を増やしてください。
メモリの空き容量が不足しています。ファイルを開く事ができません。前回編集していたメモを表示します。	メモリの空き容量が不足しています。本商品を再起動し、メモリの空き容量を増やしてからファイルを開いてください。

エラーメッセージ	対処
メモリの空き容量が不足しています。ファイルを保存することができません。	メモリの空き容量が不足しています。本商品を再起動し、メモリの空き容量を増やしてからファイルを保存してください。
本ファイルは画像サイズ、またはファイルサイズが大きいため本端末で読み込めません。	メモ帳、手書きツールでは表示できないファイルサイズです。メモ帳で表示できるファイルのサイズは、次のとおりです。 ・ビットマップファイル 最大2Mバイトまで ・JPEGファイル 最大1,310,720画素 (例：1280×1024) まで
外部メモリが認識できません。内部メモリ参照に切換えます。	外部メモリ (USBフラッシュメモリ) を参照中に、USBフラッシュメモリが引き抜かれました。USBフラッシュメモリを参照したい場合は、USBフラッシュメモリをセットし直してください。
ファイルがありません。	いったんファイル画面を終了してから、もう一度ファイルを指定し直してください。
保存に失敗しました。	外部メモリ (USBフラッシュメモリ) が正しくセットされているか確認してください。USBフラッシュメモリによっては、書き込み禁止設定スイッチなどがあり、書き込み禁止に設定されている場合があります。書き込み許可にしてご利用ください。
削除に失敗しました。	外部メモリ (USBフラッシュメモリ) が正しくセットされているか確認してください。USBフラッシュメモリによっては、書き込み禁止設定スイッチなどがあり、書き込み禁止に設定されている場合があります。書き込み許可にしてご利用ください。
このページを印刷することはできません。	ブラウザで、ヘルプや内部・外部メモリおよびメール添付されたファイルを表示している場合は、印刷することはできません。 メモ帳で、メモ消去後に編集しないで印刷することはできません。
プリンタが接続されていません。プリンタ接続を確認してください。	プリンタが接続されていないか電源が入っていない可能性があります。プリンタの接続を確認してください。
通話中は印刷することができません。通話切断後に印刷を行ってください。	印刷を行う場合は、通話を切断したあとに行ってください。
Internet Explorerはこのドキュメントを印刷できません。プリンタの設定を確認してください。	次のいずれかの方法を行ってください。 ・プリンタの設定を確認後、再度印刷してください。 ・本商品を再起動後、再度印刷してください。
ファイルの読み込みに失敗しました。前回編集していたメモを表示します。	破損しているファイルを「メモ帳参照」した可能性が考えられます。
ファイルの書き込みに失敗しました。	本商品を再起動してください。
共有に失敗しました。(ネットワークの応答がありません) (Exxx)	お使いのネットワークに負荷がかかった、通話が切断されたなど、回線異常の可能性があります。次のいずれかの方法を行ってください。 ・電話を切って、もう一度電話をかけ直してください。 ・電話を切って、電話画面のオプションで「映像帯域」の設定を小さくしてください。 ・回線を確認してください。 ・電話を切って本商品を再起動し、電話をかけ直してください。 すばやく共有をくり返すなどして、本商品に負荷がかかったことが考えられます。すばやく共有をくり返さないでください。

エラーメッセージ	対処
共有に失敗しました。(ファイルの処理に失敗しました)(Exxx)	<p>次のいずれかの方法を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 共有するファイルがありません。送信したいファイルを確認してください。また、外部メモリ(USBフラッシュメモリ)のファイルを送信する場合は、USBフラッシュメモリが、正しくセットされているか確認してください。 電話を切って本商品を再起動してから共有を行ってください。
共有に失敗しました。(メモリの空き容量が不足しています)	<p>共有しようとしているファイルの容量が大きすぎると、共有することができません。次のいずれかの方法を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイルの共有に必要なメモリの容量が不足しています。本商品を再起動して、メモリの空き容量を増やしてから共有を行ってください。 本商品の内部メモリや外部メモリに保存してあるファイルを削除して、空き容量を増やしてから共有を行ってください。
共有に失敗しました。(Exxx)	<p>次のいずれかの方法を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ルータの設定で、アクセス無制限設定やパケットフィルタ設定について制限をかけている場合、解除することにより共有できる場合があります。共有で利用しているポートは、HTTP5024です。 「共有に失敗しました(E910)」は、相手側と共有機能のバージョンが違う場合に表示されます。電源を切って自分側と相手側の本商品の両方のシステムをアップデートしたあと、電話をかけ直して共有を行ってください。システムのアップデート方法は、「本商品のシステムをアップデートするには」(P.109)をご覧ください。 電話を切って本商品を再起動し、電話をかけ直してから再度共有を行ってください。
共有要求を拒否されました。	<ul style="list-style-type: none"> 相手先が共有を拒否しています。相手先に確認してください。 相手先が一定時間応答しなかった場合にも表示されます。相手先に確認してください。
ホワイトボードが開始できませんでした。	<p>次のいずれかの方法を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークの負荷が高くなっている可能性があります。しばらく待ってから共有を行ってください。 本商品の負荷が高くなっている可能性があります。電話を切って本商品を再起動してから共有を行ってください。 電話を切って送信側と受信側の両方のシステムをアップデートしたあと、電話をかけ直して共有を行ってください。
ホワイトボードが正常に終了できなかった可能性があります。	<p>次のいずれかの方法を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークの負荷が高くなっている可能性があります。いったん電話を切ってしばらく経ってから共有を行ってください。 本商品の負荷が高くなっている可能性があります。電話を切って本商品を再起動してから共有を行ってください。
現在読み込んでいるコンテンツは表示できない可能性があります。読み込み処理を一旦中止しました。	<p>本商品では表示できないページが指定されている、または、メモリが不足しているため、現在のページを表示できません。不要なファイルを削除して、空き容量を増やしてください。</p>
現在サムネイル表示ができません。	<p>メモリの空き容量が不足しています。本商品を再起動しメモリの空き容量を増やしてください。</p>

エラーメッセージ	対処
@マークのないメールアドレスがありません。	メールアドレスが、正しく入力されているか確認してください。
256文字を超えているメールアドレスがあります。	送信できるメールアドレスの長さは256文字までです。宛先のメールアドレスが、正しく入力されているか確認してください。
サーバのメールのサイズが大きいため、受信することができません。行数制限受信を行ってください。	サーバに保存されているメールのサイズが大きいため、本商品で受信することができません。メールの受信設定で「受信メールの行数制限」を行って、再度受信してください。
サーバのメールのサイズが大きいため、受信することができませんでした。メールのサイズを2Mバイトより小さくして再送していただくか、パソコンのメールソフトなどを利用して受信してください。	受信しようとしたメールのサイズが大きいため受信できません。相手からメールのサイズを2Mバイトより小さくして再送していただくか、パソコンのメールソフトなどを利用して受信してください。
パラメータエラーが発生しました。	本商品を再起動してください。再起動後も同じ現象が発生する場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
ファイルがありません。消去されている可能性があります。	外部メモリ（USBフラッシュメモリ）に保存したファイルが消去されている可能性があります。USBフラッシュメモリに、ファイルがあるか確認してください。内部メモリにファイルがあるときに、このメッセージが表示される場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
フォントの読み込みに失敗しました。	本商品を再起動して、再度メール画面を表示してください。同じ現象が発生する場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
メールBOXの作成に失敗しました。	本商品を再起動して、再度メールBOXを作成してください。同じ現象が発生する場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
メールBOXの削除に失敗しました。	本商品を再起動して、再度メールBOXの削除を行ってください。同じ現象が発生する場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
メールBOXは、32個までしか作成できません。	メールBOXの最大作成数（32個）まで作成済みのため、作成できません。
メールBOX名の文字数が32文字を超えています。	メールBOX名として使用できる文字数は、32文字までです。文字数を減らしてください。
メールBOX名の変更に失敗しました。	本商品を再起動して、再度メールBOX名の変更を行ってください。同じ現象が発生する場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
メールがサーバから削除できませんでした。	原因不明のエラーが発生しています。パソコンなどのメールソフトを利用して、メールを削除してください。
メールが受信できませんでした。	原因不明のエラーが発生しています。パソコンなどのメールソフトを利用して、メールを受信してください。
メールが選択されていません。	操作したいメールを選択してから、操作ボタンにタッチしてください。
メールが送信できませんでした。メールの内容を確認してください。送信できなかったメールは下書きBOXに保存されます。	メールの設定、メールアドレスが正しく設定されていない可能性があります。設定情報、メールアドレスを確認して再度送信してください。
メールサーバとの通信ができませんでした。時間を空けて再度削除してください。	何らかの原因でメールサーバと通信ができませんでした。設定情報、メールアドレスを確認し、しばらく経ってから、再度メールサーバから削除してください。
メールサーバとの通信ができませんでした。時間を空けて再度受信してください。	何らかの原因でメールサーバと通信ができませんでした。設定情報、メールアドレスを確認し、しばらく経ってから、再度受信してください。

エラーメッセージ	対処
メールの設定がされていません。[設定] ボタンを押して設定してください。	メール送受信のための設定を行ってください。
メールサーバとの通信ができませんでした。時間を空けて再度送信してください。送信できなかったメールは下書きBOXに保存されます。	何らかの原因でメールサーバと通信ができませんでした。設定情報、メールアドレスを確認し、しばらく経ってから、再度送信してください。
メールサーバとの認証に失敗しました。メールアドレス名・メールパスワードを確認してください。	メールアドレス名、メールパスワードが正しく設定されていない可能性があります。メールアドレス名、メールパスワードの設定を確認してください。
メールサーバとの認証に失敗しました。メールアドレス名・メールパスワードを確認してください。送信できなかったメールは下書きBOXに保存されます。	メールアドレス名、メールパスワードが正しく設定されていない可能性があります。メールアドレス名、メールパスワードの設定を確認してください。
メールサーバに接続できませんでした。メールサーバの設定情報を確認してください。	メールサーバの設定が正しくできていない可能性があります。送信/受信サーバのアドレス、メールアドレス名、メールパスワードが、正しく設定されているか確認してください。
メールサーバに接続できませんでした。メールサーバの設定情報を確認してください。送信できなかったメールは下書きBOXに保存されます。	メールサーバの設定が正しくできていない可能性があります。送信/受信サーバのアドレス、メールアドレス名、メールパスワードが、正しく設定されているか確認してください。
メールの宛先は100件までしか指定できません。	1つのメールを同報できる宛先数は100件までです。宛先を減らしてください。
メールの宛先を指定してください。	メールの宛先が指定されていません。メールの宛先を入力してから送信してください。
メールの移動に失敗しました。	本商品を再起動して、再度メールの移動を行ってください。同じ現象が発生する場合は、メールのプログラムが破損している可能性があります。当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
メールの行数指定受信ができませんでした。行数指定受信を解除して受信してください。	メールの受信設定で「受信メールの行数制限」を解除して、再度受信してください。
メールの削除に失敗しました。	本商品を再起動して、再度メールの削除を行ってください。同じ現象が発生する場合は、メールのプログラムが破損している可能性があります。当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
メールを受信できませんでした。サーバから削除された可能性があります。	パソコンなど別の機器からすでにメールを受信済みのため、サーバからメールが削除された可能性があります。
画像の展開に失敗しました。	メールのプログラムが破損している可能性があります。本商品を再起動してください。再起動後も同じ現象が発生する場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
画像の読み込みに失敗しました。	メールのプログラムが破損している可能性があります。本商品を再起動してください。再起動後も同じ現象が発生する場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
外部メモリが挿入されていません。OKを押すと添付ファイルを内部メモリに保存する設定でメールを受信します。キャンセルを押すと受信を取りやめます。	外部メモリ（USBフラッシュメモリ）がセットされていません。[OK] ボタンにタッチすると、添付ファイルを内部メモリに保存する設定でメールを受信します。
外部メモリが挿入されていません。外部メモリを挿入し、OKボタンを押してください。	外部メモリ（USBフラッシュメモリ）がセットされていません。本体側面のUSBポートにUSBフラッシュメモリをセットしてください。

エラーメッセージ	対処
外部メモリにメールを保存する容量が足りませんでした。不要なデータを削除して、再度受信してください。	本商品の外部メモリ（USBフラッシュメモリ）の空き容量が不足しているため、メールが受信できませんでした。不要なデータを削除して、再度受信してください。
件名の文字数が128文字を超えています。	メールの件名に入力できる文字数は128文字までです。文字数を減らしてください。
原因不明のエラーが発生しました。	メールのプログラムが破損している可能性があります。再起動してください。再起動後も同じ現象が発生する場合は、当社のお問い合わせ窓口にご連絡ください。
削除する際に必要なメモリが確保できませんでした。	メールの削除に必要なメモリの空き容量がありません。本商品を再起動してメモリの空き容量を増やしてから、再度削除してください。なお、本商品を再起動すると、作業中の内容は失われます。
指定された名称のメールBOXは既に存在します。 別の名称を指定してください。	メールBOX名を変更してください。
受信したメールのデコードができませんでした。	本商品では受信できないメールの可能性があります。パソコンのメールソフトなどを利用して、メールを受信してください。
受信したメールを保存できませんでした。不要なメールを削除して再度受信してください。	メールBOXの容量がいっぱいのため、メール保存できません。不要なメールを削除して、再度受信してください。
1行が日本語（全角）508文字を超えるメールを受信しようとした。このメールは受信できないため中断します。以降のメールを受信するには“受信”ボタンを押してください。	1行が全角508文字を超えるメールは受信できないため、受信を中断します。送信元で1行が508文字以内で改行するようにして、再送してもらってください。
1行が日本語（全角）508文字を超えるメールを受信しようとした。このメールは受信できないため中断します。	メールの受信設定で「受信メールの行数制限」を設定しているときに、1行が508文字を超えるメールを受信しました。1行が全角508文字を超えるメールは受信できないため、受信を中断します。送信元で1行が508文字以内で改行するようにして、再送してもらってください。
受信する際に必要なメモリが確保できませんでした。	メール受信に必要なメモリの空き容量がありません。本商品を再起動してメモリの空き容量を増やしてから、再度受信してください。なお、本商品を再起動すると、作業中の内容は失われます。
設定が完了していません。設定終了後、メールを作成してください。	メール送受信のための設定ができていません。設定を行ってから、メールを作成してください。
設定の登録に失敗しました。再度設定画面を表示し設定を確認してください。	設定内容に誤りがある可能性があります。設定内容を確認してください。
設定項目が入力されていません。	設定項目を入力してから [決定] ボタンにタッチしてください。
選択されているメールBOXでは操作できません。	選択しているメールBOXに、今の操作はできません。
前回送信時にエラーとなったメールの内、添付ファイルが消去されたメールがあります。ファイル確認後送信してください。	送信しようとしているメールのうち、添付ファイルが消去されているメールがあります。ファイルを確認後、再度送信してください。
送信するデータが多すぎるため、送信できません。 送信するデータを減らし、再度送信ボタンを押してください。	次のような原因が考えられます。 ・添付ファイルの容量が大きい ・添付ファイルの数が多い ・メールの本文が長すぎる 添付ファイルを減らしたり、本文を短くするなどの対処を行ってから、再度送信してみてください。

エラーメッセージ	対処
送信済みのメールは、移動できません。	「送信済みBOX」のメールを移動しようとしています。「送信済みBOX」のメールは移動できません。
添付されているファイルが消去されています。ファイル確認後送信してください。	送信しようとしている添付ファイルが、消去されている可能性があります。ファイルを確認後、再度送信してください。
添付ファイルの書き出しに失敗しました。	外部メモリ（USBフラッシュメモリ）をセットし直して、再度、添付ファイルの書き出しを行ってください。
添付ファイルの保存先が存在しません。	添付ファイルの保存先に外部メモリを選択しているときに、外部メモリ（USBフラッシュメモリ）がセットされていません。本体側面のUSBポートにUSBフラッシュメモリをセットしてください。
内部メモリにメールを保存する領域が足りませんでした。不要なメールを削除して、再度受信してください。	本商品の内部メモリのメール保存領域がいっぱいのため、メールが受信できませんでした。不要なメールを削除して再度受信してください。
内部メモリの容量が不足しています。不要なメールを削除して、再度作成してください。	メール作成に必要なメモリの空き容量が不足しています。不要なメールを削除して再度作成してください。
ホワイトボード共有中は手書き本文を編集できません。ホワイトボード共有を終了後、再度実行してください。	ホワイトボード共有機能と手書き本文編集機能は同時にご利用できません。ホワイトボード共有中に、手書き本文を編集しようとすると表示されます。ホワイトボード共有を終了してください。
更新情報の取得に失敗しました。（通信失敗）	回線との接続が切断されているため、アップデートが正常に行われませんでした。次の点を確認してから、もう一度アップデートを行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・本商品とモデムやルータの接続が正しくできているか ・回線への接続が正しくできているか ・ネットワーク設定が正しくできているか
ファームウェアの取得に失敗しました。（通信失敗）	回線との接続が切断されているため、アップデートが正常に行われませんでした。次の点を確認してから、もう一度アップデートを行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・本商品とモデムやルータの接続が正しくできているか ・回線への接続が正しくできているか ・ネットワーク設定が正しくできているか 再度アップデートを行っても同じ現象が発生する場合は、サーバが正しく動作していない可能性があります。当社のお問い合わせ窓口にお問い合わせください。
ファームウェアの更新に失敗しました。（システムファイル破損）	アップデートが正常に行われませんでした。システムファイルが破損されたため、本商品の再起動ができません。当社のお問い合わせ窓口にお問い合わせください。
ファームウェアの更新に失敗しました。（アプリケーションファイル破損）	アップデートが正常に行われませんでした。もう一度アップデートをやり直してください。
メモリの確保に失敗しました。（メモリ容量不足）	システムのアップデートに必要なメモリの空き容量が不足しています。本商品を再起動してアップデートをやり直してください。
内部メモリ容量不足です。メールまたは、ファイルを削除して内部メモリ容量を確保してください。	内部メモリの空き容量が不足しています。アップデートを行うには、不要なファイルを削除して空き容量を増やしてください。
ネットワークから映像データが受け取れないため再生できません。	ネットワークが混んでいて、データが受け取れないあるいは電話着信などのネットワークアクセスがあった可能性があります。しばらく待つか、別のビットレートのもので再度お試しください。

エラーメッセージ	対処
動作保証していない音声データのため、再生できない場合があります。	再生しようとしている音声データは、サポートしていない形式です。本商品でサポートしている形式は、「メディアプレーヤ機能ご利用時の注意」(P.81)をご覧ください。
動作保証していないデータのため、再生を停止します。	再生しようとしているデータはサポートしていない形式のため、再生は停止されます。本商品でサポートしている形式は、「メディアプレーヤ機能ご利用時の注意」(P.81)をご覧ください。
ファイルを開くことが出来ません。	本商品では再生できない形式のファイルのため、ファイルを開くことができません。
再生中にUSBフラッシュメモリが抜かれました。続きを再生することが出来ません。	再生中にUSBフラッシュメモリが引き抜かれました。USBポートにUSBフラッシュメモリをセットして、最初から再生し直してください。
接続に失敗しました。	しばらく待ってから「再接続」ボタンにタッチして、設定をやり直してください。
予期不能なエラーが発生しました。(Oxxx)	ホーム画面より [設定] → [ネットワーク] → [設定ガイド起動] の順にボタンにタッチして、設定をやり直してください。
接続に失敗しました。(エラー理由: ユーザ認証エラー)	ホーム画面より [設定] → [電話] → [設定ガイド起動] の順にボタンにタッチして、設定をやり直してください。
接続に失敗しました。(エラー理由: サーバ登録未完了)	次のいずれかの方法を試してみてください。 ・ [再接続] ボタンにタッチして、設定をやり直してください。 ・ しばらくしてから設定ガイドを実行してください。同じ現象が発生する場合は、ホーム画面より [設定] → [電話] → [設定ガイド起動] の順にボタンにタッチして、設定をやり直してください。
接続に失敗しました。(エラー理由: 予期不能なエラー)	ホーム画面より [設定] → [電話] → [設定ガイド起動] の順にボタンにタッチして、設定をやり直してください。
FLET'S.Netナンバー申込サイト(フレッツ・スクウェア)への接続に失敗しました。 ルータに接続されたパソコンから、フレッツ・スクウェアに接続できるかどうかなどをご確認の上、「再確認」ボタンを押してください。 ※フレッツ・スクウェアへの接続方法は、フレッツ公式ホームページ(http://fleets.com/square/con_index.html)にてご確認ください。	本商品をルータに接続している場合、ルータにフレッツ・スクウェアに接続する設定がされていないときに表示されます。ルータの設定を確認してください。
ネットワーク設定ガイドが完了していません。 ネットワーク設定ガイドを完了させてから、本機能を実行してください。	ネットワーク設定ガイドの設定が完了していない状態で、電話設定ガイドを起動しようとしたため、ネットワーク設定ガイドの設定を完了させてください。
ただいまFLET'S.Net工事中です 本画面のまま1時間程度お待ちください。 1時間程度経過後、「FLET'S.Netナンバー申込み」ボタンを押して、引き続き、FLET'S.Netナンバーのお申し込みを行ってください。	FLET'S.Netの工事が終わっていないため、FLET'S.Netナンバーの申し込みができません。1時間程度待ってから、再度申し込みを行ってください。
通話中は着信音を保存できません。	通話中は着信音の保存はできません。通話を切断してから、着信音を保存してください。

エラーメッセージ	対処
着信音の保存に十分な空き容量がありません。	着信音の保存に必要なメモリの容量が不足しています。本商品を再起動してメモリの空き容量を増やしてから、着信音を保存してください。
着信音の保存に失敗しました。	次のいずれかの方法を行ってください。 ・ 本商品を再起動してメモリの空き容量を増やしてから、着信音を保存してください。 ・ 何らかの原因でネットワーク接続が切断されています。本商品を再起動したあと、再度着信音を保存してください。
応答メッセージの再生に失敗しました (xxx)	本商品を再起動してください。
録音・録画に失敗しました (xxx)	保存先のメモリ空き容量不足により、留守録メッセージを録音できません。必要のないデータを消すなどして、留守録設定画面でメッセージ保存件数 (目安) が0件にならないようにしてください。改善されない場合は本商品を再起動してください。
留守録メッセージの保存に失敗しました (xxx)	保存先のメモリ空き容量不足、または外部メモリの取り外しにより、留守録メッセージを録音できません。必要のないデータを消すなどして、留守録設定画面でメッセージ保存件数 (目安) が0件にならないようにしてください。改善されない場合は本商品を再起動してください。
録音・録画の中止に失敗しました (xxx)	本商品を再起動してください。
指定された留守録メッセージを削除できませんでした。	留守録メッセージのファイル属性が「読み取り専用」になっている可能性があります。外部メモリ (USBフラッシュメモリ) に留守録メッセージを保存された場合は、パソコンなどの機器で外部メモリに格納されているファイルの属性から「読み取り専用」のチェックを外してください。 または、外部メモリ (USBフラッシュメモリ) のライトプロテクトを外して書き込み許可にしてください。
削除できなかった留守録メッセージがありました。	留守録メッセージのファイル属性が「読み取り専用」になっている可能性があります。外部メモリ (USBフラッシュメモリ) に留守録メッセージを保存された場合は、パソコンなどの機器で外部メモリに格納されているファイルの属性から「読み取り専用」のチェックを外してください。 または、外部メモリ (USBフラッシュメモリ) のライトプロテクトを外して書き込み許可にしてください。
留守録メッセージ再生の初期化に失敗しました。	電話画面にて自画像が表示できることを確認してください。自画像が表示されない場合は、本商品を再起動してください。
留守録メッセージを再生できませんでした。	電話画面にて自画像が表示できることを確認してください。自画像が表示されない場合は、本商品を再起動してください。
留守番電話の解除に失敗しました	再度、留守ボタンにタッチして留守番電話を設定してから解除してください。解除されない場合は本商品を再起動してください。
留守番電話の設定に失敗しました 留守録メッセージを再生しますか？	再度、留守ボタンにタッチして留守番電話を設定してください。設定されない場合は本商品を再起動してください。
バックアップに失敗しました。(空き容量不足です)	留守録メッセージのバックアップ時に、保存先のメモリ空き容量不足、または外部メモリの取り外しにより、留守録メッセージをバックアップできません。必要のないデータを消して、外部メモリを接続してください。

エラーメッセージ	対処
バックアップできなかった留守録メッセージがありました。	留守録メッセージのバックアップ時に、外部メモリが書き込み禁止や、同名のファイルが読み取り専用になっているため、バックアップできませんでした。外部メモリを確認してください。
電話ご利用中、または設定ガイド動作中は電源オフや再起動はできません	電話中や、発信中、着信中、ファイル保存中、または、設定ガイド動作中は、電源オフや再起動を行えません。一度、待ち受け画面に戻った後、もう一度電源ボタンを押してください。
内部メモリが不足しているため、予定を入力することができません。不要な予定を削除して空き容量を増やしてください。	不要な予定を削除して内部メモリの空き容量を増やしてください。
負荷によりシステムの動作が不安定になる可能性が発生しています。システムを安定させるため、端末を再起動します。	本商品のメモリの空き容量が不足した場合に表示されます。復旧のため、本商品を自動的に再起動します。しばらくお待ちください。
メモリの空き容量が不足しています。予定を開く事ができません。	本商品のメモリの空き容量が不足した場合に表示されます。本商品を再起動すると、メモリの空き容量が増えます。再起動後、予定を開いてください。
メモリの空き容量が不足しています。予定を登録する事ができません。	本商品のメモリの空き容量が不足した場合に表示されます。本商品を再起動すると、メモリの空き容量が増えます。再起動後、予定を登録してください。
ホームの異常を検出しました。システム安定化のため、端末を再起動します。しばらくお待ちください。	異常を検出し、動作安定化のため、本商品を自動的に再起動します。しばらくお待ちください。
テレビ電話画面変更機能動作中は、メディアプレーヤはご利用になれません。	テレビ電話画面変更機能が動作しています。テレビ電話画面変更機能動作中は、メディアプレーヤはご利用になれません。
テレビ電話画面変更機能動作中は再生できません。	テレビ電話画面変更機能が動作しています。テレビ電話画面変更機能動作中は動画再生できません。

索引

記号

「050」番号 12,29,52

英字

ACアダプタ 10
ACアダプタのコード固定部 15
ADSLモデム 17,20,21,22,28,114
FLET'S.Netナンバー 12,52
Flet's Phone HOME 14
IP電話サービス 12,57,112
IP電話 13
LANケーブル 10
LANポート 15
USBフラッシュメモリ 24
USBポート 15,24
USBマウス 24

あ

相手画像 55
アップデート 109
イメージウィンドウ 35,37,49,54
インターネット接続 27
インターネット設定 103
映像拡大 59,61,69,70
映像確認 37,54
映像出力端子 15,24
映像入力端子 15,24
液晶ディスプレイ 14
エラーメッセージ 129
応答 54
オプション 55
音声出力端子 15,24
音声入力端子 15,24
音量インジケータ 55
音量調節 55

か

回線終端装置 (ONU)
..... 17,20,21,22,28,113,114
外部入力 55,61
拡大表示 36
加入者網終端装置 (CTU)
..... 113,115
カメラ 14,55
環境設定 106
キーボード 35,40

機能ボタン 14,34
機能メニュー 37
キャッチホン 75
グループ検索 71,73
ケーブルカバー 10,15,25

さ

再生 37,54
削除 42
自画像 55,56
修正 54
詳細検索 74
情報ウィンドウ 35,37,54
初期化 108
初期設定 26,116
スイッチングハブ 17
ステータス表示 35
ステータスランプ 14
スピーカ 14
全て検索 73
制限事項 112
セキュリティロック 15
接続例 20
切断 54
設定 16
設定変更 101
操作パネル 37

た

ダイヤル画面 54
ダイヤルナンバー 52
タッチ 32
タッチパネル 14
タッチペン 10,32
タッチペン収納部 14,33
短縮 64
着信履歴 54,63
通話中の操作 61
テレビ電話 29
テレビ電話画面変更ツール 85
電源 39
電源コード 10
電源コネクタ 14
電源ボタン 14
電源ランプ 14

電話画面	36,54
電話設定	104
電話帳	54,71
盗難防止用ロック穴	15
ドラッグ	32

な

内線転送	75
内部カメラ	55,61
ナンバー・ディスプレイ	53
ネットワーク設定	105

は

発信	51
発信履歴	54,62
ハンドセット (オプション)	10,24,66,70
ハンドセット接続ポート	15,24
ハンドフリー	54
ひかり電話	12,51,77
ファイル	36,80
フリガナ検索	73
フレッツ・v6アプリ	12,52
フレッツ・光プレミアム	12,52
プロバイダ	17,18,29,52
ヘルプ	38,55
ホーム画面	31,35,46
ホームページ	46
ホームボタン	14,34
ホームメニュー	36,50
補修用部品	145
保守サービス	145
保証	145
保証書	10
保留	75
本体ボタン	34

ま

マイク	14
待受画像	55,56
待ち受け設定	102
メインメニュー	36
メール	77
メディアプレーヤ	75,80
メニューボタン	14,34
メモ帳	36,79
文字の入力	40

ら

履歴詳細	55
ルータ	17,21,23,28,112
ルータ機能付きADSLモデム	17,112
留守	37,54
留守番電話	78

わ

ワンタッチボタン	31,46,120
ワンタッチメニュー	36

保守サービスのご案内

■ 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください（詳しくは、「保証書」の無料修理規定をご覧ください）。

■ 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用、部品代をいただきます) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください) ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

■ 本商品／機器の接続、設定、お取り扱い方法に関する相談は下記へお気軽にご相談ください。

●NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

NTT東日本 光サポートセンタ

 0120-970492 (9:00~21:00)

※携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合（通話料金がかかります）
03-5667-7035

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ 故障の場合は

故障した場合は以下へお問い合わせください。

●NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）の方

 0120-242751（終日）

■ 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>



©2008 NTTEAST

本 2889-2(2008.9)
IPTV4-TEL-ドレ